FMV

B6FH-2671-02

パソコンの準備の後は

FMV活用ガイド

基本・使い方・トラブル解決

FUJITSU

知りたいことを調べるには

さあ、
はじめましょう

パソコンの準備

使い始めるまでの準備はこれでバッチリ。

パソコンの準備
の後は

FMV活用ガイド

基本や活用、セキュリティからトラブル解決までこれ一冊。

テレビチューナー
内蔵の機種なら

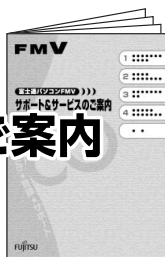
テレビを見る・録る・残すガイド

テレビを見たり録ったりして楽しむには、これ！［注］

注:テレビチューナー内蔵機種のみ添付
（ただし、Microsoft® Windows® XP
Media Center Edition 2005搭載機種には非添付）

サポートに
ついては…

サポート&サービスのご案内

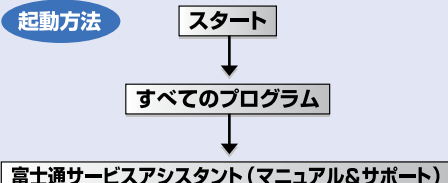
どうしても問い合わせないとわからない…。
そんなときはこれ！

ちょっと確認！

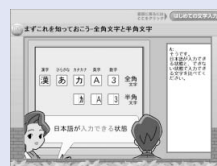
基本操作クイックシート

手元にあると便利、パソコンの基本操作や
文字入力の早見表！
（二つ折りになっています）

※この他にも、マニュアルや重要なお知らせなどの紙、冊子類があります。

マニュアルは「本」だけではありません！

～パソコン画面にもマニュアルがあります～

パソコンが初めての方でも安心！
パソコン入門

パソコンの基本操作や文字入力を楽しく学習したいならこれ！

FMVの使い方を知るには
画面で見るマニュアル

ソフトウェア、ハードウェア、インターネットなどの説明からトラブルシューティングまで、幅広い情報を集結！

※この他にも、役に立つ情報が盛りだくさんです。

目次

この本で見つからない情報は、「画面で見るマニュアル」で！

「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→
「富士通サービスアシスタント（マニュアル＆サポート）」→「画面で見るマニュアル」

第 4 章　FMV のおすすめ活用法

第 5 章　パソコンの画面で見るマニュアルを活用する

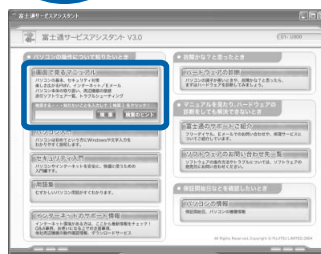
第 6 章　パソコンをご購入時の状態に戻す（リカバリ）

第 7 章 トラブルかなと思ったら

FMVのすべてがわかる「画面で見るマニュアル」

パソコンの操作方法からインターネット、ソフトウェアの使い方まで、このパソコンでわからないことがあったら「画面で見るマニュアル」で調べてみよう！

「サービスアシスタント」を起動します。

Step 2

このマニュアルの表記について

画面例およびイラストについて

表記されている画面およびイラストは一例です。お使いの機種やモデルによって、画面およびイラストが若干異なることがあります。また、ホームページなどの画面例については、情報が更新され、画面の一部やメニューの項目などが異なる場合があります。

製品の呼び方について

このマニュアルでは製品名称を、次のように略して表記しています。

製品名称	このマニュアルでの表記
FMV-DESKPOWER	DESKPOWER
FMV-BIBLO	BIBLO
FMV-BIBLO LOOX	BIBLO LOOX または LOOX
Adobe® Reader® 6.0.1	Adobe Reader
MediaStage StandardEdition	MediaStage SE
Microsoft® Internet Explorer 6.0	Internet Explorer
Microsoft® Office Excel 2003	Excel 2003
Microsoft® Outlook® Express	Outlook Express
Microsoft® Office Home Style+	Home Style+
Microsoft® Office Home Style+ Service Pack 1	Home Style+ SP1 または Home Style+ の SP1
Microsoft® Office Outlook® 2003	Outlook 2003
Microsoft® Office Personal Edition 2003	Office Personal 2003
Microsoft® Office 2003 Service Pack 1	Office 2003 SP1 または Office 2003 の SP1
Microsoft® Office Word 2003	Word 2003
Microsoft® Windows® XP Home Edition	Windows または Windows XP または Windows XP Home Edition
Microsoft® Windows® XP Media Center Edition 2005	Windows または Windows XP または Media Center または Media Center Edition
Microsoft® Windows® XP Professional	Windows または Windows XP または Windows XP Professional
Microsoft® Word2003&Excel2003の虎の巻	Word2003&Excel2003 の虎の巻
Norton AntiVirus™ 2004	Norton AntiVirus
OASYS Viewer V8.0	OASYS ビューア
Sonic RecordNow!	RecordNow!
i- フィルター Personal Edition	i- フィルター PE
デリポップ Version 3.03	デリポップ
ハードディスクデータ消去 for DOS	ハードディスクデータ消去
筆ぐるめ ２００５	筆ぐるめ

製品名称	このマニュアルでの表記
辞書 & 検索ソフトシリーズ 広辞苑第五版・現代用語の基礎知識 2004 年版	広辞苑第五版
辞書 & 検索ソフトシリーズ 広辞苑第五版・現代用語の基礎知識 2004 年版	現代用語の基礎知識 2004 年版
富士通サービスアシスタント V3.0	サービスアシスタント
スーパーマルチドライブ、DVD マルチドライブ、CD- RW/DVD- ROM ドライブ、DVD- R/RW ドライブ	CD/DVD ドライブ
アプリケーションディスク 1、アプリケーションディスク 2、アプリケーションディスク 3	アプリケーションディスク

本文中の記号について

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

重要	お使いになるときに注意していただきたいことや、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
POINT	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
••▶	参照先を記述しています。
	ご覧になっていただきたいマニュアルを記述しています。
	サービスアシスタントを表しています。次のいずれかの操作で起動できます。 ・DESKPOWER の場合 キーボードの「サポート」ボタンを押す ・BIBLO NB、MG シリーズの場合 ワンタッチボタンを「Application」モードにして「A」ボタンを押す ・BIBLO NX、NH、LOOX シリーズの場合 画面にある FUJITSU サービスアシスタント をクリック ・全機種共通 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「富士通サービスアシスタント（マニュアル&サポート）」→「富士通サービスアシスタント（マニュアル&サポート）」の順にクリック
	CD-ROM/DVD-ROM を表しています。

各部名称について

次にあげる一部の各部名称は、機種により異なるため、次のように併記しています。

・インターネット（Internet）ボタン
・メール（E-mail）ボタン
・電源（パソコン電源）ボタン
・電源（パソコン電源）ランプ

インターネット上の情報について

インターネット上に掲載されている情報（画像、映像、音楽、文書などのデータ）のほとんどは、著作権法により保護されています。
個人的に、あるいは家庭内で楽しむ場合を除き、権利者に無断で情報を配布することや、個人のホームページなどに掲載することはできません。

商標および著作権について

Microsoft、Windows、Officeロゴ、Outlookは、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
MacromediaおよびFlash、Shockwaveは、Macromedia,Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
@niftyは、ニフティ株式会社の商標です。
その他の各製品名は、各社の商標または登録商標です。
その他の各製品は、各社の著作物です。

画面の使用に際して米国Microsoft Corporationの許諾を得ています。

カスタムメイドモデルについて

このマニュアルでは、インターネットの「富士通ショッピングサイト WEB MART（ウェブマート）」で販売されている「カスタムメイドモデル」と「WEB 専用モデル」の両方を指して「カスタムメイドモデル」と表記しています。
「WEB 専用モデル」をご購入の方は「カスタムメイドモデル」と書かれている部分をお読みください。

また、このマニュアルの本文中に「カスタムメイドモデルでスタンダードセットを選択した方」という表記があります。
これは「富士通ショッピングサイト WEB MART（ウェブマート）」で「カスタムメイドモデル」「WEB 専用モデル」をご購入の際に「ソフトウェア」の項目が「スタンダードセット」だった方が対象になります。

サービスアシスタントの動作条件

動作環境	Microsoft® Windows® XP Home Edition
	Microsoft® Windows® XP Professional
	Microsoft® Windows® XP Media Center Edition 2005
	Microsoft® Internet Explorer 6.0
	Macromedia® Shockwave® Player 8.5
	Macromedia® Flash™ Player 7.0
メモリ	128MB 以上
発色数	中（16 ビット）以上
解像度	800 × 600 ピクセル以上 上記の条件を満たさない解像度の場合、「画面で見るマニュアル」の「パソコン入門」はお使いになれません。
DPI 設定	通常のサイズ（96DPI）
対象機種	富士通サービスアシスタントが搭載されている FMV シリーズ
その他	・初回起動時のみ、Windows XP のユーザーアカウントが「コンピュータの管理者」に設定されている必要があります。 また、「制限ユーザー」でご利用の場合、一部ご利用いただけない機能があります。 ・ご購入時に搭載している OS でのみ動作保証します。

第 1 章

準備が完了したことを確認しよう

ここでは、1 番目に読む本「パソコンの準備」で行った設定ができていることを確認します。

1 「必ず実行してください」を実行したことを確認する

「スタート」ボタンをクリックして表示されるメニューの中に、必ず実行してください がある場合は、次の手順に従って操作をしてください。この操作を行うと 必ず実行してください がメニューからなくなります。パソコンの初期設定を行うプログラムですので、必ず実行してください。実行しないと、いくつかの機能が使用できません。

1 **「スタート」ボタンをクリックします。**

「必ず実行してください」がある場合は、手順 2 に進んでください。
「必ず実行してください」が無い場合は、この後の手順は必要ありません。

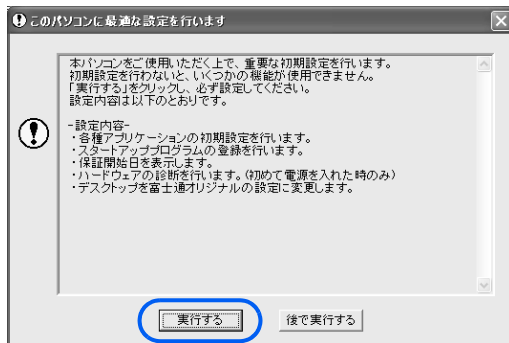
POINT

画面にある 必ず実行してください をクリックしても実行できます

1. 画面の 必ず実行してください をクリックします。
   この後は、手順 3 に進んでください。

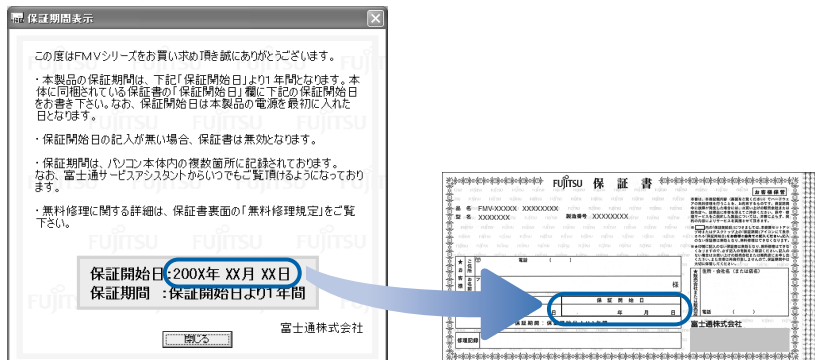
2 **必ず実行してください をクリックします。**

3 「実行する」をクリックします。

手順 4 の「ハードウェア診断」が始まるまで、しばらくお待ちください。

4 「ハードウェア診断」が始まります。そのままお待ちください。

万が一ハードウェア不良の画面が表示された場合は、画面の指示に従ってください。

5 画面に表示された保証開始日を保証書に書き写し、「閉じる」をクリックします。

保証書は梱包箱に貼り付けられています。保証書に保証開始日が記入されていないと、保証期間内であっても有償での修理となります。なお、保証開始日は本製品の電源を最初に入れた日になります。保証書は大切に保管してください。

6 「もう一度保証期間の表示画面に戻りますか？」というメッセージが表示されたら、「いいえ」をクリックします。

7 「このパソコンに最適な設定を行います」というメッセージが表示されたら、「OK」をクリックします。

画面が暗くなり、再び表示されます（再起動します）。

以上でパソコンの初期設定が完了しました。

2 ユーザー登録はお済みですか？

ユーザー登録とは、FMV のユーザーとしてお客様の情報、およびご購入された FMV の機種情報を弊社に登録していただくことです。
『パソコンの準備』の手順の途中でユーザー登録を済ませていない方は、『サポート＆サービスのご案内』をご覧になり、ユーザー登録をお済ませください。

ユーザー登録をするとご利用になれるサービス

ユーザー登録をすると、自動的に「FMV ユーザーズクラブ AzbyClub（アズビィクラブ）」の会員としても登録され、次のようなサービスをご利用いただけます。
AzbyClub とは、お客様に FMV を快適にご利用いただくための会員組織です。入会金、年会費は無料です（2 年目以降も無料）。

■ FMV 活用サイト AzbyClub ホームページ

お客様がお使いのパソコンに関する最新情報や、サポートおよび活用情報が満載です。また、会員向けのショッピングサービスやお得なキャンペーン情報もご紹介します。
http://azby.fmworld.net/

■ 技術相談窓口 Azby テクニカルセンター

AzbyClub 会員専用の技術相談窓口です。電話や E メールによるサポートをご利用いただけます。サポートツール「サービスアシスタント」、紙のマニュアル、AzbyClub ホームページで確認しても、問題が解決できない場合、技術相談を受けられます。

■ AzbyClub メール配信サービス

お客様がお持ちのメールアドレスを AzbyClub に登録していただくと、お役立ち情報満載の「AzbyClub メール配信サービス」をご利用いただけます。

■ AzbyClub ポイントサービス

AzbyClub 会員専用のポイントサービスです。AzbyClub ホームページの「ショッピング」や WEB MART でご利用いただけます。

■ AzbyClub カード

ユーザー登録番号（AzbyClub 会員番号）が刻印された、お得な特典いっぱいのカードです。入会費・年会費ともに無料です。

3 インターネットの設定はお済みですか？

インターネットを楽しむためにはインターネットの設定が必要です。まだ設定を済ませていない方は、設定しましょう。

インターネットを始めるには

『パソコンの準備』をご覧ください

インターネットに接続するための設定や方法については、ご利用のプロバイダから提供されたマニュアルをご覧ください。

『パソコンの準備』→「パソコンを準備する」→「インターネットを始めるための準備をする」には、初めてインターネットに接続するときに必ず行っていただきたいセキュリティ対策が説明されています。

接続方法についてはこちらもご覧ください

■FMV ステーションをお使いの場合

FMV ステーションに添付の『FMV ステーション　準備と設定ガイド』をご覧ください。

プロバイダを選ぶには

インターネットを始めるには、プロバイダへの入会が必要です。

このパソコンには、プロバイダに入会するためのソフトウェアや冊子が用意されています。プロバイダにより、サービス内容や料金はさまざまです。自分がやりたいことやライフスタイルに合ったものを選びましょう。

プロバイダに入会するためのソフトウェアについては、「パソコンでやってみたいことを「@メニュー」で調べる」（••▶ P.62）の手順 2 で「サインアップ」を選び、概要をご覧ください。

POINT

@nifty について

@nifty は、富士通が推奨するプロバイダです。
プロバイダがまだ決まっていないという方は、@nifty をお試しになりませんか？
料金コースやサービス、サポートについては、『@nifty 入会マニュアル』をご覧ください。

インターネットの設定が終了したら、「第 2 章　基本的な使い方を覚えよう」（••▶ P.15）をご覧になり、パソコンの操作、インターネットでホームページを見るときの操作、E メールの操作の基本を覚えましょう。

第 2 章

基本的な使い方を覚えよう

このパソコンでは、基本的な使い方を、パソコンを操作しながら覚えることができる「パソコン入門」を用意しています。
パソコンを使うのが初めての方は、「パソコン入門」で操作を覚えてから、使い始めましょう。
「パソコン入門」で基本的な使い方を覚えたあとは、インターネットでホームページを見るときの基本操作、Eメールの基本操作を覚えましょう。

1 画面（デスクトップ）を確認する

ここでは、ご購入時の状態の画面を例に名称を紹介します。
次の画像のような、パソコンの画面全体のことを「デスクトップ」といいます。

FMV ランチャー
「画面上のボタンについて」（••▶ P.17）をご覧ください。

「スタート」ボタン
クリックするとメニューが表示されます。
このメニューからソフトウェアを始めたり、パソコンの設定を変更する画面を表示させたりします。

タスクバー
画面下のこの部分全体を「タスクバー」といいます。
フォルダを開いたりソフトウェアを始めたりすると、ここにそれぞれの名前のボタンが表示されます。
このボタンをクリックすると、フォルダやソフトウェアの切り替えができます。

通知領域
パソコンの音量を調節するアイコンや、常に起動させておくソフトウェア（常駐ソフトウェアといいます）のアイコンが並んでいます。

画面上のボタンについて

パソコンの初期設定が終了した後に表示される画面上のボタンを「FMV ランチャー」といいます。それぞれのボタンをクリックしたときにできることは、次のとおりです。

- 「ユーザー登録」ボタン…パソコンのユーザー登録ができます。
- 「BB@nifty」ボタン…@nifty への入会手続ができます。
- 「サービスアシスタント」ボタン…このパソコンに関するあらゆることを調べられます。
- 「@メニュー」ボタン…このパソコンに搭載のソフトウェアがすぐにお使いになれます。
- 「@拡大ツール」ボタン…画面の文字やアイコンの大きさを調整できます。
- 「壁紙かんたん模様替え」ボタン…壁紙を変更したり、デスクトップに時計を設定できます。

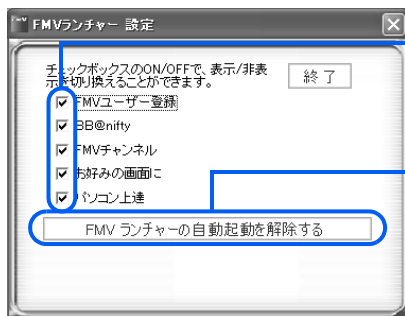
POINT

ボタンをクリックしたときに、ホームページの上部に警告メッセージが表示されたら

「Internet Explorer」のセキュリティ機能で、ホームページの上部に「情報バー」と呼ばれる細長い警告メッセージが表示されることがあります。
詳しくは、「ホームページに警告メッセージが表示されたら」（••▶ P.21）をご覧ください。

FMV ランチャーの表示／非表示を切り替える

1 **「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「FMV ランチャー（画面上のボタン）」→「FMV ランチャー設定」の順にクリックします。**

「FMV ランチャー設定」が表示されます。

☑をクリックして□にすると、ボタンが非表示になります。
非表示にしたボタンを再度表示するには、□をクリックして☑にします。

「FMV ランチャー」のすべてのボタンを常に非表示にするには、「FMV ランチャーの自動起動を解除する」をクリックして、「FMV ランチャーの自動起動を設定する」が表示されている状態にします。次にパソコンを起動したときから、画面上にボタンが表示されなくなります。
再度「FMV ランチャー」を表示するには、「FMV ランチャーの自動起動を設定する」をクリックして、「FMV ランチャーの自動起動を解除する」が表示されている状態にします。次にパソコンを起動したときから、画面上にボタンが表示されます。

2 **「終了」をクリックします。**

「FMV ランチャー設定」が終了します。

POINT

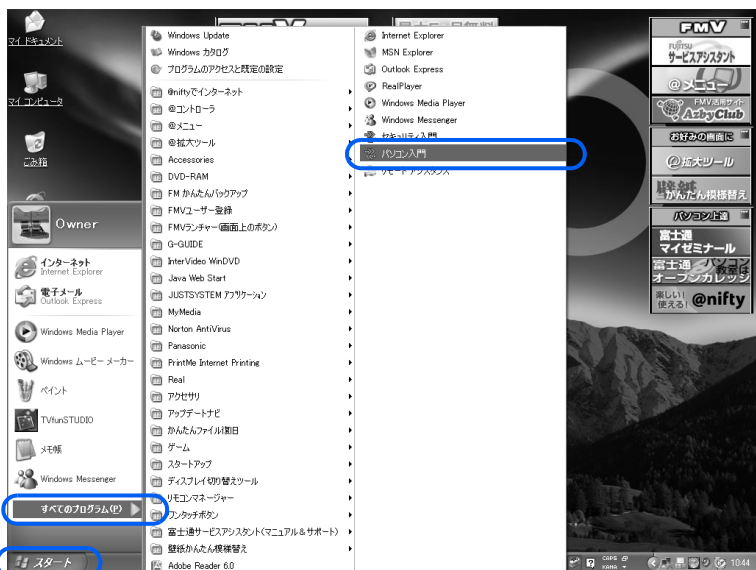
右クリックでも画面上のボタンを非表示にできます

1. 画面上のボタンを右クリックし、「非表示」をクリックします。
2. 「ボタンを非表示にします。よろしいですか？」というメッセージで「はい」をクリックします。
   画面上のボタンが非表示になります。

2 「パソコン入門」でパソコンの基本的な使い方を覚える

「パソコン入門」では、文字の入力方法や Windows の操作方法など、パソコンを使う上で必要なことを楽しく練習しながら覚えることができます。

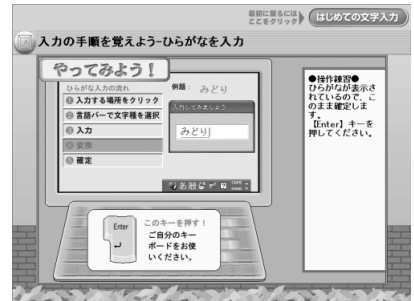
「パソコン入門」を始める

1 **「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「 パソコン入門」の順にクリックします。**

「パソコン入門」が表示されます

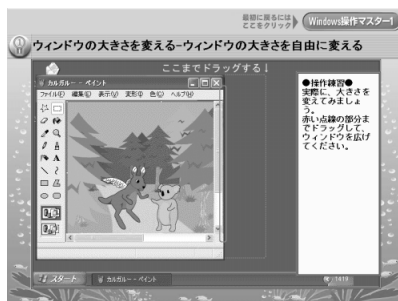
2 見たいタイトルをクリックします。

内容は次のようになっています。

正しくパソコンを使うための基礎知識や、故障かな？と思った時の対処方法などを、アニメーションを使って楽しく説明します。

キーボードを使いながら、文字入力の大切なポイントを学べます。

ゲームを楽しみながら、マウスやフラットポイント（BIBLO のみ）の操作のコツがつかめます。

パソコンの中身やソフトのしくみなどの豆知識を、アニメーションを交えて楽しく説明します。

Windows の操作はパソコンの基本中の基本。ここでは Windows の基本操作や基礎知識などを楽しく学ぶことができます。

お使いになる上での留意事項

重要

「パソコン入門」をご覧になっているときに、マウスポインタが点滅する場合がありますが、動作に問題ありません。そのままお使いください。

■印刷する場合

「パソコン入門」では、「印刷」ボタンをクリックした後、「印刷」ウィンドウが表示されるまでに多少時間がかかることがあります。そのままお待ちください。

■「はじめての文字入力」をご覧になる場合

日本語入力システムの入力方法を「かな入力」にしている方は、「パソコン入門」の「はじめての文字入力」をご覧になる前に、入力方法を必ず「ローマ字入力」に変更してください。なお、ご覧になる前に「ローマ字入力」に設定していても、「はじめての文字入力」では「かな入力」の練習ができます。

■DESKPOWER T シリーズ、LX シリーズをお使いの場合

一部の各部名称については、次のように読み替えてください。

・電源ボタン→パソコン電源ボタン

・電源ランプ→パソコン電源ランプ

「パソコン入門」を終了する

1 **「閉じる」をクリックします。**

「パソコン入門」が終了します。

POINT

『基本操作クイックシート』を活用しよう

『基本操作クイックシート』は、文字入力の早見表です。パソコンに慣れるまでは、お手元に置いて、操作を忘れてしまったときなどにご利用ください。

ホームページの見かたを覚える

実際にホームページを見ながら、基本的な操作を覚えましょう。
ホームページのより詳しい見かたについては、（サービスアシスタント）のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「６．インターネット／Ｅメール」→「ホームページの見かた」をご覧ください。

重要

初めてインターネットに接続するときは必ずセキュリティ対策を行ってください

このパソコンの出荷後、お客様にご購入いただくまでの間にも、セキュリティの脆弱性（ぜいじゃくせい：一般的に、コンピュータやネットワークにおけるセキュリティ上の弱点のこと）が新たに見つかったり、悪質なウイルスが出現したりしている可能性があります。
初めてインターネットに接続するときは、マニュアルの手順に従って、パソコンを最新の状態にし、セキュリティ対策を行ってください。
最新の状態にする手順などセキュリティ対策については、『パソコンの準備』→「パソコンを準備する」→「インターネットを始めるための準備をする」→「初めてインターネットに接続するときのセキュリティ対策」をご覧ください。

操作の途中で自動的に切断されることがあります

ダイヤルアップ接続の方は、電話回線の切り忘れを防ぐため、インターネットにアクセスしない時間が一定時間続くと、自動的に回線が切断される場合があります。

ホームページは不定期に更新されている場合があります

このマニュアルで掲載しているホームページの内容は更新されている可能性があり、現在お客様の見ている内容と違っている場合があります。

インターネットに接続する

インターネットに接続して、ホームページの見かたを覚えましょう。
インターネットに接続するための設定や方法については、ご利用のプロバイダから提供されたマニュアルをご覧ください。

1 「スタート」ボタン→「インターネット」の順にクリックします。

「Internet Explorer」にホームページが表示されます。

ホームページに警告メッセージが表示されたら

「Internet Explorer」のセキュリティ機能には、ポップアップ広告を表示しないようにする「ポップアップブロック」や、「ActiveX コントロールのダウンロードブロック」などがあります。
セキュリティ機能が働くと、安全なホームページでも、次のような問題が生じる場合があります。

- 画像が表示できない
- リンクをクリックしても表示できない
- ダウンロードできない

このとき、ホームページの上部に「情報バー」と呼ばれる細長い警告メッセージが表示されます。このメッセージに従って操作すると、制限を解除し、画像などを表示することができます。問題のないホームページやソフトウェアの場合のみ、制限を解除してください。
詳しくは、（サービスアシスタント）のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「11. トラブルシューティング」→「インターネット／ホームページ／ E メール」→「ホームページ」→「Internet Explorer でホームページの上部にメッセージが表示され、操作が中断される」をご覧ください。

絵や文字をクリックして行き来する

絵や文字に（マウスポインタ）を合わせてみましょう。に変わったら、そこがクリックできるところです。クリックできる主な場所は、次のとおりです。

（例）FMV 活用サイト AzbyClub ホームページ

これらをクリックすると、別のページを見ることができます。このように関連付けされた機能を、「リンク」といいます。

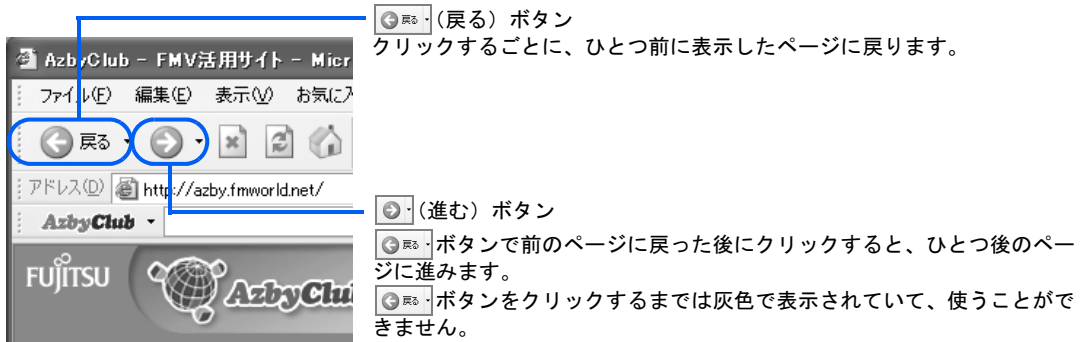
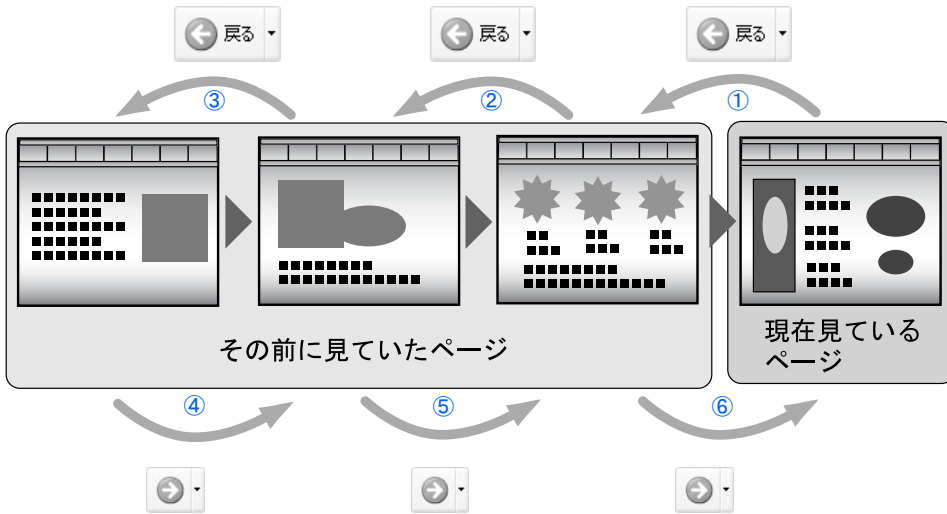
POINT

リンクしたページの表示について

別のホームページにリンクした部分をクリックすると、そのウィンドウの表示がリンク先のページに変わる場合と、もう 1 つ「Internet Explorer」が起動し、そこにリンク先のページが表示される場合があります。

ボタンを使って行き来する

ひとつ前のページに戻る／進む

「Internet Explorer」のボタンを使うと、一度表示したホームページをすばやく行き来することができます。

ページ移動のしかたは、次のようになります。

一番はじめのページに戻る

インターネットに接続して最初に表示されるホームページのことを「スタートページ」といいます。スタートページに戻るには をクリックしてください。

スタートページの変更方法については、（サービスアシスタント）のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「6.インターネット／Eメール」→「ホームページの見かた」→「豆知識」→「最初に表示されるホームページを変える」をご覧ください。

アドレスを指定してホームページを見る

雑誌やテレビ番組などで見つけたアドレス（例：http://azby.fmworld.net/）のページを見る場合には、「Internet Explorer」の「アドレス」欄に直接アドレスを入力し、【Enter】キーを押します。アドレスのことを「URL」とも言います。
また、「http://」を省略して「azby.fmworld.net/」だけ入力してもページが表示されます。

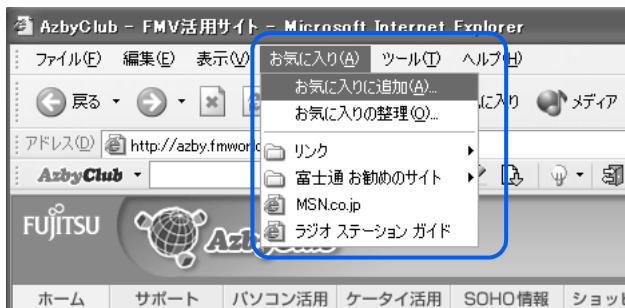
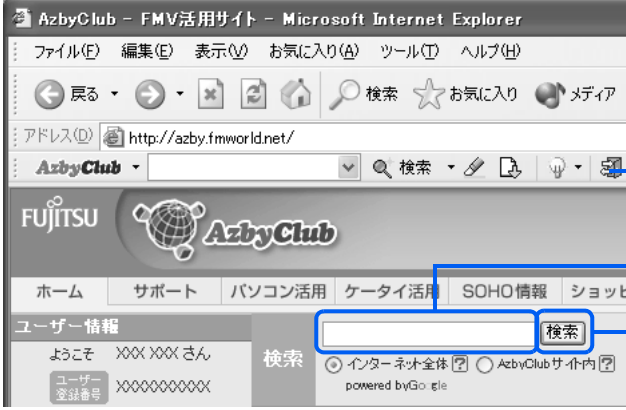
アドレスに含まれる「~（チルダ）」や「_（アンダーバー）」は、キーボードの【半角/全角】キーを押して半角文字が入力できる状態にしてから、次のようにキーを組み合わせて入力します。

「~」→【Shift】を押しながら【へ】
「_」→【Shift】を押しながら【ろ】
アドレスに含まれる記号の入力方法については、『基本操作クイックシート』もあわせてご覧ください。

POINT

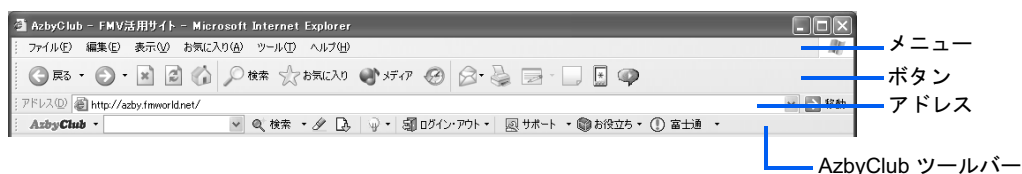
「次のサーバーの場所をみつけられません」などと表示された場合は、入力したアドレスが間違っているか、もしくはそのページがすでになくなっている可能性があります。

「お気に入り」に登録する

今見ているホームページを「お気に入り」に登録すればそのページを見るときにアドレスを入力する手間が省けます。「お気に入り」は「ブックマーク」とも言います。
ボタンをクリックして、「お気に入りに追加」をクリックしても登録をすることができます。

検索サービスを使う

インターネットには無数のホームページがあります。そのホームページの中から知りたい情報のキーワードに関係あるホームページを無料で検索してくれる「検索サービス」があります。

例：FMV 活用サイト AzbyClub ホームページでも検索サービスを行っています。

「Internet Explorer」の使い方 早見表

メニュー

ファイル	ページの保存や印刷ができます。
編集	コピーや貼り付け、ページ内での検索などができます。
お気に入り	登録したページの一覧が表示されます。また、お気に入りのページを登録したり、登録したページの整理などができます。
ツール	「インターネットオプション」を選ぶと、スタートページや接続の設定など、インターネット環境を整えることができます。
ヘルプ	「目次とキーワード」をクリックすると、ヘルプが起動します。

ボタン

戻る	ひとつ前に表示したページに戻ります。（••▶ P.23）
	「戻る」で前のページに戻った後で、ひとつ後のページに進みます。（••▶ P.23）
	指定したホームページへのアクセスや、データの読み込みを中止します。
	表示しているページを最新の情報にします。
	接続時に一番はじめに表示されるページ（スタートページ）を表示します。
お気に入り	お気に入りに登録したページの一覧を表示します。クリックするごとに一覧を表示したり、消したりすることができます。
	表示中のページを印刷します。

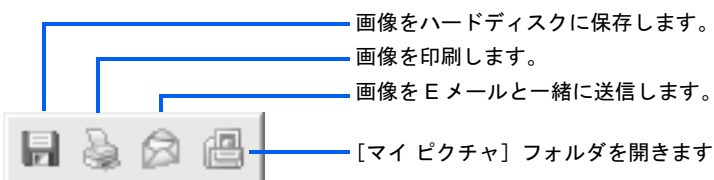
アドレス

見たいページのアドレス（URL）を入力し、【Enter】を押すと、そのページへ簡単にジャンプすることができます。（••▶ P.24）
右端の をクリックすると、過去にアクセスしたページ（直接入力したアドレス）の一覧が表示されます。この中から見たいページをクリックすると、そのページにジャンプします。

AzbyClub ツールバー

AzbyClub ツールバーについては、『サポート＆サービスのご案内』→「FMV ユーザーズクラブ AzbyClub で提供するサービス」→「AzbyClub 会員のためのサポート＆サービス」→「AzbyClub ツールバー」をご覧ください。

イメージツールバー

ホームページ上の画像にマウスポインタを合わせると表示される場合があります。イメージツールバーのアイコンをクリックすると、画像の保存や印刷ができます。

注 ： 詳しい使い方については、「Internet Explorer」のヘルプをご覧ください。

FMV 活用サイト AzbyClub ホームページを使いこなそう

「AzbyClub ホームページ」では、FMV に関するサポート情報やパソコン活用情報、FMV と携帯電話を連携したケータイ活用情報、FMV をより快適に、より便利にするアイテムがご購入できるショッピングサービスのほか、毎日の生活に役立つ便利なサービスや情報などをご利用いただけます。AzbyClub の会員専用サービスをご利用いただくには、FMV ユーザー登録を行ってください。同時に AzbyClub 会員に登録されます。

FMV 活用サイト
AzbyClub ホームページ
http://azby.fmworld.net/

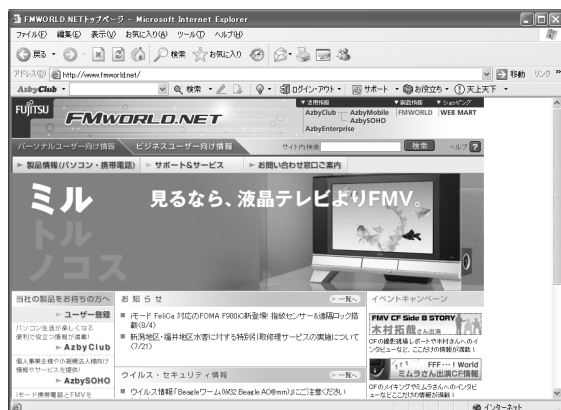
・**サポート／パソコン活用**
パソコンの操作についての Q&A 事例検索や、ドライバダウンロードなどをご提供しています。
また、FMV をもっと使いこなすためのさまざまなコーナーをご用意。「ウイルス／セキュリティ情報」、「タイピング練習コーナー」ほか、楽しく役立つコーナーがお待ちしています。

・**ショッピング（AzbyClub Selection）**
FDD ユニットなどの富士通純正機器や、デジタルカメラやプリンタなどの他社周辺機器、会員価格でご購入いただける市販の人気ソフトウェアなどをご提供しています。
添付ソフトウェアの「携帯万能 for FMV」専用ケーブルもこちらでご購入いただけます。
また、書籍、音楽 CD/DVD、おもちゃ販売、航空券・宿泊予約、フラワーギフトなど、お客様の生活に役立つサービスをご提供しています。

・**その他**
風景や動物をはじめ、歴代の FMV シリーズにプレインストールされた壁紙をダウンロードできるサービスをご提供しています。

「AzbyClub」にメールアドレスを登録された方には、ご希望により、新製品情報やお得なキャンペーン情報などをお届けする「AzbyClub 通信」や、搭載ソフトウェアのアップグレード情報などをお届けする「フレッシュインフォメール」などのメール配信サービスをご利用いただけます。
ユーザー登録時にメールアドレスを登録されなかった方は、「AzbyClub ホームページ」でメールアドレスをご登録ください。登録方法については、「AzbyClub ホームページ」をご覧ください。

FMWORLD.NET を使いこなそう

富士通パソコン情報サイト FMWORLD.NET（http://www.fmworld.net/）では、製品情報に関するさまざまな情報を提供しています。

FMWORLD.NET
http://www.fmworld.net/

4 E メールの基本操作を覚える

ここでは「Outlook 2003」および「Outlook Express」というメールソフトを使って、メールを始めるための基本操作について説明しています。
Eメールのより詳しい使い方については（サービスアシスタント）のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「6.インターネット／Eメール」→「Eメールの使い方」をご覧ください。

2

E メールを使い始める前に

あらかじめ、インターネットに接続するための設定を行ってください。設定方法については、ご利用のプロバイダから提供されたマニュアルをご覧ください。

重要

初めてインターネットに接続するときは必ずセキュリティ対策を行ってください

このパソコンの出荷後、お客様にご購入いただくまでの間にも、セキュリティの脆弱性（ぜいじゃくせい：一般的に、コンピュータやネットワークにおけるセキュリティ上の弱点のこと）が新たに見つかったり、悪質なウイルスが出現したりしている可能性があります。
初めてインターネットに接続するときは、マニュアルの手順に従って、パソコンを最新の状態にし、セキュリティ対策を行ってください。
最新の状態にする手順などセキュリティ対策については、『パソコンの準備』→「パソコンを準備する」→「インターネットを始めるための準備をする」→「初めてインターネットに接続するときのセキュリティ対策」をご覧ください。

ご購入時は、通常使うメールソフトは「Outlook 2003」に設定されています（DESKPOWER T50J、カスタムメイドモデルでスタンダードセットを選択した方を除く）。「Outlook 2003 を使う」（••▶ P.30）に進んでください。
DESKPOWER T50J、カスタムメイドモデルでスタンダードセットを選択した方は、通常使うメールソフトは「Outlook Express」に設定されています。「Outlook Express を使う」（••▶ P.32）に進んでください。

POINT

このパソコンには「@メール」が添付されています

このパソコンには、「@メール」という富士通製のメールソフトが添付されています。
「@メール」は、ご購入時の設定では通常使用するメールソフトに設定されていませんが、FMV で使うときに便利な機能をいろいろ備えています。
次のような機能を使いたい場合には「@メール」をご利用ください。
・「@拡大ツール」を使って、文字を拡大して見たいとき
・ワンタッチボタンで受信した新着メールを、音声で読み上げてもらいたいとき
・メールの内容を、音声で読み上げてもらいたいとき
・「@キャプチャ」で撮った画像データをメールに添付したいとき
・「音声メモ」を使って作成した音声データをメールに添付したいとき
「@メール」を通常使用するメールソフトに設定する方法や、「@メール」の設定方法については、（サービスアシスタント）のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「6．インターネット／Eメール」→「Eメールを始めるための設定」→「「@メール」の設定を行う」をご覧ください。

BIBLO LOOX シリーズをお使いの方、カスタムメイドモデルでスタンダードセットを選択した方が「@メール」を使用する場合

パソコンに添付されている「アプリケーションディスク 1」から「@メール」をインストールしてください。インストール方法については、（サービスアシスタント）のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「９．添付ソフトウェア一覧（読み別）」→「FGHIJ」→「FM かんたんインストール」をご覧ください。

Outlook 2003 を使う

Outlook 2003 の始め方

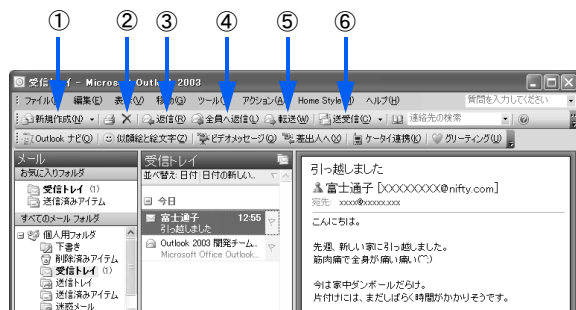
1 **「スタート」ボタン→「電子メール」の順にクリックします。**

「Outlook 2003」が起動しない場合は、「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「Microsoft Office」→「Microsoft Office Outlook 2003」の順にクリックしてください。

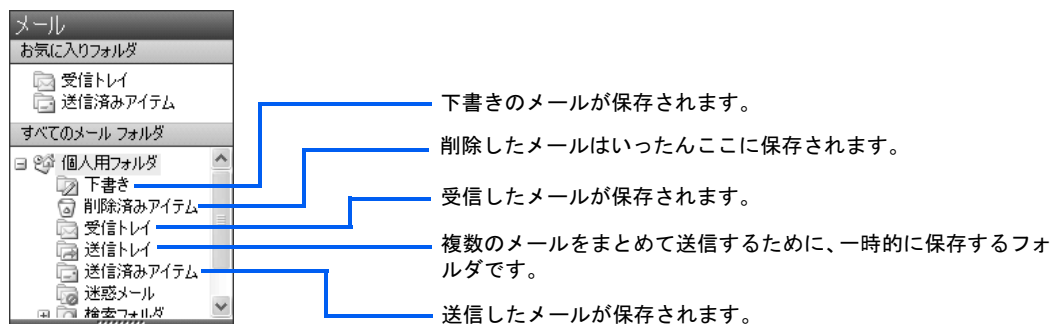
2 **Outlook 2003 が起動します。**

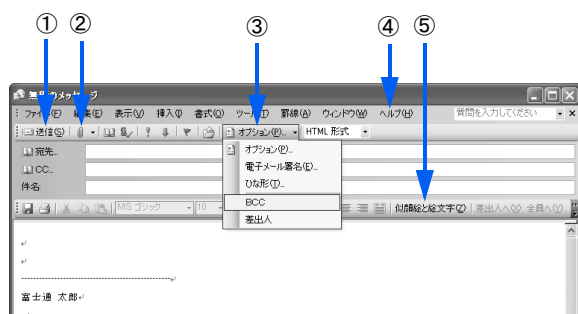
Outlook 2003 の使い方

■Outlook 2003 の画面について

「受信トレイ」フォルダをクリックしたときの画面です。

① 新規作成(N)	新しいメールを書くときに使います。クリックすると、「メール作成画面」（••▶ P.32）が表示されます。
② ×	受信したメールを削除するときに使います。削除したいメールを選択してからこのボタンをクリックすると、メールが「削除済みアイテム」フォルダに移動します。
③ 返信(R)	受信したメールに返信するときに使います。返信を出したいメールを選択してからこのボタンをクリックすると、「メール作成画面」が表示されます。
④ 全員へ返信(L)	受信したメールを全員に返信するときに使います。返信を出したいメールを選択してからこのボタンをクリックすると、「メール作成画面」が表示されます。
⑤ 転送(W)	受信したメールを誰かに転送するときに使います。転送したいメールを選択してからこのボタンをクリックすると、「メール作成画面」が表示されます。
⑥ 送受信(C)	新しいメールが来ているかどうか調べて受信するときや、「送信トレイ」フォルダに保存してあるメールを送信するときに使います。クリックするとインターネットへ接続し、送信と受信を同時に行います。

■フォルダの種類について

Outlook 2003 ウィンドウの左側（フォルダエリア）には、メールを種類ごとに分けるためのフォルダが用意されています。

■メール作成画面について

メールを書くときに表示される画面です。

① 送信(S)	作成したメールを送信するときに使います。
②	メールに画像などのファイルを添付するときに使います。
③ オプション(P)...	メールの宛先に「BCC」を追加したいときなどに使います。クリックすると、宛先などの詳細な設定ができるようになります。「CC」や「BCC」については、「「CC」「BCC」について」（••▶ P.35）をご覧ください。
④ ヘルプ(H)	Outlook 2003 の詳しい使い方を知りたいときに使います。
⑤ 似顔絵と絵文字(Z)	メールの文章に絵文字などを挿入したいときに使います。

お問い合わせ先

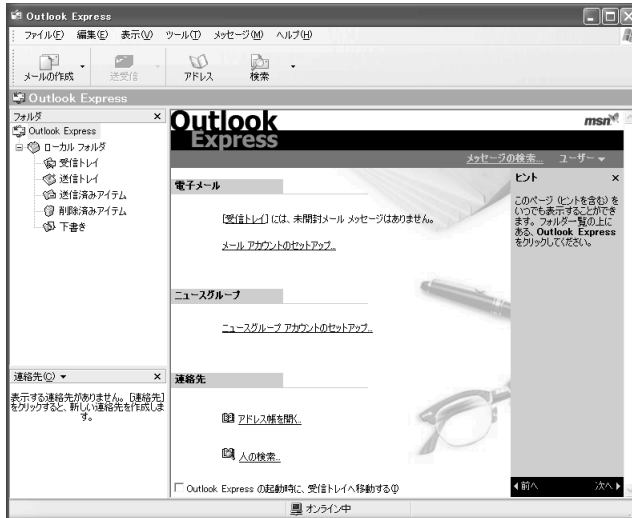
Outlook 2003 については、マイクロソフトアジアリミテッドにお問い合わせください。お問い合わせ窓口については、『サポート＆サービスのご案内』→「ソフトウェアについて困ったときは」→「ソフトウェアのお問い合わせ先一覧」をご覧ください。

Outlook Express を使う

Outlook Express の始め方

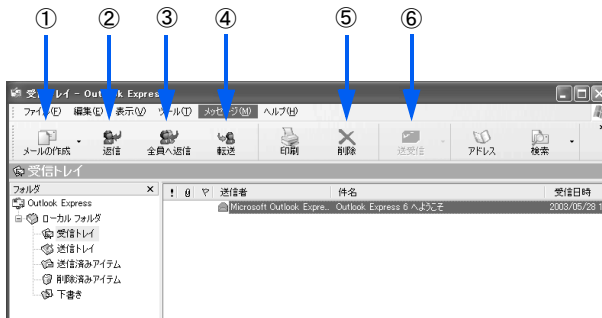
1 「スタート」ボタン→「電子メール」の順にクリックします。

「Outlook Express」が起動しない場合は、「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「Outlook Express」の順にクリックしてください。

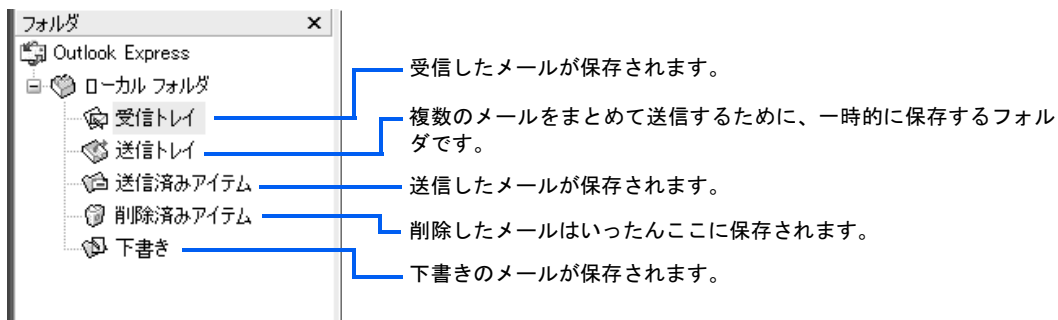
2 Outlook Express が起動します。

Outlook Express の使い方

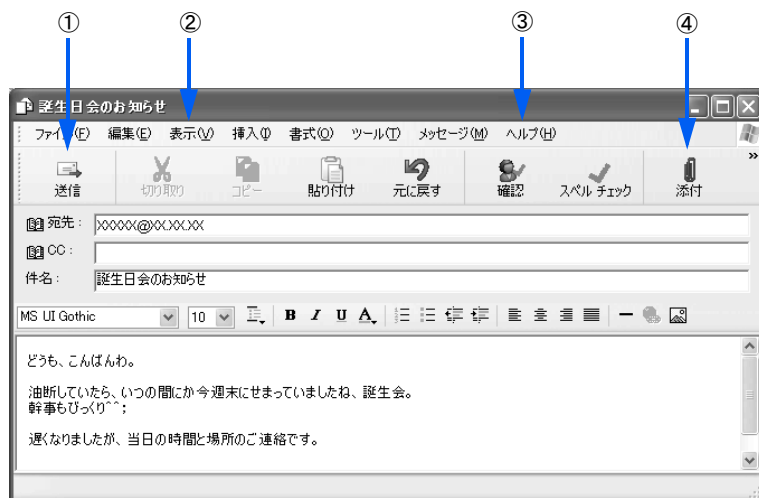
■Outlook Express の画面について

「受信トレイ」フォルダをクリックしたときの画面です。

①　②　③　④　⑤　⑥

①【メールの作成】	新しいメールを書くときに使います。クリックすると、「メール作成画面」（••▶ P.34）が表示されます。
②【返信】	受信したメールに返信するときに使います。返信を出したいメールを選択してからこのボタンをクリックすると、「メール作成画面」が表示されます。
③【全員へ返信】	受信したメールを全員に返信するときに使います。返信を出したいメールを選択してからこのボタンをクリックすると、「メール作成画面」が表示されます。
④【転送】	受信したメールを誰かに転送するときに使います。転送したいメールを選択してからこのボタンをクリックすると、「メール作成画面」が表示されます。
⑤【削除】	受信したメールを削除するときに使います。削除したいメールを選択してからこのボタンをクリックすると、メールが「削除済みアイテム」フォルダに移動します。
⑥【送受信】	新しいメールが来ているかどうか調べて受信するときや、「送信トレイ」フォルダに保存してあるメールを送信するときに使います。クリックするとインターネットへ接続し、送信と受信を同時に行います。

■フォルダの種類について

Outlook Express ウィンドウの左側（フォルダエリア）には、メールを種類ごとに分けるためのフォルダが用意されています。

■メール作成画面について

メールを書くときに表示される画面です。

①【送信】	作成したメールを送信するときに使います。
②「表示」メニュー→「すべてのヘッダー」の順にクリック	メールの宛先に「BCC」を追加したいときなどに使います。「CC」や「BCC」については、「「CC」「BCC」について」（••▶ P.35）をご覧ください。
③【ヘルプ】	Outlook Express の詳しい使い方を知りたいときに使います。
④【添付】	メールに画像などのファイルを添付するときに使います。

Eメールお役立ち情報

Eメールを利用するときに、次のような機能があります。その他、Eメールの便利な使い方については、(サービスアシスタント)のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「6.インターネット／Eメール」→「Eメールの使い方」をご覧ください。

■大切な情報をバックアップしたい

「バックアップで大切なデータを守る」(P.38)をご覧ください。

■「CC」「BCC」について

同じ内容のメールを複数の人に一度に送りたいときは、「CC」「BCC」という方法があります。

・CC(カーボンコピー)

「そのメールに直接関係はないけれど、メールの内容を知っておいてほしい」という人宛てに、写しとしてメールを送る場合に使います。

CCで送ると、メールを受け取った人は、他にそのメールをCCで受け取った人全員のアドレスがわかってしまいます。親しい仲間内なら問題ありませんが、自分のメールアドレスを他人に公開されたくない人もいますので、CCを使ってメールを送るときは注意しましょう。

・BCC(ブラインドカーボンコピー)

CCと同じく、メールの写しを送る場合に使います。BCCで送ると、他に誰がBCCでメールを受け取ったのかはわかりません。

■HTML形式とテキスト形式について

Eメールには、「HTML形式」と「テキスト形式」があります。
「HTML 形式」とは、文字のサイズや色を装飾したり、画像の貼り付けなどが可能なメールの形式です。
「テキスト形式」は、テキスト(文字)だけで構成されたメール形式です。
受け取ると楽しい「HTML形式」のメールですが、送るときには注意が必要です。
相手側のメールソフトが「HTML 形式」に対応していない場合、文字化けなどを起こしてしまい、メールを読むことができません。
相手の環境がわからない場合は、どのような環境でも読むことができる「テキスト形式」にして送りましょう。
「Outlook 2003」「Outlook Express」では、「HTML形式」と「テキスト形式」を選択することができます。
Eメールを送るときは、相手の環境を考慮して、この2つを上手に使い分けましょう。
詳しくは、「Outlook 2003」「Outlook Express」のヘルプをご覧ください。

■プレビュー機能について

「Outlook 2003」「Outlook Express」には、Eメールを開いていなくても内容を表示する「プレビュー機能」があります。
便利な機能なのですが、ウイルスが添付されたEメールを受信した場合、添付ファイルを開かなくても「プレビュー機能」によりウイルスに感染してしまう危険性があります。
ウイルスの感染経路の多くはEメールが原因です。特にプレビュー機能が狙われやすくなっています。メールのプレビューをしない設定にしておくことを強くお勧めします。
詳しくは、「Outlook 2003」「Outlook Express」のヘルプ、または(サービスアシスタント)のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「6.インターネット／Eメール」→「Eメールの使い方」→「メールソフトの始め方／終わり方」をご覧ください。

覚えておきたいメールのお約束

インターネットでのエチケットは「ネチケット」と呼ばれています。その中でもEメールを利用するうえで、覚えておきたい事柄、気をつけなければならないマナーがいくつかあります。

使ってはいけない文字

■半角カタカナ文字

インターネットでは、半角カタカナ文字は使うことができません。文字化け（入力した文字とまったく関係ない文字が表示される）してしまいます。

■特殊な文字や記号

①（丸付き数字）やⅥ（ローマ数字）などの特殊な文字は、相手が受け取ると文字化けして読むことができないことがあります。

良いメールの書き方

■差出人の署名を付ける

郵便の差出人署名と同じように、誰が送ったのかわかるよう、署名を付けておきましょう。

■わかりやすいタイトル（件名）を付ける

メールの内容がイメージできるよう、わかりやすい件名を付けましょう。

■改行を入れて読みやすくする

ダラダラと長い文章は読みにくいもの。適当なところで改行を入れておくと読みやすくなります。全角文字で35文字を目安にするといいでしょう。

■大きなファイルは送らない

メールを使えば、ワープロソフトで作った書類やデジタルカメラで撮った写真などのファイルも一緒に送れます。しかし、一般の電話回線（アナログ）などを使ってサイズが大きいファイルを送ると、送受信に時間がかかり、メールを受け取る人にも迷惑がかかってしまいます。

目安としてファイルのサイズが1MBを超えるときは、メールを送る相手に事前に連絡して了解をとっておくとよいでしょう。

■海外へのメールに日本語は使わない

英語しか使えない海外のコンピュータでは、日本語（全角文字）は表示できません。

アルファベットも、全角文字だと日本語と同じ扱いになります。相手が日本語を使えるコンピュータかどうか気をつけてください。

第 3 章

パソコンは自分自身で守ろう

お客さまのパソコンは、お客様自身の責任でウイルスや故障に備えて守っていただかなければなりません。
ここでは、大切なデータの予備を保存する「バックアップ」と、ウイルスなどからパソコンを守るセキュリティ対策について紹介します。

1　バックアップで大切なデータを守る

大切なデータの予備を保存しておくことを「バックアップ」と呼びます。
ここでは、バックアップ方法について説明します。
バックアップするには、このパソコンに添付の「FM かんたんバックアップ」を使う方法、ファイルをコピーする方法、および「Internet Explorer」の「エクスポート」機能を使う方法があります。

大切なデータはバックアップしましょう

万が一なんらかの原因で、Windows がうまく起動しなくなってパソコンをご購入時の状態に戻さなければならなくなった場合や、大切なデータを誤って紛失してしまった場合に備え、大切なデータは予備を保存しておくことをお勧めします。

パソコンには次のようないろいろなデータが保存できます。
- デジタルカメラの写真
- 文章、イラスト、映像
- 知人とのメール
- アドレス帳に登録したメールアドレス
- 「Internet Explorer」のお気に入り（ホームページのアドレス集）

しかし、次のような状態になると、多くの場合、保存したデータは、もう元に戻すことはできません。
- ファイルが壊れた
- 誤って消去した
- ハードディスクが壊れた
- Windows が起動しなくなった
- ご購入時の状態に戻した

いつこのような状態になるかはわかりません。こうなったときに被害を最小限にとどめるためにも、大切なデータは日頃から定期的にバックアップを行う習慣をつけましょう。

POINT

Dドライブを活用しましょう
パソコンをご購入時の状態に戻す（リカバリ）と、Cドライブはご購入時の状態に戻りますが、Dドライブはご購入時の状態には戻さずに、データをそのまま保存することができます。作成したデータなどは、Dドライブに保存しておくのもよいでしょう。

「FM かんたんバックアップ」を使う

「FM かんたんバックアップ」を使うと、お客様が作成したファイルなどのバックアップや復元が簡単にできます。

「FM かんたんバックアップ」をお使いになる前に

■「FM かんたんバックアップ」ではバックアップできないファイルについて

お客様の作成したファイルがすべてバックアップされるわけではありません。「項目」欄に登録されていないソフトウェアで作成したファイルなど「FM かんたんバックアップ」でバックアップできないファイルは、必ずお客様自身でバックアップしてください。
「FM かんたんバックアップ」で保存／復元できないファイルについては、「FM かんたんバックアップ」のヘルプをご覧ください。
「FM かんたんバックアップ」で保存される内容は、「FM かんたんバックアップ」ウィンドウの「保存」タブの「保存する内容」の一覧表で、よくご確認ください。

■DESKPOWER H シリーズをお使いの場合

「TVfunSTUDIO」の録画ファイルは、データの保存先が「D」ドライブに設定されているため、「FM かんたんバックアップ」ではバックアップできません。
大切な録画ファイルは、DVD に保存してください。
録画ファイルの保存方法については、『テレビを見る・録る・残すガイド』→「録ったテレビを DVD に残す」をご覧ください。

■バックアップするファイルの保存先について

データの保存先は、ご購入時は「D」ドライブに設定されています。保存先は変更しないでください。「C」、「D」ドライブ以外にハードディスクドライブやリムーバブルディスクドライブが存在する場合に限り、保存先のドライブは変更できます。ただし、お使いのパソコンをご購入時の状態に戻すときにハードディスクの領域を変更する場合は、ハードディスクにバックアップしないでください。ハードディスク全体のファイルが削除されてしまいます。

■ハードディスクの故障に備えてバックアップする場合

ハードディスクが故障したときに備えてバックアップする場合は、CD/DVD、外付ハードディスク、MO など、このパソコンのハードディスク以外にバックアップしてください。
「FM かんたんバックアップ」を使うと、ハードディスクにバックアップしたファイルを CD/DVD に簡単にコピーすることができるので便利です。操作方法については、「「FM かんたんバックアップ」でバックアップする」（••▶ P.40）をご覧ください。

■複数のユーザーでパソコンをお使いの方へ

コントロールパネルの「ユーザーアカウント」で新しくユーザーを作成した場合、それぞれのユーザー名でログオンして作成したデータをバックアップできます。ただし、「制限ユーザー」がログオンして作成したデータは、バックアップできません。

3

■日本語または英語以外のファイル名をお使いの場合

日本語または英語以外のファイル名をお使いの場合、「FM かんたんバックアップ」で保存／復元できないことがあります。ファイル名は、日本語または英語に変更してからバックアップしてください。

■「FM かんたんバックアップ」を使った復元について

「FM かんたんバックアップ」でバックアップしたときから復元するまでの間に、バックアップしたファイルを変更したり、新しくファイルを作ったり、設定を変更すると、その内容はバックアップされていません。そのまま「FM かんたんバックアップ」で復元すると、バックアップしたときのファイルや設定内容が復元されるので、その間に変更した内容や新しく作ったファイル、設定した内容はすべて消えてしまいます。十分に注意してください。

「FM かんたんバックアップ」でバックアップする

ワープロの文書や画像ファイルなど、ソフトウェアを使って作成したデータやインターネットの設定を次の手順でバックアップします。

重要

不具合が起きてからバックアップをとるときは

パソコンに不具合が起きてからリカバリする場合、「FM かんたんバックアップ」でバックアップをとらないでください。復元するときに、パソコンに不具合が起きたときの設定も復元してしまいます。
ソフトウェアで作成したファイルだけをご自分でコピーしてバックアップをとってください。ファイルのコピーについては、（サービスアシスタント）のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「3.パソコンの基本」→「Windowsの操作」→「ファイルとフォルダ」→「ファイルやフォルダをコピーする」をご覧ください。

1 **起動中のソフトウェアをすべて終了し、スクリーンセーバーを「なし」に設定します。**

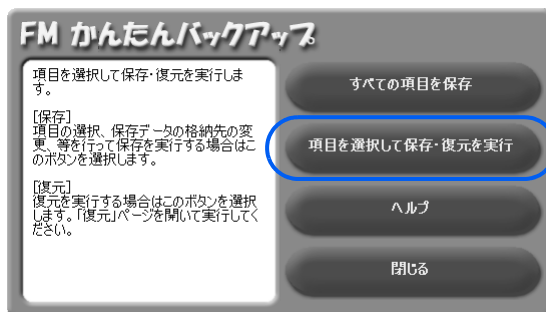
通知領域に常駐するタイプのソフトウェアも終了します。
スクリーンセーバーの設定方法については、（サービスアシスタント）のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「3.パソコンの基本」→「画面の表示」→「使っていないときに画像を表示しておく（スクリーンセーバー）」をご覧ください。

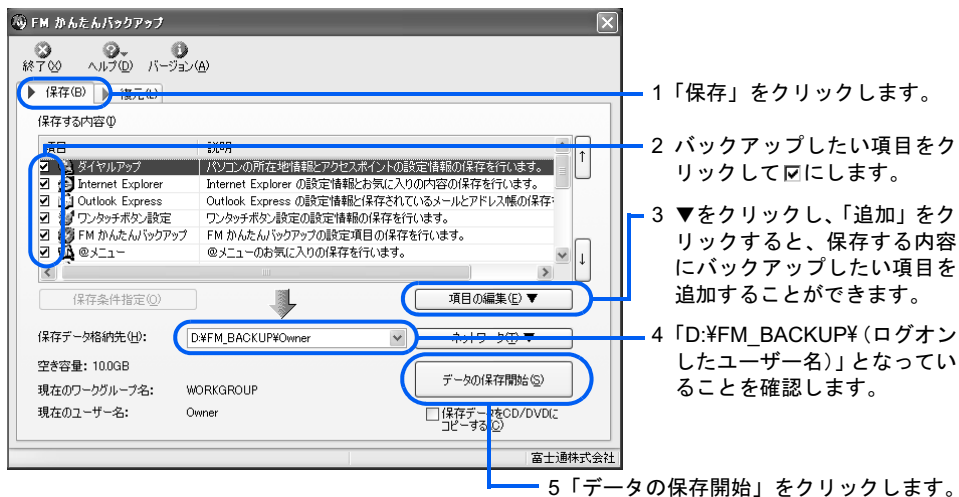
2 **「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「FM かんたんバックアップ」→「FM かんたんバックアップ」の順にクリックします。**

「FM かんたんバックアップのワンポイント」ウィンドウが表示されます。
DESKPOWER をお使いの方は、キーボードのバックアップボタンを押しても「FM かんたんバックアップ」を起動することができます。

3 **内容を確認し、「閉じる」をクリックします。**

4 「項目を選択して保存・復元を実行」をクリックします。

「Internet Explorer」やメールソフトの設定など、すべての項目を1度に保存したい場合は、「すべての項目を保存」をクリックし、手順6に進んでください。

5 1～4の手順に従って操作してください。

ハードディスクにバックアップしたデータを CD/DVD にコピーしたい場合は、「保存データを CD/DVD にコピーする」をクリックして☑にしてから「データの保存開始」をクリックしてください。その後は、画面の指示に従って操作してください。

重要

CD/DVD へのコピーには「RecordNow!」が必要です

バックアップしたファイルを CD/DVD にコピーするには、「RecordNow!」というソフトウェアが必要です。「RecordNow!」は、このパソコンに用意されています。詳しくは、「FM かんたんバックアップ」のヘルプをご覧ください。

カスタムメイドモデルでスタンダードセットを選択した方は、このパソコンに添付の「アプリケーションディスク 1」から「RecordNow!」をインストールしてください。

POINT

「既に保存したデータが存在します」というメッセージが表示された場合

すでにバックアップデータが存在する場合に表示されます。以前のバックアップデータを破棄し、新しくバックアップするときは、「はい」をクリックしてください。

6 「保存開始」ウィンドウで、「開始」をクリックします。

7 データの保存が始まります。しばらくお待ちください。

このとき、タブをクリックするなどの操作は行わないでください。

8 「保存結果」ウィンドウで、結果を確認します。

結果の右にある をクリックし、すべての項目の結果を確認してください。
保存に失敗した場合は、もう 1 度保存に失敗した項目を選択して保存する操作を行ってください。
このとき、保存データ格納先のデータのファイルを開いて、データがバックアップされたことを確認すると、より安心です。

9 「保存結果」ウィンドウで、「閉じる」をクリックします。

手順 4 で「すべての項目を保存」を選択した場合は、「FM かんたんバックアップ」が終了します。次の手順 10 は必要ありません。
手順 4 で「項目を選択して保存・復元を実行」を選択した場合は、「FM かんたんバックアップ」ウィンドウに戻ります。

10 「終了」をクリックします。

「FM かんたんバックアップ」が終了します。

これで、「FM かんたんバックアップ」により、ファイルがバックアップされました。

POINT

「PowerUtility - スケジュール機能」を使って定期的にバックアップする

このパソコンに添付の「PowerUtility - スケジュール機能」を使えば、指定した時間に自動的にバックアップを実行することができます。
パソコンの電源を切っていても大丈夫なので、パソコンを使っていない夜中にバックアップを実行すれば、何も操作することなく定期的なバックアップができて安心です。
なお、TVチューナー搭載機種の方が、「PowerUtility - スケジュール機能」をお使いになるには、使い始める前の準備が必要です。
「PowerUtility - スケジュール機能」の使い方については、（サービスアシスタント）のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「９.添付ソフトウェア一覧（読み別）」→「PQRST」→「PowerUtility - スケジュール機能」をご覧ください。

「FM かんたんバックアップ」でファイルを復元する

次の手順に従って「FM かんたんバックアップ」でバックアップしたファイルを元の場所に復元します。

重要

ご購入後にインストールしたソフトウェアのファイルを復元する場合

先にソフトウェアをインストールしてからファイルをコピーしてください。

復元する前の注意（ご購入時の状態に戻す作業の場合を除く）

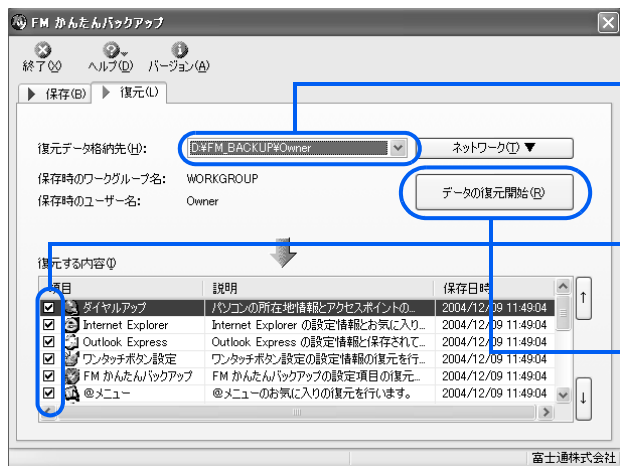
「FM かんたんバックアップ」でバックアップしたときから復元するまでの間に、バックアップしたファイルを変更したり、新しくファイルを作ったり、設定を変更すると、その内容はバックアップされていません。そのまま「FM かんたんバックアップ」で復元すると、バックアップしたときのファイルや設定内容が復元されるので、その間に変更した内容や新しく作ったファイル、設定した内容はすべて消えてしまいます。十分に注意してください。

3

1 **起動中のソフトウェアをすべて終了し、スクリーンセーバーを「なし」に設定します。**

通知領域に常駐するタイプのソフトウェアも終了します。
スクリーンセーバーの設定方法については、（サービスアシスタント）のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「３.パソコンの基本」→「画面の表示」→「使っていないときに画像を表示しておく（スクリーンセーバー)」をご覧ください。

2 **「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「FM かんたんバックアップ」→「FM かんたんバックアップ」の順にクリックします。**

「FM かんたんバックアップのワンポイント」ウィンドウが表示されます。
DESKPOWER をお使いの方は、キーボードのバックアップボタンを押しても「FM かんたんバックアップ」を起動することができます。

3 **内容を確認し、「閉じる」をクリックします。**

4 **「項目を選択して保存・復元を実行」をクリックします。**

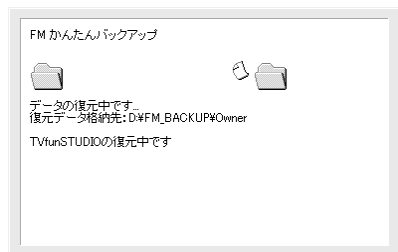
5 **「復元」タブをクリックします。**

6 1～3の手順に従って操作してください。

CD/DVDからデータを復元する場合は、データを保存したCD/DVDをドライブにセットし、「復元データ格納先」の をクリックしてCD/DVDの入ったドライブを選択してください。

7 「復元開始」ウィンドウで、「開始」をクリックします。

8 データ復元が始まります。しばらくお待ちください。

このとき、タブをクリックするなどの操作は行わないでください。

9 「復元結果」ウィンドウで、結果を確認します。

結果の右にある をクリックし、すべての項目の結果を確認してください。

ファイルが復元されなかった場合

次のような原因が考えられます。

・「復元データ格納先」が間違って指定されている
　ドライブ名をバックアップのときと同じドライブに指定し直してください。

・ファイルがバックアップされていない
　バックアップしたときに、ファイルのバックアップに失敗しています。この場合、ファイルの復元はできません。

10 「復元結果」ウィンドウで、「閉じる」をクリックします。

POINT

「データの復元が終了しました」というメッセージが表示された場合
「OK」をクリックしてください。
パソコンが再起動します。
この場合、手順 11 は必要ありません。

11 「終了」をクリックします。

これで、「FM かんたんバックアップ」でバックアップしたファイルが元の場所に復元されました。

3

ファイルをコピーしてバックアップする

ハードディスクの C ドライブに保存されているファイルを、ハードディスクの D ドライブ、CD/DVD、フロッピーディスクなどにコピーしてバックアップする方法です。

ファイルをコピーする

パソコンは「ハードディスク」にさまざまなデータを保存することができます。
しかし万が一、なんらかの原因でハードディスク自体が破損をしてしまった場合には、せっかくバックアップをしたデータも復元することができなくなってしまいます。
そのような緊急の場合のためには、CD/DVD やフロッピーディスクなど、ハードディスク以外の場所に大切なデータの予備を保存しておくことをお勧めします。
また、デジタルカメラの撮影データなど容量の大きいデータは、ハードディスクのDドライブにバックアップすると、空き容量が少なくなり、その他のデータをDドライブに保存できなくなります。容量の大きいデータは、CD/DVDなどへ保存しておくことをお勧めします。

■D ドライブにコピーする

ファイルをコピーする方法については、(サービスアシスタント)のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「3．パソコンの基本」→「Windows の操作」→「ファイルとフォルダ」→「ファイルやフォルダをコピーする」をご覧ください。

■CD/DVD にコピーする

CD/DVDにコピーするには、このパソコンに添付の「RecordNow!」を使います。使い方については、(サービスアシスタント)のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「9.添付ソフトウェア一覧(読み別)」→「PQRST」→「RecordNow!」をご覧ください。

■フロッピーディスクにコピーする

フロッピーディスクドライブ搭載の機種をお使いの方は、フロッピーディスクにファイルをコピーすることができます。
ファイルをコピーする方法については、(サービスアシスタント)のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「3．パソコンの基本」→「Windows の操作」→「ファイルとフォルダ」→「ファイルやフォルダをコピーする」をご覧ください。

ファイルを復元する

バックアップしたときと同じように、ファイルを元の場所にコピーしてください。このとき違う場所にコピーすると、データが使用できなかったり、別途設定が必要になる場合がありますので、ご注意ください。

重要

ご購入後にインストールしたソフトウェアのファイルを復元する場合

先にソフトウェアをインストールしてからファイルをコピーしてください。

「Internet Explorer」の「エクスポート」機能を使って「お気に入り」をバックアップする

「Internet Explorer」の「お気に入り」をバックアップする

「お気に入り」をバックアップするには、「Internet Explorer」の「エクスポート」機能を使用します。

1. **「Internet Explorer」の画面で、「ファイル」メニュー→「インポートおよびエクスポート」の順にクリックします。**
   「インポート／エクスポートウィザード」が表示されます。
2. **「次へ」をクリックします。**
3. **「実行する操作を選択してください。」の「お気に入りのエクスポート」をクリックし、「次へ」をクリックします。**
4. **「Favorites」フォルダをクリックし、「次へ」をクリックします。**
5. **「ファイルまたはアドレスにエクスポートする」をクリックし、◉にします。**
6. **保存先を確認し、「次へ」をクリックします。**
   表示された保存先やファイル名を変更する場合は、保存先と保存するファイル名を入力します。
7. **「完了」をクリックします。**
   バックアップが始まります。終了すると、「お気に入りのエクスポート」が表示されます。

バックアップした「お気に入り」を復元する

バックアップした「お気に入り」を復元するには、「Internet Explorer」の「インポート」機能を使用します。

1 **「Internet Explorer」の画面で、「ファイル」メニュー→「インポートおよびエクスポート」の順にクリックします。**

「インポート／エクスポートウィザード」が表示されます。

2 **「次へ」をクリックします。**

3 **「実行する操作を選択してください。」の「お気に入りのインポート」をクリックし、「次へ」をクリックします。**

4 **「ファイルまたはアドレスからインポートする」をクリックし、◉にします。**

5 **保存されている場所と読み込むファイル名を確認し、「次へ」をクリックします。**

6 **「Favorites」フォルダをクリックし、「次へ」をクリックします。**

7 **「完了」をクリックします。**

「お気に入り」の復元が始まります。

8 **「お気に入りのインポート」が表示されたら、「OK」をクリックします。**

メールソフトをバックアップする

E メールには、受信メールやアドレス帳、アカウントなどバックアップしておきたいデータがあります。バックアップ方法については、お使いのメールソフトによって異なります。ソフトウェアのマニュアルまたはヘルプをご覧になり、設定や情報を保存できるか確認して、保存できる場合は必要な設定や情報を保存してください。

2 ウイルスや不正アクセスからパソコンを守る

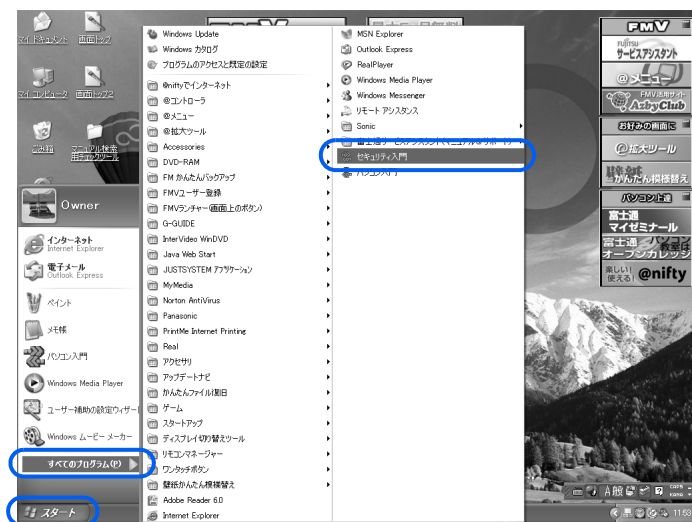
パソコンに保存されている大切なデータや個人情報などを、他人に悪用されたり、破壊されたりするのを防ぐために、日頃からセキュリティ対策を心がけましょう。
ここでは、インターネットに接続したときにウイルスや不正アクセスからパソコンを守る基本的なセキュリティ対策を紹介します。

セキュリティ対策には、ここで紹介するもの以外にも、パスワードを設定して他人がパソコンを勝手に使用できないようにする方法やパソコンを盗難から守る方法などがあります。
このパソコンでできるセキュリティ対策については、（サービスアシスタント）のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「４．セキュリティ対策」をご覧ください。

「セキュリティ入門」でセキュリティの基礎知識を学ぶ

このパソコンでは、セキュリティについて楽しく学べる「セキュリティ入門」を用意しています。初めてインターネットを利用する方、セキュリティについて知りたい方は、「セキュリティ入門」をご覧ください。

「セキュリティ入門」を始める

1 **「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「セキュリティ入門」の順にクリックします。**

「セキュリティ入門」が表示されます。

2 「メニュー」から見たいタイトルをクリックすると、内容が表示されます。

セキュリティ対策

重要

インターネットの設定がまだお済みでない方は

インターネットに接続するための設定や方法については、ご利用のプロバイダから提供されたマニュアルをご覧ください。

初めてインターネットに接続するときは必ずセキュリティ対策を行ってください

このパソコンの出荷後、お客様にご購入いただくまでの間にも、セキュリティの脆弱性（ぜいじゃくせい：一般的に、コンピュータやネットワークにおけるセキュリティ上の弱点のこと）が新たに見つかったり、悪質なウイルスが出現したりしている可能性があります。
初めてインターネットに接続するときは、マニュアルの手順に従って、パソコンを最新の状態にし、セキュリティ対策を行ってください。
最新の状態にする手順などセキュリティ対策については、『パソコンの準備』→「パソコンを準備する」→「インターネットを始めるための準備をする」→「初めてインターネットに接続するときのセキュリティ対策」をご覧ください。

インターネットに接続したときに、ウイルスや不正アクセスからパソコンを守るための基本的な対策には次のものがあります。

- Windows ファイアウォール・・・外部からの不正な侵入を防ぎ、データの流出や破壊行為からパソコンを守ります。
- Windows Update・・・Windows やソフトウェアなどを最新の状態に更新して、セキュリティ上の弱点などへの対策をします。
- ウイルス対策ソフト・・・コンピュータウイルスの検出・駆除をして、パソコンをコンピュータウイルスから守ります。

これらのセキュリティ設定を、Windows の標準機能「セキュリティセンター」が監視しています。

Windows ファイアウォール

「Windows ファイアウォール」は、不正アクセスからパソコンを保護する Windows XP の標準機能です。ご購入時は、この設定が有効になっています。
「Windows ファイアウォール」が有効になっていると、ネットワークを利用する一部のソフ

トウェアやサービスの動きを遮断するのでいくつかの機能が制限されます。たとえば、ホームネットワークをご利用の場合、ファイル共有・プリンタ共有などの機能が使えなくなる可能性があります。また、ネットワーク機能を使った一部のソフトウェアで、他のパソコンのデータを見られないなどの機能制限が考えられます。
この場合は、設定の変更が必要です。

「Windows ファイアウォール」の設定を変更すると、制限されている機能を使うことができるようになりますが、セキュリティの危険が増す可能性があります。お客様のご利用状況により判断して設定を変更してください。
設定を変更する方法については、(サービスアシスタント)のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「4.セキュリティ対策」→「インターネット/ネットワークのセキュリティ対策」→「不正アクセス対策(ファイアウォール)」→「「Windows ファイアウォール」について」をご覧ください。

Windows Update

「Windows Update」は、Windows を常に最新の状態に整えるマイクロソフト社が提供するサポート機能です。「Windows Update」を実行すると、Windows やソフトウェアなどを最新の状態に更新・修正できます。最新の状態にすることにより、ウイルスが侵入したり、不正アクセスされたりするセキュリティホールをなくすための対策(パッチをあてると言います)もされます。
ご購入時の設定では、インターネットに接続しているときに、重要な更新プログラムとセキュリティ更新プログラムを自動更新するように設定されています。

ここでは、「Windows Update」の中の重要な更新プログラムとセキュリティ更新プログラムを手動で適用する方法について説明します。

POINT

更新する項目について

「Windows Update」では、重要な更新プログラムとセキュリティ更新プログラム以外にドライバなども更新できますが、富士通製のソフトウェアに関しては「アップデートナビ」(••▶ P.68)で更新できますので、そちらのご利用をお勧めします。それ以外の項目については、内容により更新が必要かどうかご判断ください。
なお、「Windows Update」でマイクロソフト社から提供されるプログラムについては、弊社がその内容や動作、および実施後のパソコンの動作を保証するものではありませんのでご了承ください。

■手動で「Windows Update」を実行する

「Windows Update」の自動更新を無効に設定している場合は、手動で「Windows Update」を実行し、重要な更新プログラムとセキュリティ更新プログラムを適用することをお勧めします。インターネットに接続した状態で、次の操作を行ってください。

1 **「スタート」メニュー→「すべてのプログラム」→「Windows Update」の順にクリックします。**

「Windows Update」の画面が表示されます。

2 **「高速インストール」をクリックします。**

パソコンの状態を診断し、プログラムを更新します。

3 この後は、表示される画面に従って操作してください。

4 「Internet Explorer」の ☒ をクリックします。

POINT

ダイヤルアップ接続の方は

ダイヤルアップ接続の方は、「Internet Explorer」を閉じた後、「自動切断」ウィンドウで「今すぐ切断する」をクリックします。
回線が切断され、画面右下の通知領域から がが消えます。
画面右下の通知領域の が消えないときは、 を右クリックして、「切断」をクリックします。

3

■Office のアップデートについて （DESKPOWER T50J、カスタムメイドモデルでスタンダードセットを選択した方を除く）

「Office のアップデート」は、「Word 2003」や「Excel 2003」などの Office 製品を最新の状態に整え、セキュリティと安定性を強化し、重要なアップデートを提供するためにマイクロソフト社が提供するサポート機能です。
「Windows Update」の画面から「Office ファミリ」を選択して「Office のアップデート」を実行できます。
アップデートの方法については、表示される画面に従ってください。

ウイルス対策ソフト

このパソコンには、コンピュータウイルスからパソコンを守る「Norton AntiVirus」というウイルス対策ソフトが用意されています。

- ウイルス定義ファイルを更新して、最新のウイルスからパソコンを守ります。
- ウイルスを検知して感染を修復します。

■「LiveUpdate」で「ウイルス定義ファイル」を更新する

次々と発生する悪質なコンピュータウイルスからパソコンを守るためには「ウイルス定義ファイル」を常に更新する必要があります。
「ウイルス定義ファイル」を更新するには「LiveUpdate」を実行します。
また、「ウイルス定義ファイル」を更新したら、パソコンが新しいウイルスに感染していないか、最新のウイルス定義ファイルでウイルスチェックをしておきましょう。
「ウイルス定義ファイル」の更新方法およびウイルスチェックをする方法については、（サービスアシスタント）のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「4.セキュリティ対策」→「インターネット／ネットワークのセキュリティ対策」→「ウイルス／ワーム対策」→「「Norton AntiVirus」の使い方」をご覧ください。

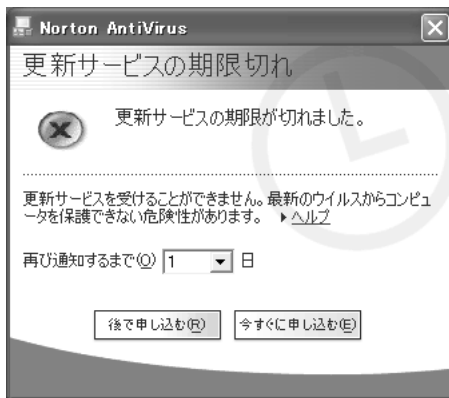
■こうするともっと簡単安心

『パソコンの準備』の手順の中で「LiveUpdate」を自動で実行する設定をした場合、自動でパソコンに「ウイルス定義ファイル」をダウンロードし、インストールします。
『パソコンの準備』の手順の中で「LiveUpdate」を自動実行する設定にしていない方は、「Norton AntiVirus」のヘルプをご覧になり、自動実行する設定に変更するともっと簡単安心です。

「PowerUtility - スケジュール機能」を使って定期的にウイルスチェックする

このパソコンに添付の「PowerUtility - スケジュール機能」を使えば、指定した時間に自動的にウイルスチェックをすることができます。
パソコンの電源を切っていても大丈夫なので、パソコンを使っていない夜中にウイルスチェックを実行すれば、何も操作することなく定期的なウイルスチェックができて安心です。
なお、TVチューナー搭載機種の方が、「PowerUtility - スケジュール機能」をお使いになるには、使い始める前の準備が必要です。
「PowerUtility - スケジュール機能」の使い方については、（サービスアシスタント）のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「９.添付ソフトウェア一覧（読み別）」→「PQRST」→「PowerUtility - スケジュール機能」をご覧ください。

■更新サービスについて

「Norton AntiVirus」の使用期限は、初めてソフトウェアを起動した日から 90 日間です。使用期限が切れると、次の画面が表示されます。

使用期限を過ぎると、ウイルス定義ファイルが更新されないため、最新のウイルスからパソコンを守ることができません。
更新サービス（有料）を申し込んで、ウイルス対策をすることをお勧めします。
更新サービスについては、（サービスアシスタント）のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「４.セキュリティ対策」→「インターネット／ネットワークのセキュリティ対策」→「ウイルス／ワーム対策」→「「Norton AntiVirus」の使い方」の「更新サービスとユーザーサポートについて」をご覧ください。

■ユーザーサポートについて

ユーザーサポートを受けるには、シマンテックのホームページでユーザー登録し、カスタマ ID を取得する必要があります。
ユーザー登録日から 90 日間は、無料でユーザーサポートが受けられます。
90 日以後は、有償サポートチケットを購入すると、ユーザーサポートが受けられます。
ユーザー登録とユーザーサポートについては、（サービスアシスタント）のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「４.セキュリティ対策」→「インターネット／ネットワークのセキュリティ対策」→「ウイルス／ワーム対策」→「「Norton AntiVirus」の使い方」の「更新サービスとユーザーサポートについて」をご覧ください。

■「Norton AntiVirus」の使い方についてはマニュアルをご覧ください

「Norton AntiVirus」のマニュアルは、次の手順でご覧ください。

1 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。

2 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。

```
c:¥pifmae¥NAV¥NAVU2004.pdf
```

POINT

文字入力が苦手な方は、クリック操作でもマニュアルを参照できます

文字を入力する代わりに、マイコンピュータを使って、ファイルをクリックして起動することもできます。

1. 「スタート」ボタン→「マイコンピュータ」の順にクリックし、マイコンピュータを表示します。
2. 「ローカルディスク（c:）」をクリックします。
3. 「Pifmae」フォルダをクリックします。
4. 「Nav」フォルダをクリックします。
5. 「NAVU2004」をクリックします。

「@メニュー」からもマニュアルを参照できます

「@メニュー」からマニュアルを参照する方法については、「パソコンでやってみたいことを「@メニュー」で調べる」の手順4（••▶ P.63）の POINT をご覧ください。

PDF 形式のマニュアルの見かたがわからないときは

「Norton AntiVirus」のマニュアルは PDF 形式で作成されています。
PDF 形式のマニュアルの見かたについては、「PDF 形式のマニュアルの見かた」（••▶ P.86）をご覧ください。

■お問い合わせ先

「Norton AntiVirus」については、株式会社シマンテックにお問い合わせください。お問い合わせ窓口については、『サポート＆サービスのご案内』→「ソフトウェアについて困ったときは」→「ソフトウェアのお問い合わせ先一覧」をご覧ください。

セキュリティセンター

「セキュリティセンター」とは、このパソコンのセキュリティ設定を管理する Windows の標準機能です。
「セキュリティセンター」は、次の 3 つの項目を監視しています。

■ファイアウォール

パソコンが Windows ファイアウォールで守られているかを監視します。
ご購入時の設定は、有効になっています。

■自動更新

「Windows Update」で重要な更新プログラムとセキュリティ更新プログラムが自動的に更新されるように設定されているかを監視します。
ご購入時の設定は、有効になっています。

■ **ウイルス対策**

ウイルス対策ソフトを導入しているか、最新のウイルス定義ファイルが適用されているかを監視します。

詳しくは、(サービスアシスタント)のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「4.セキュリティ対策」→「インターネット/ネットワークのセキュリティ対策」→「セキュリティセンター」をご覧ください。

このパソコンのセキュリティ設定

このパソコンのご購入時の設定は次の表のとおりです。
設定によっては、セキュリティ面は安全な反面、ソフトウェアなどの機能が制限されることがあります。
設定を変更する場合は、(サービスアシスタント)のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「4.セキュリティ対策」→「インターネット/ネットワークのセキュリティ対策」→「このパソコンのセキュリティ設定について」をご覧になり、制限事項を理解の上、お客様自身の判断で行ってください。

項目	ご購入時の設定
Windows ファイアウォール	有効
Norton AntiVirus	未設定(Norton AntiVirus を一度起動すると有効)
「Outlook 2003」または「Outlook Express」の HTML メール	有効
「Outlook 2003」または「Outlook Express」のプレビュー機能	有効

第 4 章

FMV のおすすめ活用法

FMV に搭載されている多彩なソフトウェアの楽しみ方や、FMV をさらに活用する方法を紹介します。

1　リモコンひとつで映像・音楽を楽しむ

（DESKPOWER CE55J7/C を除く）

「MyMedia」は映像や音楽を、リモコンで操作できるソフトウェアです。リモコンが添付されていない機種の場合、キーボードやマウスでも楽しむことができます。

「MyMedia」について

「MyMedia」を使うと、ビデオカメラで録画した映像、デジタルカメラの画像、音楽データなどを手軽に再生できます。

（この画面は、機種や状況により異なります）

パソコンに取り込んだ曲をアーティスト名やアルバム名から選んで再生できます。

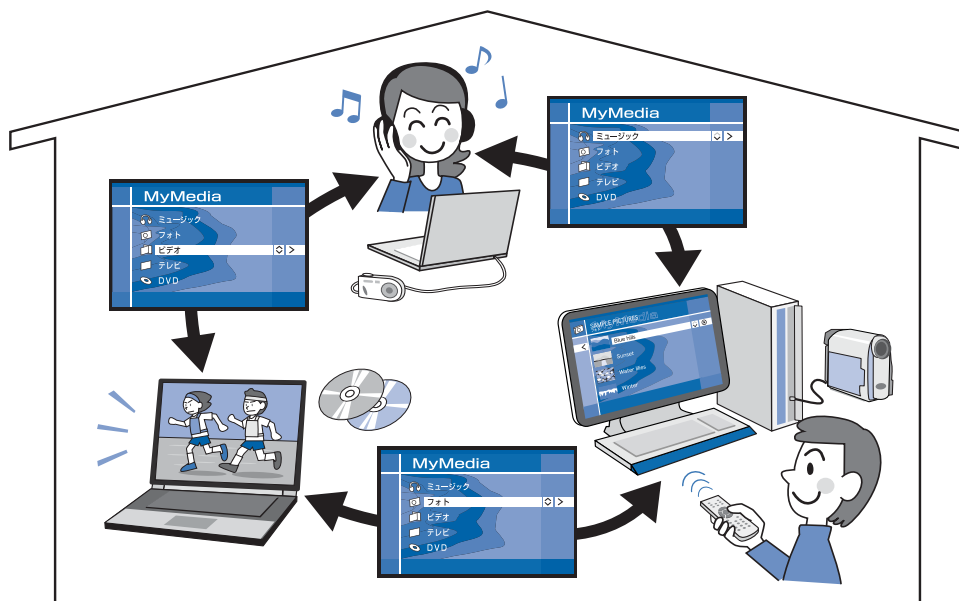
パソコンに取り込んだ静止画データを表示します。

録画したビデオカメラの映像や録画したテレビ番組などを再生します。

「TVfunSTUDIO」を起動させ、テレビを見られます（テレビ機能対応機種のみ）。

「WinDVD」を起動させ、DVD ソフトを再生します。

クリックすると、次のメニューが表示されます。
メディアサーバー・・・接続されているパソコンを指定してコンテンツを選びます。
設定・・・画面のデザインや音声などの設定をします。

ネットワークにも対応しているので、家中のパソコンに保存してあるデータをリモコンひとつで再生できます。

例えば、自分のパソコンに取り込んだデジタルビデオカメラの映像を他のパソコンで再生できたり、他のパソコンに取り込まれたデジタルカメラの画像や音楽などを、リモコンひとつで自分のパソコンで再生できます。

「MyMedia」の画面デザインを変更する

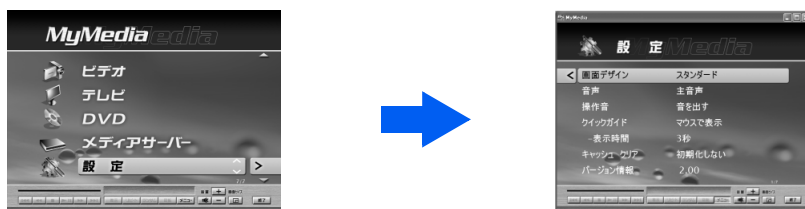
「MyMedia」の画面は次の 3 種類の中から選ぶことができます。

■スタンダード

■スケッチブック

■モノトーン

変更方法

1 「設定」→「画面デザイン」の順にクリックし、お好みのデザインを選択します。

「MyMedia」で他のパソコンのデータを楽しむ

家庭内で複数のパソコンをネットワーク接続すれば、簡単な設定をするだけで、お互いに音楽や写真、動画を楽しむことができます。

設定の流れ

Step 1 ネットワークに接続する

Step 2 他のパソコンに「MyMedia」をインストールする

他のパソコンにも「MyMedia」と「MyMedia Server Tool」をインストールすれば、データをお互いに楽しむことができます。

Step 3 「MyMedia」サーバーを設定する

公開したいデータを設定し、どのパソコンに閲覧を許可するかを設定します。

Step 4 他のパソコンのデータを楽しむ

「MyMedia」の使い方を知りたいときは

・ネットワークに接続する方法については、（サービスアシスタント）のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「7.パソコン本体の取り扱い」→「LAN」→「LANを使う」をご覧ください。
・「MyMedia」の各種設定については、「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「MyMedia」→「MyMedia マニュアル」をご覧ください。
・「MyMedia」の使い方については、（サービスアシスタント）のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「5.楽しさ広がるFMV」→「CD/DVDで楽しむ」→「映像や音楽を再生する」をご覧ください。

2 写真入り年賀状を作る

デジタルカメラで撮影した写真をパソコンに取り込み、このパソコンに添付のはがき編集ソフトを使って、オリジナルの写真入り年賀状が作れます。

写真入り年賀状を作る

■写真を取り込む

このパソコンとデジタルカメラを専用ケーブルでつないだり、このパソコンの SD カード／メモリースティックスロットにメモリーカードをセットして写真を取り込めます。

■写真を補正する

「@映像館」を使って、取り込んだ写真の補正ができます。

■年賀状を作る

「筆ぐるめ」を使って、年賀状を作成します。

■写真入り年賀状を印刷する

作成した年賀状を印刷します。

写真入り年賀状を作る操作を知りたいときは

（サービスアシスタント）のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「5.楽しさ広がるFMV」→「年賀状を作ろう」→「写真入り年賀状を作る」をご覧ください。

4

3 映像や写真を取り込んで編集・加工する

FMV ならデジタルビデオカメラで録画した映像やデジタルカメラで撮影した写真を簡単にパソコンに取り込むことができます。
取り込んだ映像や写真を編集することもできるので、映像や写真を並び替えるのも自由自在です。

映像を取り込んで編集・加工・保存する

(DESKPOWER CE55J7/C を除く)

■映像を取り込む
このパソコンに添付の「MotionDV STUDIO」を使えば、パソコンとデジタルビデオカメラをつなぐだけで、簡単に映像を取り込めます。

■映像を編集・加工する
「MotionDV STUDIO」を使えば、取り込んだ画像を自由に編集できます。
余分なシーンをカットしたり、映像を並べ替えたり、録画したテレビ番組を編集して作品にまとめることもできます。

■映像を保存する
大切な映像は DVD に保存すれば画像が劣化することがないので安心です。

映像を取り込んで編集・加工する操作を知りたいときは

(サービスアシスタント)のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「5.楽しさ広がるFMV」→「CD/DVDで楽しむ」→「デジタルビデオをDVDに保存する」をご覧ください。

写真を取り込んで編集・保存する

■写真を取り込む

このパソコンとデジタルカメラを専用ケーブルでつないだり、このパソコンの SD カード／メモリースティックスロットにメモリーカードをセットして写真を取り込めます。

■写真のスライドショーを作成する

このパソコンに添付の「@映像館」を使えば、取り込んだ写真でスライドショー（写真を順番に自動表示すること）を作成できます。BGM やいろいろな効果をつけて写真を楽しむこともできます。

■スライドショーを保存する

作成したスライドショーは DVD に保存しておけば安心です。

4

写真を取り込んで編集・保存する操作を知りたいときは

（サービスアシスタント）のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「5.楽しさ広がるFMV」→「デジタル写真を使っていろいろ楽しむ」→「写真をスライドショーにする」をご覧ください。

4 多彩なソフトウェアで楽しむ

このパソコンにはさまざまなソフトウェアが用意されています。
ここでは、利用目的からソフトウェアを探す方法や「スタート」メニューに登録されていないソフトウェアの使い方について紹介します。

POINT

添付されているソフトウェアについて
このパソコンに添付されているすべてのソフトウェアの一覧は、（サービスアシスタント）のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「９.添付ソフトウェア一覧（読み別）」（または「10.添付ソフトウェア一覧（カテゴリ別）」）をご覧ください。

パソコンでやってみたいことを「@メニュー」で調べる

FMV でやりたいことが決まっているけど、どのソフトウェアを使えばよいのかわからない。そんな時は「@メニュー」を使って、目的からソフトウェアを選びましょう。

1 「@メニュー」を起動します。起動方法は機種により異なります。

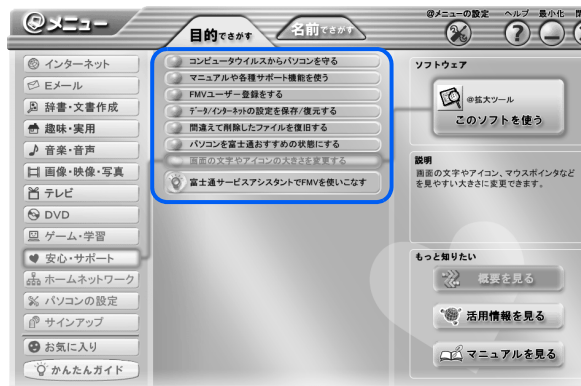
■ DESKPOWER の場合
キーボードの「メニュー」ボタンを押す。

■ BIBLO NB、MG シリーズの場合
ワンタッチボタンを「Application」モードにして「B」ボタンを押す。

■ BIBLO NX、NH、LOOX シリーズの場合
画面にある @メニュー をクリックする。

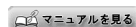
■ 全機種共通
「スタート」ボタン→「@メニュー」の順にクリックする。

2 上部の「目的でさがす」をクリックし、やってみたいことのジャンルを選びます。

3 やってみたいことを選びます。

4 「このソフトを使う」をクリックすると、ソフトウェアが起動します。

POINT

ソフトウェアについてもっと知りたいときは

次のボタンをクリックしてください。

- かんたんガイド

  「かんたんガイド」をクリックすると、いろいろなソフトウェアを使ってできることが紹介されています。難しいと思われがちな操作が、手順どおりに進んでいけば簡単にできる方法が紹介されています。

- 概要を見る

  「概要を見る」をクリックすると、ソフトウェアに関する説明を見ることができます。

・特長…ソフトウェアの特長が紹介されています。
・活用例…そのソフトウェアを使ってできることが紹介されています。
・画面例…起動したときの画面や、そのソフトウェアで作成した作品例などが紹介されています。
・起動…ソフトウェアの起動方法が説明されています。
・使い方…ソフトウェアの使い方がわからないときなどに使う、マニュアルや「ヘルプ」の表示方法を説明しています。[注]
・問い合わせ先…そのソフトウェアに関するお問い合わせ先が紹介されています。
会社名をクリックするとお問い合わせ先が表示されます。

- マニュアルを見る

「マニュアルを見る」をクリックすると、ソフトウェアのヘルプやマニュアルを見ることができます。[注]
マニュアルを見る になっているときは、ソフトウェアのヘルプやマニュアルを見ることができません。

注：「画面で見るマニュアル」からソフトウェアのマニュアルを表示すると、画面に真っ白なウィンドウが表示されることがあります。
この場合は、「初めて PDF 形式のマニュアルを表示するとき」（••▶ P.85）をご覧になり、マニュアルを表示してください。

ご購入時に「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」に登録されていないソフトウェアの起動方法

ご購入時に「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」に登録されているソフトウェア以外にも、このパソコンにはソフトウェアが添付されています。
ここでは、「スタート」ボタンに登録されていないソフトウェアを使う方法について紹介します。

添付のソフトウェアの種類

ソフトウェアには次のものがあります。
・あらかじめインストールされているもの
・「@メニュー」からインストールするもの
（BIBLO LOOX シリーズをお使いの方、カスタムメイドモデルでスタンダードセットを選択した方を除く）
・「アプリケーションディスク」からインストールするもの
・ディスクをセットして使うもの
「@メニュー」からインストールするもの、「アプリケーションディスク」からインストールするもの、およびディスクをセットして使うものは、ご購入時に「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」に登録されていません。次の方法でソフトウェアをお使いになってください。
どのソフトウェアをどの起動方法で使うかについては、（サービスアシスタント）のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「９.添付ソフトウェア一覧（読み別）」からソフトウェアの紹介をご覧ください。

「@メニュー」からインストールして使う

「@メニュー」に表示されているアイコンがになっているソフトウェアは、一度「@メニュー」から起動すれば、パソコンにインストールされ、「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」メニューからでも起動できるようになります。また、「@メニュー」上のアイコンも、それぞれのソフトウェアのものに変わります。

「@メニュー」からインストールするソフトウェアには次のものがあります（機種により異なります）。
・FM 手帳
・はーときゃんばす
・音声メモ
・@キャプチャ
・ひらがなナビィ for FMV
・i- フィルター PE

BIBLO LOOX シリーズをお使いの方、カスタムメイドモデルでスタンダードセットを選択した方は、「@メニュー」からインストールするソフトウェアはありません。「「アプリケーションディスク」からインストールする」（••▶ P.67）をご覧になり、「アプリケーションディスク」からインストールしてください。

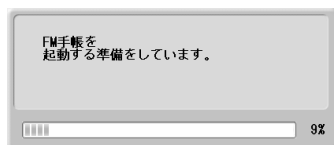
■（例）初めて「FM 手帳」を起動する場合

ご購入時の状態では、「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」メニューに「FM 手帳」はありません。

1 **「@メニュー」を起動します。**

2 **上部の「名前でさがす」をクリックし、「趣味・実用」をクリックします。**

3 **（FM 手帳）をクリックします。**

次のメッセージが表示され、「FM 手帳」が起動します。メッセージに従って、パソコンを再起動してください。

以上の操作で、「@メニュー」の「FM 手帳」のアイコンが に変わり、「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」に「FM 手帳」が登録されます。

このように、一度「@メニュー」で起動したソフトウェアは「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」メニューに追加され、「@メニュー」以外からでも起動できるようになります。

POINT

になっているソフトウェアを削除するには

「@メニュー」内のアイコンが になっているソフトウェアは、ご購入時の状態ではハードディスクの中に圧縮データが保存されています。これらのソフトウェアは「@メニュー」からの初回起動時に自動的にインストールされますが、ソフトウェアをインストールした後もハードディスク内の圧縮データは残ります。これらのソフトウェアを完全に削除したいときには、以下のフォルダ内にある各ソフトウェアのフォルダも削除してください。

C:¥Pifmae¥（削除したいソフトウェアのフォルダ）

削除したいソフトウェアとフォルダ名を調べるには、「アプリケーションディスク」の中にある indexcd.htm をご覧ください。フォルダ／ファイル名の一覧表があります。

「アプリケーションディスク」からインストールする

「アプリケーションディスク」からインストールするソフトウェアには次のものがあります(機種により異なります)。

- デリポップ
- 学研 パーソナル統合辞典

このパソコンに添付の「アプリケーションディスク」に入っているソフトウェアをパソコンにインストールする方法については、(サービスアシスタント)のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「9.添付ソフトウェア一覧(読み別)」→「FGHIJ」→「FMかんたんインストール」をご覧ください。

ディスクをセットして使う

ディスクをセットして使うソフトウェアには次のものがあります(機種により異なります)。

- 広辞苑第五版
- 現代用語の基礎知識 2004 年版
- 学研新世紀ビジュアル百科辞典
- Word2003&Excel2003 の虎の巻

ディスクをセットして使うソフトウェアも、「@メニュー」から使うことができます。

■(例)「広辞苑第五版」を使う

1 **「@メニュー」を起動します。**

2 **上部の「名前でさがす」をクリックし、「辞書・文書作成」をクリックします。**

3 **「広辞苑第五版」をクリックします。**

4 **「「広辞苑第五版・現代用語の基礎知識 2004 年版」の CD-ROM をセットしてください。」という画面が表示されたら、添付のディスクを CD/DVD ドライブにセットします。**

このあとは、メッセージに従って操作してください。

4

5 FMV を最新の状態にする

パソコンは常に最新の状態に整えて、快適に使いましょう。
ここでは、マニュアルやドライバなどを最新の状態にする「アップデートナビ」とWindows を最新の状態にする「Windows Update」の紹介をします。

「アップデートナビ」「Windows Update」は、インターネットを利用するサポート機能です。ご利用になるには、インターネットに接続できる環境が必要です。
インターネットに接続するための設定や方法については、ご利用のプロバイダから提供されたマニュアルをご覧ください。

重要

初めてインターネットに接続するときは必ずセキュリティ対策を行ってください

このパソコンの出荷後、お客様にご購入いただくまでの間にも、セキュリティの脆弱性（ぜいじゃくせい：一般的に、コンピュータやネットワークにおけるセキュリティ上の弱点のこと）が新たに見つかったり、悪質なウイルスが出現したりしている可能性があります。
初めてインターネットに接続するときは、マニュアルの手順に従って、パソコンを最新の状態にし、セキュリティ対策を行ってください。
最新の状態にする手順などセキュリティ対策については、『パソコンの準備』→「パソコンを準備する」→「インターネットを始めるための準備をする」→「初めてインターネットに接続するときのセキュリティ対策」をご覧ください。

アップデートナビ

このパソコンには、パソコンを弊社推奨の状態に整えるための「アップデートナビ」というサポート機能が用意されています。
「アップデートナビ」は、インターネットを経由して、弊社が推奨する最新情報を確認し、お使いのパソコンが安定して動作するお勧めの状態にすることができます。画面に表示されるメッセージに従って操作すると、簡単にアップデート（更新）できます。
メッセージが表示されたら、次の手順に従って更新し、パソコンを常に最新の状態にして、快適に使いましょう。

POINT

ブロードバンド環境でのご利用を推奨します

インターネットを利用して自動で定期的に更新情報を確認するので、ブロードバンドの環境でお使いになることを強く推奨します。
推奨環境以外でご利用になるとソフトウェアの規模によっては、最新の状態へ更新する作業に多くの時間を必要とする場合があります。

画面右下の通知領域に「アップデートナビ」のメッセージが表示されたら

自動的にインターネット上の情報をチェックし、更新情報があると、メッセージが表示されます。

1 **メッセージが表示されたら、 をクリックします。**

「ご利用になる上でのご注意」の画面が表示されたら

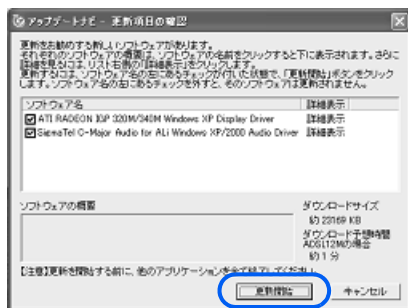
初めてアップデートナビを実行したときのみ表示されます。

1. 内容をよくご覧になり、「承諾する」をクリックします。
   「承諾しない」をクリックした場合、「アップデートナビ」はご利用いただけません。

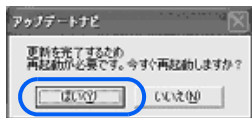
「更新項目の確認」ウィンドウが表示されます。

2 **更新項目を確認します。必要に応じて、概要、詳細をご覧ください。**

更新したくない項目がある場合は、その項目の左にある☑をクリックして、□にします。通常は、すべての項目を更新することをお勧めします。

3 **「更新開始」をクリックします。**

更新情報が自動的にダウンロードされ、インストールされます。

4 パソコンの再起動を要求するメッセージが表示された場合は、「はい」をクリックします。

表示されない場合は、これで更新は完了です。

パソコンが再起動し、更新が完了します。

手動で「アップデートナビ」を実行する

「アップデートナビ」で情報を更新したいときは、手動でも「アップデートナビ」を実行できます。

1 画面右下の通知領域にある を右クリックし、「富士通へ最新情報を確認」をクリックします。

このあとの手順については、「画面右下の通知領域に「アップデートナビ」のメッセージが表示されたら」（••▶ P.69）の手順 1 の POINT 以降をご覧ください。

Windows Update

「Windows Update」は、Windows を常に最新の状態に整えるためのマイクロソフト社が提供するサポート機能です。

「Windows Update」を実行すると、Windows やソフトウェアなどを最新の状態に更新・修正できます。最新の状態にすることにより、ウイルスが侵入したり、不正アクセスされたりするセキュリティホールをなくすための対策もされます。セキュリティ対策の一つとしても、「Windows Update」を実行して、安心してパソコンを使えるようにしましょう。

「Windows Update」の実行方法については、「Windows Update」（••▶ P.50）をご覧ください。

第 5 章

パソコンの画面で見るマニュアルを活用する

マニュアルには本で読むマニュアル以外にも、パソコンの画面で見るマニュアルが各種あります。
ここではパソコンの画面で見るマニュアルの見かたを紹介します。

1 パソコンの画面で見るマニュアルとは

パソコンの画面で見るマニュアルには次のものがあります。

■サービスアシスタント

このパソコンのハードディスクに搭載されている FMV のマニュアルです。
「「サービスアシスタント」の使い方」（ ▶ P.73）

■PDF 形式のマニュアル

ファイルの形式が PDF のマニュアルです。
Adobe Reader などのソフトウェアを使って見ることができます。
ソフトウェアの取扱説明書として添付されていることがあります。
「PDF 形式のマニュアルの見かた」（ ▶ P.86）

■ヘルプ

ソフトウェアの使い方などが書かれています。
ほとんどのソフトウェアは、そのソフトウェアの画面から「ヘルプ」呼び出すことができます。
「ヘルプを使って調べる」（ ▶ P.88）

2 「サービスアシスタント」の使い方

パソコンを使っていて、わからないことがあったら、「サービスアシスタント」を使って調べることができます。
ここでは、「サービスアシスタント」の使い方を紹介します。

「サービスアシスタント」とは？

「サービスアシスタント」とは、マニュアルや各種サポートツールがひとつになった統合サポートツールです。わからないことを調べたいとき、パソコンの調子が悪いときは、「サービスアシスタント」をお使いください。
「サービスアシスタント」には、次の機能があります。

■画面で見るマニュアル

「パソコンの基本」、「インターネット／Eメール」、「セキュリティ対策」、「パソコン本体の取り扱い」、「周辺機器の接続」、「ソフトウェア一覧」、「トラブルシューティング」など、FMVに関するさまざまな情報が紹介されています。

■検索機能

「画面で見るマニュアル」内の情報を、知りたいキーワードや文章で検索することができます。

■パソコンの診断

故障かな？と思った箇所を選んで、パソコンを診断することができます。

■サポート担当者への相談

サポート担当者に相談をする際の方法を選択することができます。

5

「サービスアシスタント」の起動方法

「サービスアシスタント」はインターネットの設定がお済みでない場合でもご利用いただけます。

1 **「サービスアシスタント」を起動します。起動方法は機種により異なります。**

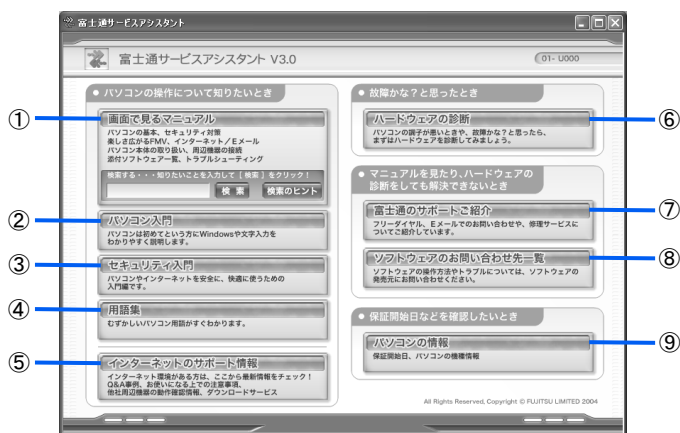
■ DESKPOWER の場合
キーボードの「サポート」ボタンを押す。
■ BIBLO NB、MG シリーズの場合
ワンタッチボタンを「Application」モードにして「A」ボタンを押す。
■ BIBLO NX、NH、LOOX シリーズの場合
画面にある

をクリックする。
■ 全機種共通
「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「富士通サービスアシスタント（マニュアル&サポート）」→「富士通サービスアシスタント（マニュアル&サポート）」の順にクリックする。

「サービスアシスタント」が表示されます。

POINT

「サービスアシスタント」がうまく動かないときは
「サービスアシスタントがうまく動かない」（ ••▶ P.151）をご覧ください。

「サービスアシスタント」の画面

①画面で見るマニュアル
FMV の基本操作からトラブルシューティングまで、FMV に関する様々な情報を紹介しています。
使い方については、「「画面で見るマニュアル」の使い方」（ ••▶ P.75）をご覧ください。
②パソコン入門
パソコンの基本操作や文字の入力のしかたなどを説明しています。

③セキュリティ入門
パソコンやインターネットを安全で快適に使うために知っていただきたい、ウイルスやセキュリティの基礎について説明しています。
④用語集
パソコンの用語を説明しています。
⑤インターネットのサポート情報
インターネットに接続して、最新の Q&A 事例や各種サポート情報をご覧いただけます。
⑥ハードウェアの診断
故障かな？と思ったときに、故障を診断するプログラムを使った診断を行うことができます。
⑦富士通のサポートご紹介
FMV に関するサポート＆サービスをご紹介しています。
⑧ソフトウェアのお問い合わせ先一覧
ソフトウェアの操作方法などに関するお問い合わせ先の電話番号、ホームページアドレスなどを確認できます。
⑨パソコンの情報
保証開始日やパソコン本体の型名を確認できます。サポートご利用時などにご活用ください。

5

「画面で見るマニュアル」の使い方

1 **サービスアシスタントのトップ画面で「画面で見るマニュアル」をクリックします。**

「画面で見るマニュアル」が表示されます。

ナビゲーション領域と基本操作

それぞれのボタンを押したときにできることは、次のとおりです。

①トップ

サービスアシスタントのトップ画面（起動直後の画面）に戻ります。

②戻る

ひとつ前に表示したページに戻ります。

③進む

「戻る」で前のページに戻ったとき、ひとつ後のページに進みます。

④印刷

表示されているページを印刷します。

⑤しおり

表示されているページを後でもう１度見たいときは、「しおり」に登録しておくと便利です。

⑥文字サイズ

表示する文字のサイズを変更します。最大、大、中、小、最小の中から、文字サイズを選びます。

⑦パソコン入門

「パソコン入門」を表示します。

⑧セキュリティ入門

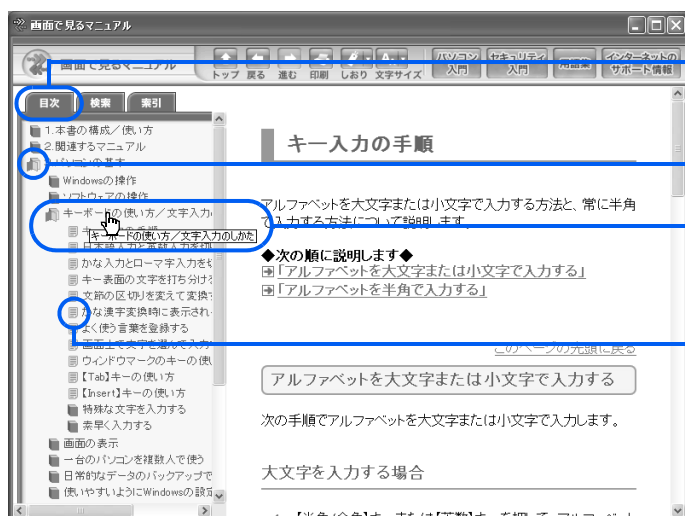
「セキュリティ入門」を表示します。

⑨用語集

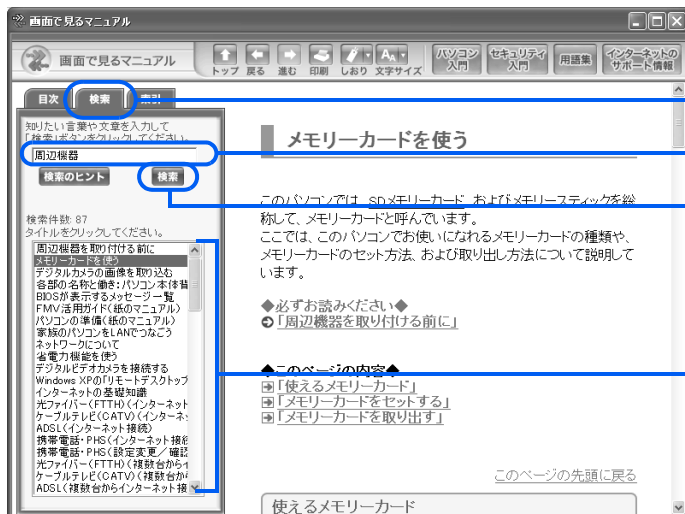
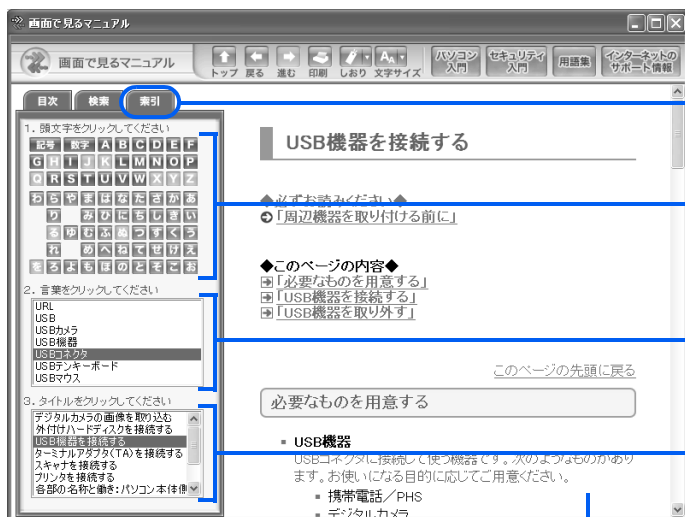
「用語集」を表示します。

⑩インターネットのサポート情報

知りたい情報が「画面で見るマニュアル」で見つからなかったときに、インターネットで最新の Q&A 事例を検索したり、各種サポート情報を見ることができます。

目次の使い方

検索の使い方

索引の使い方

5

「画面で見るマニュアル」で調べる

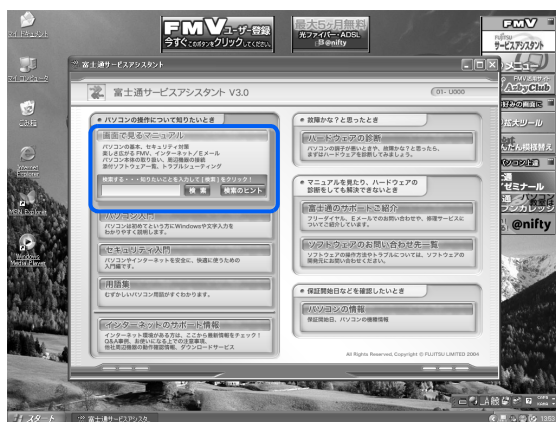
ここでは例として、マニュアルを表示しながらパソコンを操作する方法や、ソフトウェアのヘルプを起動して使い方を調べる方法を説明します。

例：「画面で見るマニュアル」で手順を見ながらアルバム風のホームページを作る

「画面で見るマニュアル」を表示し、読みながら、実際に操作を進めることができます。ウィンドウは、複数表示したまま操作できます。

1 **「サービスアシスタント」を起動します。**

「「サービスアシスタント」の起動方法」（••▶ P.74）

2 **「画面で見るマニュアル」をクリックします。**

3 **「6.インターネット／Eメール」→「自分のホームページを作る」→「アルバム風のホームページを作る」の順にクリックします。**

手順を説明したマニュアルのページが表示されます。

4 「@FTP」の設定の手順に従って@メニューを表示します。

5 マニュアルのページが表示できるように大きさや位置を変更します。

例を紹介しますので、お好みの方法で操作してください。

■画面の位置を変更する

ここでは、画面の位置を変更してマニュアルを表示します。

「@メニュー」の上部をポイントしてドラッグします。

「@メニュー」の下部は隠れていても操作できますので、マニュアルのページと重ならないように、できるだけ右下までドラッグします。

「画面で見るマニュアル」の上部をポイントして、左上にドラッグします。

■画面の大きさを変更する

ここではマニュアルのページを縦に大きく表示して、手順がすべて見られるようにします。

画面の下の線をポイントし、マウスポインタが から の形に変わったら、下方向にドラッグします。

上下左右斜めいずれかの線をポイントしてドラッグすると、画面をお好みの大きさに変更できます。線をポイントしてもマウスポインタの形が変わらないときは、その画面の大きさは変更できません。

■見たい画面を前面に表示する
ここでは画面の大きさや位置は変更しないで、見たい画面を前面に表示して操作します。
タスクバーのボタンをクリックすると、後ろの画面を前面に表示できます。

マニュアルのページを見たいときにクリックすると、
マニュアルのページが前面に表示されます。

6 **マニュアルを見ながら、操作を続けます。**

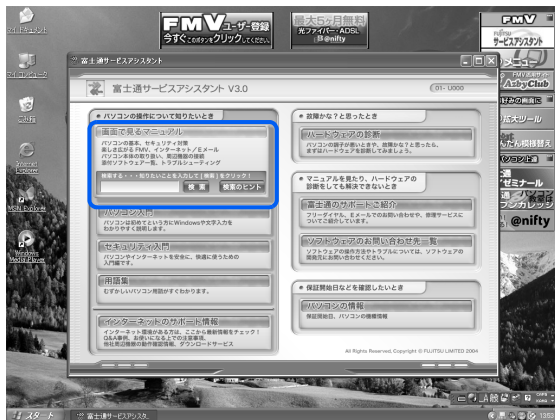
例：「FM かんたんバックアップ」のヘルプを起動して使い方を調べる

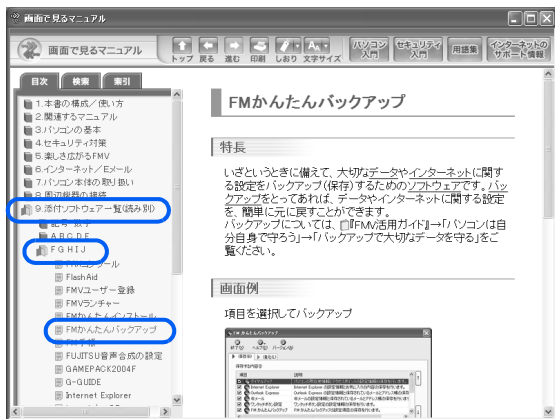
パソコンにはさまざまなソフトウェアが入っています。ほとんどのソフトウェアには「ヘルプ」と呼ばれる取扱説明書があり、そのソフトウェアに関する情報や、詳しい使い方などが紹介されています。「画面で見るマニュアル」では、ソフトウェアのヘルプの起動方法を調べることができます。

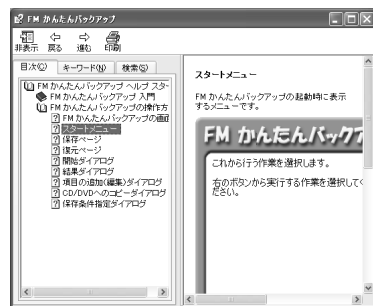
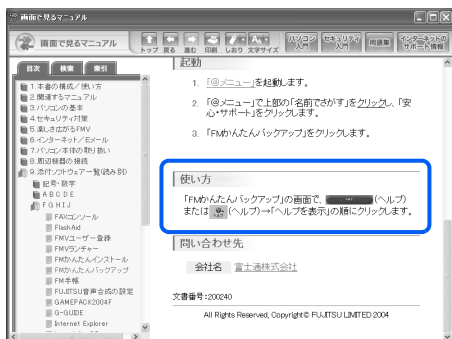
1 **「サービスアシスタント」を起動します。**

「「サービスアシスタント」の起動方法」（••▶ P.74）

2 「画面で見るマニュアル」をクリックします。

「画面で見るマニュアル」が表示されます。

3 「添付ソフトウェア一覧（読み別）」→「FGHIJ」→「FM かんたんバックアップ」の順にクリックします。

画面右側にソフトウェアに関する詳しい説明が表示されます。

4 「使い方」に記載されている方法で、「FMかんたんバックアップ」のヘルプを起動します。

「FM かんたんバックアップ」のヘルプには、データの保存や保存したデータを復元する操作手順などが詳しく説明されています

手順 3 の画面を下にスクロールすると、「使い方」があります。

3 AzbyClub ホームページで調べる

AzbyClub ホームページは、FMV をより楽しく、より便利に活用するための FMV 活用サイトです。
お客様がお持ちのパソコンに関するサポート情報、お客様からのお問い合わせ情報を掲載した Q&A 事例検索のほか、FMV を楽しむための一歩進んだ使い方、お得なキャンペーン情報やイベント情報など、便利で役に立つ情報が満載です。
会員専用ページをご利用になるには、ユーザー登録時に発行されるユーザー登録番号とパスワードが必要です。
ユーザー登録については、『サポート＆サービスのご案内』をご覧ください。

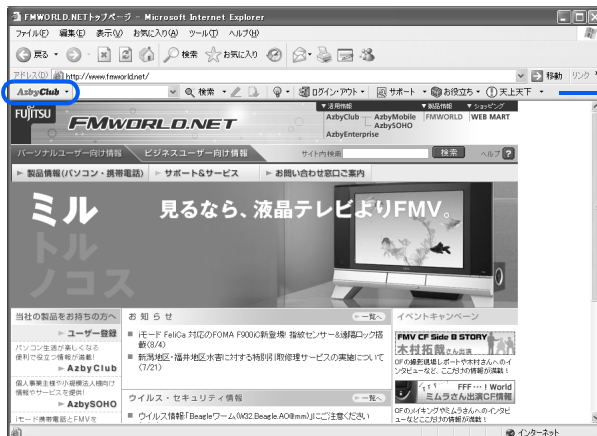
AzbyClub ホームページを表示する

パソコンをインターネットに接続する環境が整っていない場合は、ご利用のプロバイダから提供されたマニュアルをご覧になり、インターネットの設定を済ませてからご利用ください。

重要

初めてインターネットに接続するときは必ずセキュリティ対策を行ってください

このパソコンの出荷後、お客様にご購入いただくまでの間にも、セキュリティの脆弱性（ぜいじゃくせい：一般的に、コンピュータやネットワークにおけるセキュリティ上の弱点のこと）が新たに見つかったり、悪質なウイルスが出現したりしている可能性があります。
初めてインターネットに接続するときは、マニュアルの手順に従って、パソコンを最新の状態にし、セキュリティ対策を行ってください。
最新の状態にする手順などセキュリティ対策については、『パソコンの準備』→「パソコンを準備する」→「インターネットを始めるための準備をする」→「初めてインターネットに接続するときのセキュリティ対策」をご覧ください。

1 「Internet Explorer」を起動しているときに、「AzbyClub ボタン」をクリックします。

AzbyClub ツールバー
AzbyClub ツールバーについては、『サポート＆サービスのご案内』→「FMV ユーザーズクラブ AzbyClub で提供するサービス」→「AzbyClub 会員のためのサポート＆サービス」→「AzbyClub ツールバー」をご覧ください。

AzbyClub ホームページが表示されます。

POINT

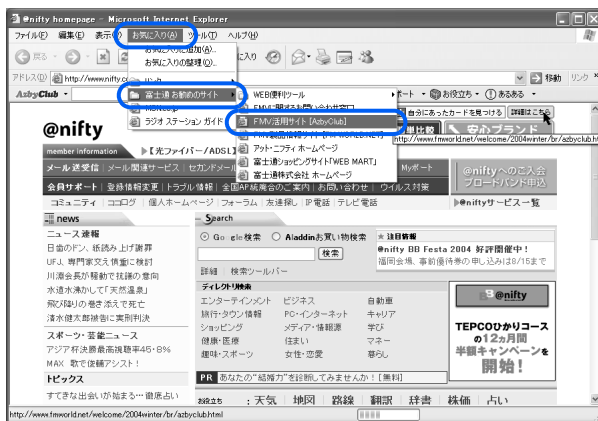
次の方法でも AzbyClub ホームページを表示できます

「サービスアシスタント」から表示する

1. 「サービスアシスタント」を起動します。
   「「サービスアシスタント」の起動方法」（ ••▶ P.74）
2. 「インターネットのサポート情報」→「AzbyClub トップページ」の順にクリックします。
   インターネットに接続し、AzbyClub ホームページが表示されます。

お気に入りから表示する

「Internet Explorer」を起動しているときに、次の操作をします。

1. 「お気に入り」をクリックします。
2. 「富士通お勧めのサイト」をクリックします。
3. 「FMV 活用サイト［AzbyClub］」をクリックします。

アドレスを直接入力して表示する

「Internet Explorer」を起動しているときは、ブラウザのアドレス欄に次のアドレスを入力して表示できます。

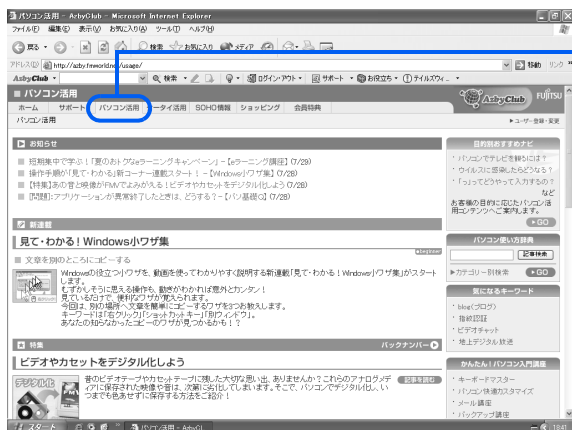
http://azby.fmworld.net/

5

AzbyClub ホームページを活用する

AzbyClub ホームページでは、さまざまなコンテンツをご用意しています。
ここでは、パソコンを使いこなすためにご利用いただける代表的なコンテンツを紹介します。

「パソコン活用」

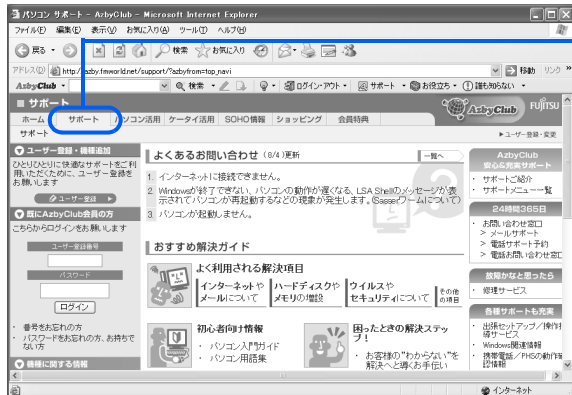
「パソコン活用」では、パソコンの最新情報、パソコンの基礎的な操作方法や一歩進んだ使い方など、パソコンを楽しく活用できるコツが紹介されています。また、お客様どうしで情報交換できる掲示板やタイピング練習コーナーも常設しています。

「パソコン活用」をクリックすると、「パソコン活用」のトップページが表示されます。

「パソコン活用」の主な内容

- 特集（さまざまな活用法紹介）
- FMV ソフトウェア紹介
- FMV でやってみよう！
- パソコン入門講座
- e ラーニング講座紹介
- タイピング練習
- 掲示板

など

「サポート」

FMV をより安心してご利用いただくための、サポート情報をご案内しています。
Q&A 事例検索やドライバダウンロードなど、お客様の「困った」を解決する情報や、各種お問い合わせの窓口などの情報をご提供します。

「サポート」をクリックすると、「サポート」のページが表示されます。

「サポート」の主な内容

- Q&A 事例検索（Q&Anavi）
- ドライバダウンロード
- メールサポート
- ウイルス／セキュリティ情報
- 電話サポート予約
- 修理サービス
- よくあるお問い合わせ

など

その他にも、FMV を使う上で役立つ情報や、FMV の利用が楽しく便利になる商品を購入できるショッピングサービスなど、数多くご紹介しています。会員限定のプレゼントキャンペーンも実施しておりますので、ぜひご活用ください。

4 PDF 形式のマニュアルの見かた

ソフトウェアのマニュアルなどには、「PDF」というファイル形式で作成されているものがあります。
「PDF ファイル」を見るには「Adobe Reader」というソフトウェアを使います。
FMV には「Adobe Reader」が用意されているので、PDF ファイルのマニュアルを見ることができます。

初めて PDF 形式のマニュアルを表示するとき

「Internet Explorer」や「画面で見るマニュアル」から PDF 形式のマニュアルを表示すると、画面に白いウィンドウが表示されて、マニュアルが表示されないことがあります。
このとき、白いウィンドウの後ろに「Adobe Reader」の「エンドユーザ使用許諾契約書」ウィンドウが隠れています。
次の手順でマニュアルを表示してください。

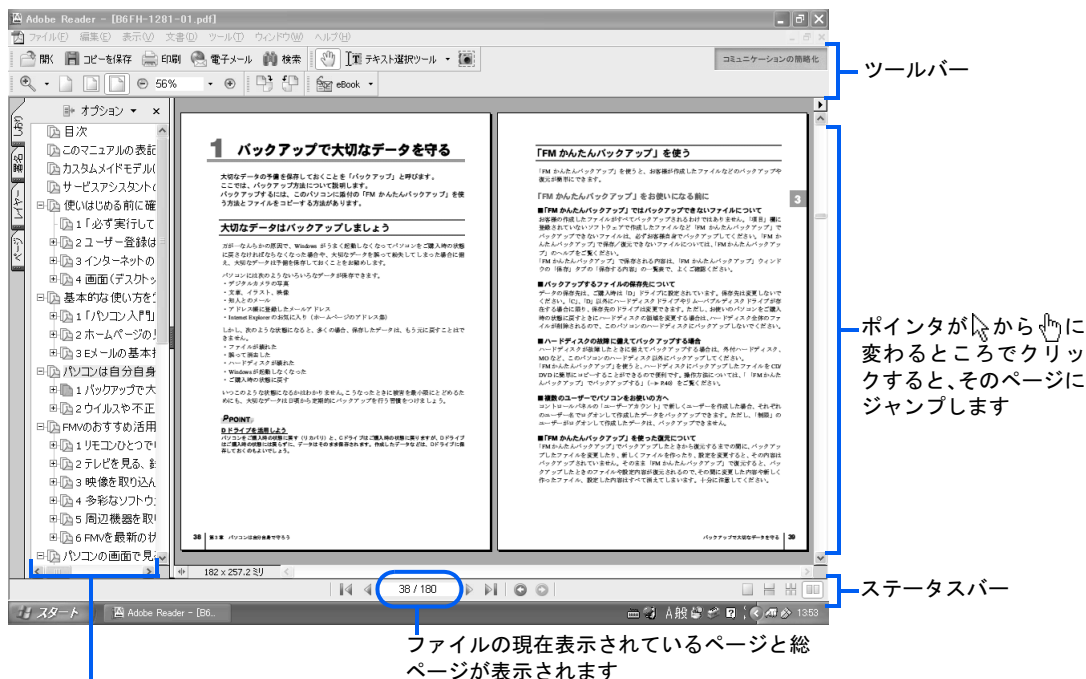
1 白いウィンドウ右上の をクリックし、ウィンドウを最小化します。

2 「エンドユーザ使用許諾契約書」の内容を確認し、「同意する」をクリックします。

3 タスクバーにある最小化したウィンドウをクリックし、元の大きさに戻します。

マニュアルが表示されます。

5

PDF 形式のマニュアルの見かた

ツールバーおよびステータスバーのボタンについて

- 印刷 ・・・ 印刷する
- ・・・ ページのズームイン（拡大表示）をする
- ・・・ ページのズームアウト（縮小表示）をする
- ・・・ 最初のページに戻る
- ・・・ 前のページに戻る
- ・・・ 次のページに進む
- ・・・ 最後のページに進む
- ・・・ 直前に表示したページに戻る
- ・・・ ボタンで前のページに戻っているときに、再び次のページに進む

・・・ ページを実際の大きさで表示する

・・・ ページ全体を画面に表示する

・・・ ページの幅を画面にあわせて表示する

PDF ファイルについて詳しくは、「Adobe Reader」のヘルプをご覧ください。

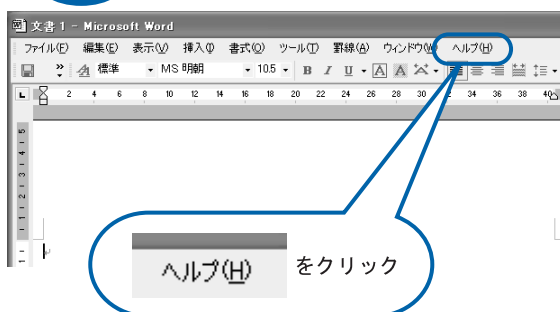
5

5 ヘルプを使って調べる

ソフトウェアの使い方を知りたいとき

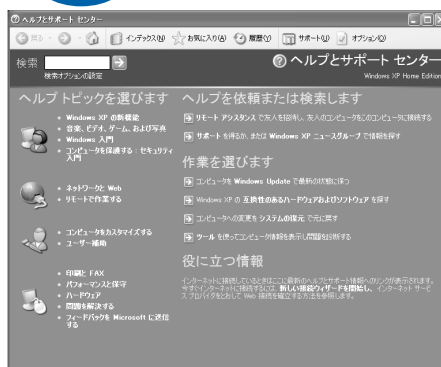
ほとんどのソフトウェアは、そのソフトウェアの情報を集めた「ヘルプ」を持っています。「ヘルプ」では、詳しい使い方や専門用語などの、そのソフトウェアに関する一番詳しい情報を見ることができます。ほとんどのソフトウェアは、メニューバーの「ヘルプ」をクリックすることでそのソフトウェアの「ヘルプ」を表示させることができます。

使いたいソフトウェアを起動します。
「パソコンでやってみたいことを「@メニュー」で調べる」（ ••▶ P.62）

Step 2

ソフトウェアによって、「ヘルプ」が無い場合や表示方法が異なる場合があります。

Windows に関することを調べたいとき

Windows の「ヘルプとサポートセンター」では、Windows の詳しい使い方や、Windows を使っていて困ったときの解決方法、調べたい用語などの情報を見ることができます。

「スタート」ボタン→「ヘルプとサポート」の順にクリックします。

「ヘルプとサポートセンター」が起動します。

第 6 章

パソコンをご購入時の状態に戻す（リカバリ）

ここでは、パソコンをご購入時の状態に戻す方法について説明しています。
いきなり「リカバリディスク」を実行せず「リカバリとは」「リカバリの準備」を読んでから作業を始めてください。

1 リカバリとは

パソコンをご購入時の状態に戻すには、いったんハードディスクの内容をすべて削除し、「リカバリディスク」、「アプリケーションディスク」などからご購入時のデータをインストールします。
パソコンをご購入時の状態に戻すことを「リカバリをする」とも言います。
リカバリをすると、設定などがすべてリセットされるので、原因が特定できない不具合が解消されることがあります。
リカバリをするときは、ここに書かれていることをお読みになり、あらかじめリカバリについて理解しておきましょう。

リカバリをする前にもう一度確認

リカバリをすると、それまでパソコン内にあったデータや設定が削除されます。
次のような方はリカバリをしないで問題が解決できる場合がありますので、もう一度確かめてください。

■パソコンに起こったトラブルを解決したい方

どうしてもリカバリが必要か、もう一度確認してください。
「パソコンにトラブルが起こったときは」（••▶ P.130）

■削除したソフトウェアをインストールし直したい方

ソフトウェアの再インストールのためにリカバリをする必要はありません。
添付のソフトウェアのインストール方法については、（サービスアシスタント）のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「９．添付ソフトウェア一覧（読み別）」をご覧になり、「FM かんたんインストール」を選択してください。
その他のソフトウェアのインストール方法は、それぞれのソフトウェアに添付のマニュアルをご覧ください。

■ドライバを更新したい方

必要なドライバがわかっている場合、特定のドライバを更新するためにリカバリをする必要はありません。
ドライバの更新については「Q ドライバを更新する」（••▶ P.157）をご覧ください。

■廃棄・譲渡の前に、個人情報を消したい方

ハードディスクの情報を消すことが目的の方は、リカバリではなく「ハードディスクデータ消去」を行ってください。
「ご不要になったときの廃棄・リサイクルについて」（••▶ P.168）をご覧ください。

■インスタント MyMedia のトラブルを解決したい方［BIBLO］

BIBLO でインスタント MyMedia 対応の機種をお使いの方は、インスタント MyMedia のみをリカバリすることができます。
詳しくは、『インスタント MyMedia 取扱説明書』をご覧ください。

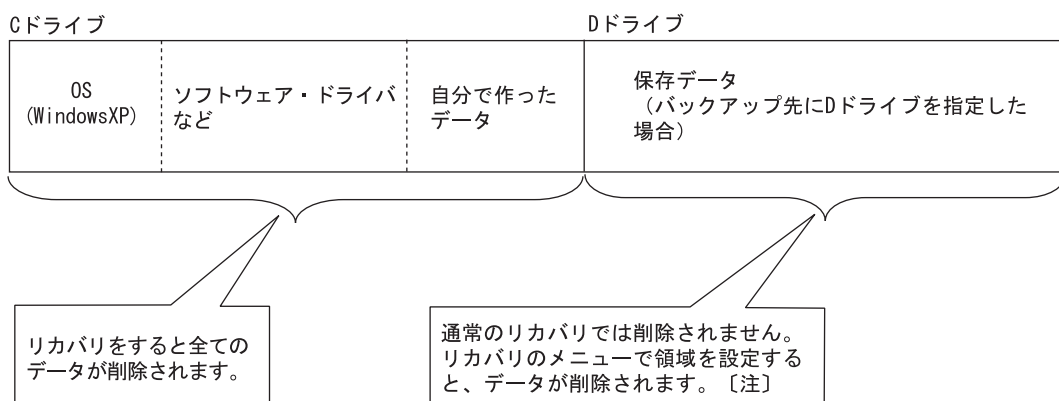
■DESKPOWER H90J9/F をお使いの方

ホームサーバー機能のみをご購入時の状態に戻したい場合は、ホームサーバー機能を初期化してください。
詳しくは、『ホームサーバー機能　取扱説明書』をご覧ください。

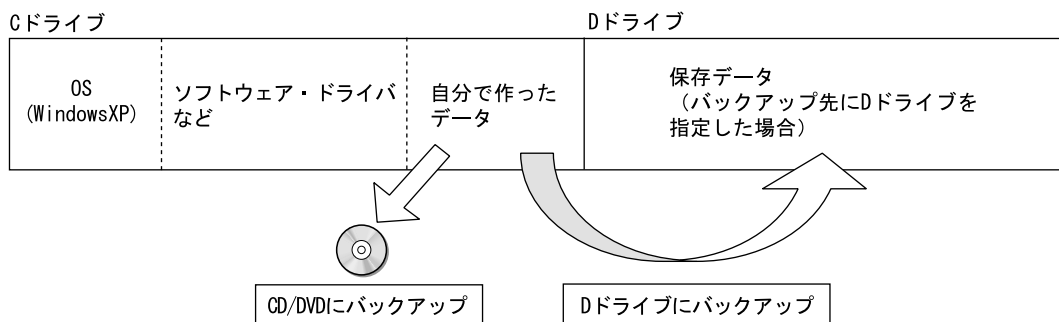
リカバリの考え方

リカバリをして、パソコンをご購入時の状態に戻すまでにどんな作業が必要か、簡単に説明します。
次のイメージ図をご覧になり、流れを理解しましょう。

ハードディスクの領域

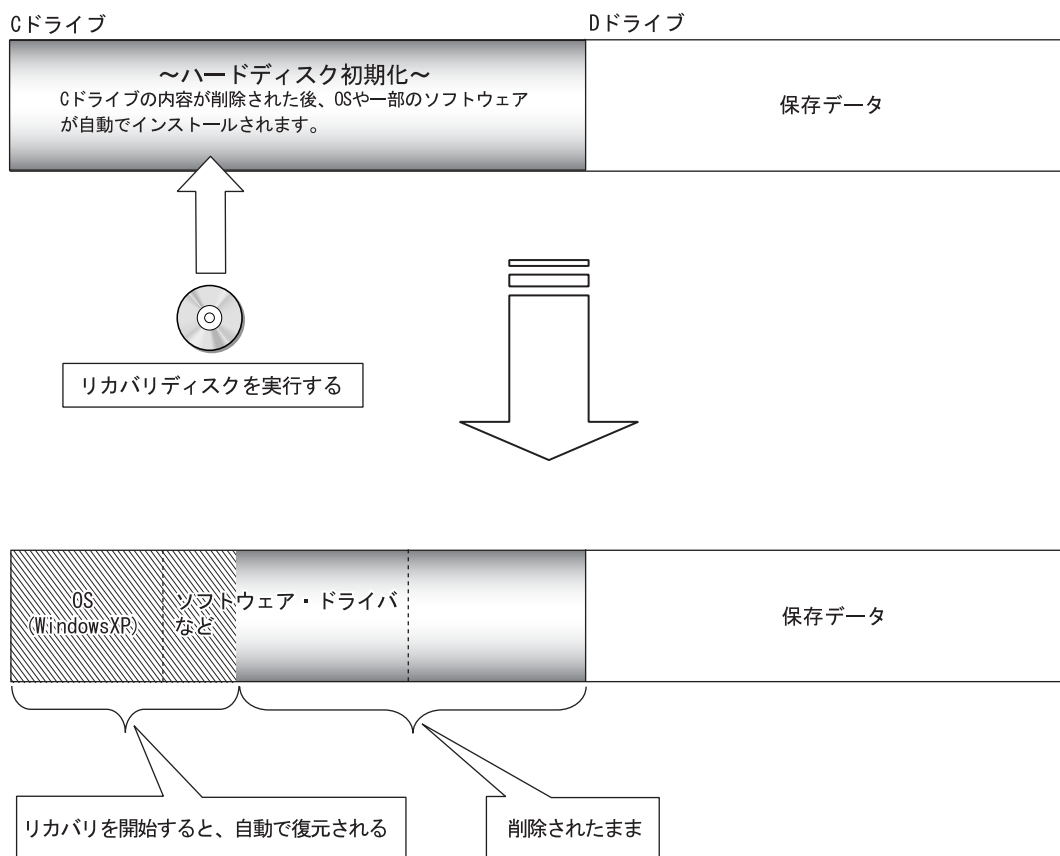
このパソコンのハードディスクには、C ドライブと D ドライブの 2 つの領域が作られています。

注：「ハードディスクを初期状態に戻す」の手順 9（P.101）での選択によります。

リカバリ前にすること（P.94）

C ドライブのデータを CD/DVD や D ドライブにバックアップします。

リカバリ実行（ハードディスクの初期化～ご購入時の状態に戻るまで）

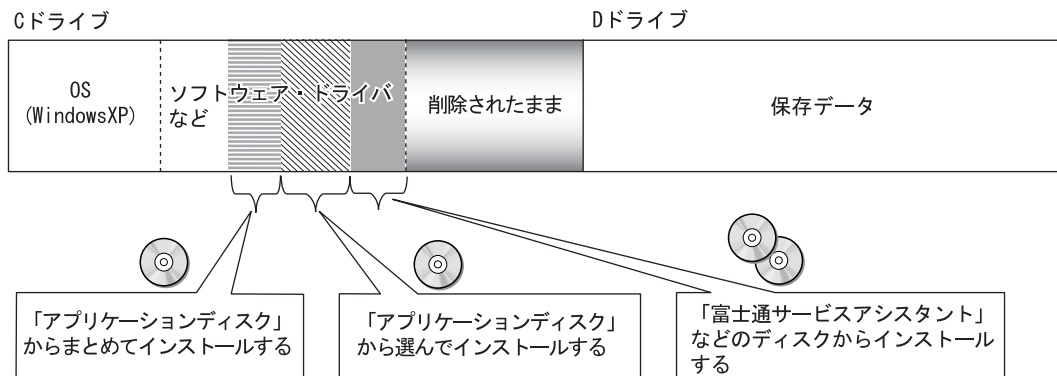
■「リカバリディスク」の実行（P.98、P.122）

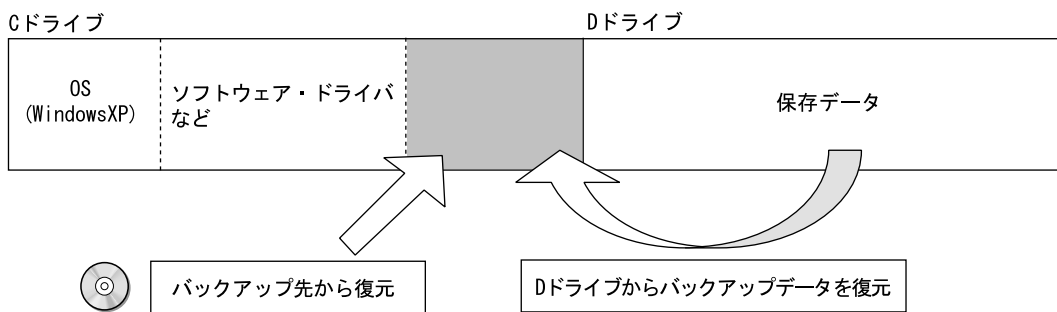
ハードディスクを初期状態にし（データは消去されます）、Windows をインストールし直します。

ドライバやいくつかのソフトウェアは、このとき一緒に再インストールされます。

すべてのソフトウェアを再インストールする必要のない場合は、リカバリディスクからのインストールだけでリカバリを終了しても構いません。

ただしその場合は、「必ず実行してください」を実行するなど、パソコンに必要な設定をするための操作が必要です。

■残りのソフトウェアのインストール（→ P.105 ～ P.119）

「リカバリディスク」から復元できなかったソフトウェアを添付のディスクからインストールします。

以前使っていた状態に戻す（ご購入時の状態に戻った後）（→ P.125）

バックアップ先から、データを元の場所に戻します。

2 リカバリの準備

添付のディスクから、ご購入時のデータをインストールします。
ここに書かれていることを必ず確認し、準備してください。

重要

トラブル解決が目的でリカバリをする方

リカバリをしても、問題が解決されない場合があります。その場合は、『サポート＆サービスのご案内』をご覧になり、状況に応じたサポートやサービスをご利用ください。

リカバリの手順について

この章では、ご購入時の設定に戻す手順を説明しています。したがって、お客様ご自身で設定を変更される場合、ご自身の責任において行ってください。

DESKPOWER H90J9/F をお使いの方

パソコンをリカバリすると、ホームネットワークウェアの共有フォルダのデータが消えてしまいます。必要な場合は、バックアップをしてください。
なお、パソコンをリカバリしても、ホームサーバー機能はご購入時の状態に戻りません。ホームサーバー機能もご購入時の状態に戻したい場合は、パソコンとは別に、ホームサーバー機能を初期化してください。
詳しくは、『ホームサーバー機能　取扱説明書』をご覧ください。

バックアップをする

バックアップとは、万が一のアクシデントで大切なファイルなどを失わないために、データの予備を保存しておくことです。ハードディスクを初期状態に戻す前に、一時的にファイルを別の場所に保存することもバックアップといいます。

■ファイルのバックアップがすんでいない方は

パソコンをご購入時の状態に戻すと、ご購入後にお客様が作成されたファイル、追加したソフトウェアなどがすべて消えてしまいます。次のようなデータも消えてしまいますのでご注意ください。

- 「Internet Explorer」の「お気に入り」に追加してきたホームページのアドレス
- やりとりしたメール
- アドレス帳に保存してきたメールアドレス
- 保存先を C ドライブに指定してダウンロードしたドライバやソフトウェアなど

重要と思われるデータは、お客様の責任においてDドライブ、CD/DVD、フロッピーディスクなどにコピーし、保存してください。
バックアップせずにリカバリをして、お客様個人のデータが消失した場合、元に戻すことはできませんのでご了承ください。

POINT

普段からのバックアップのすすめ

お使いのパソコンに何らかの不具合が起きてからファイルのバックアップをしても、正しいファイルが保存されないこともあります。
パソコンが起動しない、ファイルが壊れて開けない、といった突然のトラブルに備えて、日頃から定期的にバックアップをする習慣をつけましょう。

■バックアップ方法について

バックアップ方法は、このパソコンに添付の「FM かんたんバックアップ」を使う方法と、ファイルをコピーする方法などがあります。
バックアップ方法については、「バックアップで大切なデータを守る」(→P.38)をご覧ください。

重要

不具合が起きてからバックアップをするときは

パソコンに不具合が起きてからリカバリをする場合、「FM かんたんバックアップ」でバックアップをしないでください。復元するときに、パソコンに不具合が起きたときの設定も復元してしまいます。

■データの保存場所について

ご購入後お客様が作成したファイルなどをご自身でコピーしてバックアップした場合は、パソコンをご購入時の状態に戻した後に、そのファイルを同じ場所に戻すようにします。バックアップの際は、ファイルのあった場所をメモなどして忘れないようにしてください。

リカバリをする前に気をつけておくこと

「リカバリディスク」を実行してご購入時の状態に戻す前に、次の項目を確認してください。

■リカバリの動作環境は満たしていますか?

リカバリをしてご購入時の状態に戻すには、ハードディスクドライブ(C ドライブ)が次の条件を満たしている必要があります。

- ・ファイルシステムが NTFS に設定されている
- ・容量が 15GB 以上である

なお、ご購入時からシステムの変更や容量の変更をしていない方は、この設定になっています。

POINT

ファイルシステムを変更した人は

ファイルシステムを FAT32 に変更してしまっている人は、リカバリを実行する手順の途中で NTFS に戻すことができます。リカバリ方法を選択する画面で次の項目を選択してください。
・「領域を設定したあと、ご購入時の状態に戻す」

■AC アダプタを使用していますか? [BIBLO]

BIBLO をお使いの方は、必ず AC アダプタを使用し、コンセントから電源を確保してください。
取り付け方については、『パソコンの準備』→「パソコンを準備する」→「初めて電源を入れる」をご覧ください。

■添付の周辺機器以外は接続しないでください

パソコンをご購入時の状態に戻すときは、ご購入時に添付されている周辺機器(ディスプレイ、キーボード、マウスなど)以外は接続しないでください。セットした PC カードや増設したメモリなども取り外してください。

ただし、BIBLO をお使いの方で USB マウス（光学式）が添付の場合は、添付の USB マウス（光学式）も接続しないでください。マニュアルに記載されている手順と異なってしまう場合があります。

POINT

周辺機器とは

プリンタ、デジタルカメラ、スキャナ、メモリなどの装置のことです。パソコンの各コネクタに接続されていたり、パソコン本体の内部に取り付けられていたりします。

■ファイルコピー中は他の操作をしないでください

ソフトウェアのインストールなどでファイルをコピーしている間は、他の操作をしないでください。次の画面が表示されるのに時間がかかる場合があります。むやみにクリックせず、しばらくお待ちください。他の操作をすると、インストールが正常に終了しない場合があります。

■時間に余裕をもって作業しましょう

リカバリディスク実行からソフトウェアのインストール終了まで、早く終了する機種でも 3 時間はかかります。
半日以上は時間をとり、じっくりと作業することをお勧めします。

作業中に起こる可能性のあるトラブル

リカバリディスクを実行するときやソフトウェアをインストールするときに、次のようなトラブルが起こる可能性があります。

■ 画面が真っ暗になった

省電力機能が働いた可能性があります。

［DESKPOWER の場合］
マウスを動かして数秒待つか、マウスのボタンを 1 回押してください。または、キーボードのスタンバイボタンを押してください。
［BIBLO の場合］
フラットポイントに触れるか、【Shift】などを押してください。
それでも復帰しない場合は、電源ボタンを押してください。

■CD/DVD のファイルが実行されない

CD/DVD をセットするドライブ名が間違っている可能性があります。
ドライブ名を間違って入力していると、ファイルが実行されませんので入力し直してください。
CD/DVD をセットするドライブ名は、ハードディスクの領域を設定し直した場合など、お使いの状況により異なります。ご購入時の状態では、CD/DVD をセットするドライブ名は「E」です。

■ 電源が切れない

電源（パソコン電源）ボタンを 4 秒以上押し続けて電源を切ってください。

必要な作業と用意するディスクを確認する

ご購入時の状態に戻す作業には、添付のディスクを使います。用意するディスクと、どの作業で使用するのかを確認してください。
お使いのパソコンによっては、使うディスクが変わりますので、機種名（品名）・モデル名などご確認ください。
機種名（品名）の確認方法については、『パソコンの準備』→「使い始める前に」→「確認してください」→「機種名を確認してください」をご覧ください。

POINT

インスタントMyMedia対応の機種に添付のディスクについて［BIBLO］

インスタントMyMedia対応のBIBLOには、「インスタントMyMediaリカバリディスク」が添付されています。
このディスクは、インスタントMyMediaのみをリカバリするとき、またはリカバリメニューで「領域を設定したあと、ご購入時の状態に戻す」を選択して操作するときに使用するものです。通常のリカバリでは必要ありません。

用意するディスクについて

カスタムメイドモデルでスタンダードセットを選択した方は、ここから「「リカバリディスク」を実行する」（••▶ P.122）をご覧ください。それ以外の方は、次の表で必要な作業と用意するディスクを確認してください。
お使いのモデルについてカスタムメイドモデルかどうかわからない場合は「カスタムメイドモデルについて」（••▶ P.7）をご覧ください。

用意するディスク	このディスクを使う作業
リカバリディスク	「リカバリディスク」でハードディスクの中身を復元する（••▶ P.98）
アプリケーションディスク 1 アプリケーションディスク 2 アプリケーションディスク 3 [注 1]	ソフトウェアをまとめてインストールする（••▶ P.105）
	ソフトウェア名を選んでインストールする（••▶ P.109）
富士通サービスアシスタント	サービスアシスタントをインストールする（••▶ P.113）
Office Personal 2003 のパッケージ [注 2] アプリケーションディスク 1	Office Personal 2003 をインストールする（••▶ P.114）
プロアトラス W3 for FUJITSU	プロアトラス W3 for FUJITSU をインストールする（••▶ P.119）

注 1：DESKPOWER CE70J9、CE70J7、CE70JN（スタンダードセットを選択した方を除く）をお使いの方のみ添付されています。

注 2：DESKPOWER T50J をお使いの方には添付されていません。

ディスクの確認が終わったら、次の「「リカバリディスク」を実行する」（••▶ P.98）をご覧ください。

3 「リカバリディスク」を実行する

「リカバリディスク」を実行し、ハードディスクの中身を削除してから復元します。
「リカバリディスク」を実行するには、「リカバリディスク」を使います。

「リカバリディスク」でハードディスクの中身を復元する

準備ができたら「リカバリディスク」を実行します。

ハードディスクを初期状態に戻す

重要

リカバリが中断されたら

リカバリが中断された場合は、次の点を確認した後、次の手順 1 からやり直してください。
- 周辺機器を取り付けたままにしていませんか
  パソコンの電源を切り、周辺機器はすべて取り外してください。
- 手順を確認してください
  手順を間違えた可能性があります。操作手順を間違えると中断される場合があります。

1 **パソコンの電源が入っていたら、電源を切ります。**

重要

DESKPOWER H90J9/F をお使いの方

ホームサーバーカードの電源を切ってホームサーバ機能を終了してから、Windows を終了する必要があります。
『パソコンの準備』→「パソコンを準備する」→「電源の切り方と入れ方」→「電源を切る」の「ホームサーバー機能内蔵の機種の場合」で「電源ケーブルをコンセントから抜く場合」の手順をご覧になり、Windows の終了までを行ってください。

2 **キーボードの【F12】の位置を確認します。**

パソコンの電源を入れた後、すぐこのキーを押せるようにしてください。

3 パソコンの電源を入れ、FUJITSU のロゴ画面の下にメッセージが表示されている間に、【F12】を押します。

【F12】を軽く押しただけでは認識されない場合があります。画面が切り替わるまで何度も押してください。

（これ以降の画面やメッセージの表示のしかたはお使いの機種により異なります）

しばらくすると、起動メニューが表示されます。

重要

起動メニューが表示されないときは

【F12】を押すタイミングが合わないと、Windows が起動してしまいます。パソコンの電源を切り、「ハードディスクを初期状態に戻す」手順 1（••▶ P.98）からやり直してください。

FUJITSU のロゴ画面が表示されずに、Windows が起動してしまう場合は、「ハードディスクを初期状態に戻す」手順 1、2（••▶ P.98）の後、すぐに【F12】を押してください。

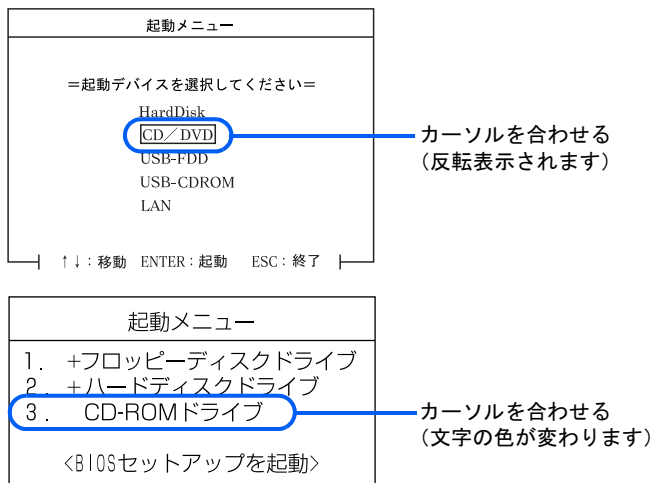
4 「リカバリディスク」をセットします。

認識されるまで 10 秒ほど待ってから、次の手順に進んでください。

5 【↓】を押して「CD／DVD」や「CD-ROM ドライブ」などを選択し、【Enter】を押します。

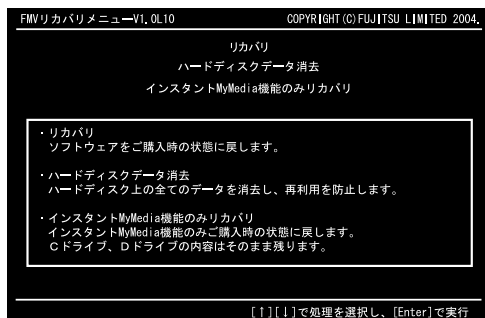
下記の画面例は、お使いの機種により異なります。

しばらくすると、「リカバリメニュー」が表示されます。

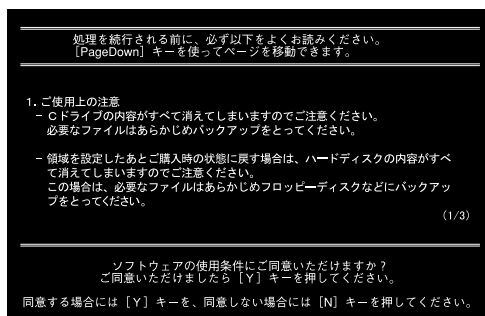
6

重要

リカバリメニューが表示されないときは

ディスクを取り出し、ディスクが間違っていないか確認してください。
確認後、【Ctrl】と【Alt】を押しながら【Delete】を押し、パソコンを再起動してください。
その後、「ハードディスクを初期状態に戻す」手順3（→P.99）からやり直してください。

6 「リカバリ」が反転表示されていることを確認して、【Enter】を押します。

【Enter】を押してしばらくすると、「リカバリディスク」についての説明が表示されます。

7 【Pg Dn】または【Pg Up】でページを切り替え、内容をよくお読みください。

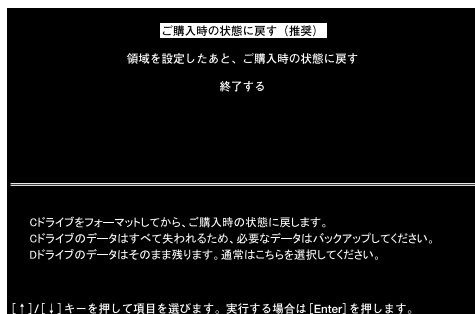
【↓】、【↑】と【Pg Dn】、【Pg Up】が同じキーに割り当てられているキーボードをお使いの方は、【Fn】を押しながら【↓】、【↑】を押します。

重要

ソフトウェアのご使用条件について

詳しくは、『パソコンの準備』の「ソフトウェアの使用条件」をご覧ください。

8 ソフトウェアのご使用条件に同意していただいた場合は、【Y】を押します。

画面にメインメニューが表示されます。

9 「ご購入時の状態に戻す（推奨）」が反転表示されていることを確認して、【Enter】を押します。

確認の画面が表示されます。

重要

「領域を設定したあと、ご購入時の状態に戻す」を選択した場合

D ドライブも含めハードディスクの全データが削除されます。重要なデータは、リカバリの作業をいったん中断して CD/DVD など別の媒体にバックアップしてください。
お使いの機種により一部手順が異なりますので、「Q C ドライブと D ドライブの割合を変更する ［DESKPOWER H シリーズを除く］」（••▶ P.161）を必ずご覧ください。

POINT

「終了する」を選択した場合

【Y】を押すと「C:¥>」と表示されます（お使いの状況により異なる場合があります）。ディスクを取り出し、電源（パソコン電源）ボタンで電源を切ってください。

10 ご購入時の状態に戻す場合は、【Y】を押します。

画面の下に「復元しています...」と表示され、ファイルのコピーが始まります。

11 そのまましばらくお待ちください。

POINT

カスタムメイドモデルでスタンダードセットを選択した方は

この先は「「リカバリディスク」を実行する」手順 2（••▶ P.122）へ進んでください。
カスタムメイドモデルかどうかわからない場合は、「カスタムメイドモデルについて」（••▶ P.7）をご覧ください。

お使いの状況によっては、2 枚目に入れ替える手順があります

インスタントMyMedia対応のBIBLOをお使いの方で、「領域を設定したあと、ご購入時の状態に戻す」を選択して操作した方は、「「インスタントMyMediaリカバリディスク」を準備してください」というメッセージが表示されます。
「インスタントMyMediaリカバリディスク」に入れ替え、【Y】などのキーを押してください。
ファイルのコピーが始まったら、しばらくお待ちください。手順 12 へ進みます。

12 「復元作業が正常に終了しました。」と表示されたら、次の「Windows の設定をする」（••▶ P.102）へ進みます。

6

Windows の設定をする

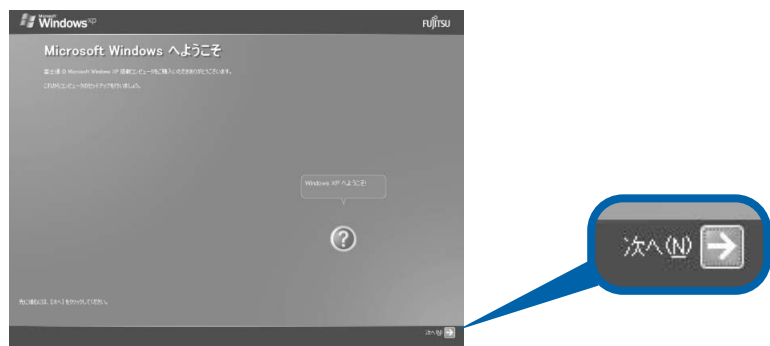
これで Windows がご購入時の状態に戻りました。この後、ご購入後初めて電源を入れた時と同じように、Windows の設定が必要です。ここでは手順のみを説明します。詳しくは、『パソコンの準備』→「パソコンを準備する」→「初めて電源を入れる」→「初めて電源を入れる～ Windows のセットアップ」をご覧ください。

13 **セットしてあるディスクを取り出し、「アプリケーションディスク 1」をセットします。**

14 **Y を押します。「Microsoft Windows へようこそ」という画面が表示されるまで、そのまましばらくお待ちください。**

パソコンが再起動し、途中で「please wait ...」と表示されます。途中で画面が真っ暗になりますが、電源は切らないでください。途中で電源を切ると、Windows が使えなくなる場合があります。

その後、ご購入後初めて電源を入れたときのように Windows のセットアップが始まります。

15 **「Microsoft Windows へようこそ」という画面が表示されたら、次への右の をクリックします。**

16 **「使用許諾契約」の内容をよくお読みください。内容に同意していただいた場合は「同意します」をクリックして にし、「次へ」の右の をクリックします。**

17 **「コンピュータを保護してください」という画面が表示されたら、「自動更新を有効にし、コンピュータの保護に役立てます」をクリックして にし、「次へ」の右の をクリックします。**

18 **「コンピュータに名前を付けてください」という画面が表示されたら、「次へ」の右の をクリックします。**

表示されているコンピュータの名前は、ここでは変更しません。コンピュータの名前は後から変更できます。詳しくは、Windows のヘルプを「コンピュータ名」で検索し、「コンピュータ名を変更する」をご覧ください。

Windows XP Home Edition の場合は、手順 21 へ進んでください。

19 「管理者パスワードを設定してください」という画面が表示されたら、「次へ」の右の ➡ をクリックします。

ここでは何も入力しません。管理者パスワードは後から設定できます。詳しくは、Windows のヘルプを「パスワード」で検索し、「ユーザーのパスワードを変更する」をご覧ください。

Media Center Edition の場合は、手順 21 へ進んでください。

20 「このコンピュータをドメインに参加させますか？」という画面が表示されたら、「いいえ、このコンピュータをドメインのメンバにしません」の左が ◉ になっていることを確認し、「次へ」の右の ➡ をクリックします。

ドメインは後から設定できます。詳しくは Windows のヘルプを「ドメイン」で検索し、「ドメインに参加する」をご覧ください。

21 「インターネット接続が選択されませんでした」という画面が表示されたら、「次へ」の右の ➡ をクリックします。

この画面ではなく、「インターネットに接続する方法を指定してください」という画面が表示された場合は、「省略」の右の ⏩ をクリックし、次の手順に進みます。インターネット接続の設定は、ご購入時の状態に戻す作業が終わってから行います。

22 「Microsoft にユーザー登録する準備はできましたか」という画面が表示されたら、「いいえ、今回はユーザー登録しません」をクリックして ◉ にし、「次へ」の右の ➡ をクリックします。

この画面ではなく、「今すぐインターネットアクセスのセットアップを行いますか？」という画面が表示された場合は、「いいえ、今回はインターネットに接続しません」をクリックして ◉ にし、「次へ」の右の ➡ をクリックします。次の手順へ進んでください。

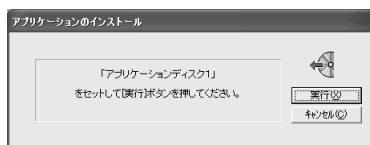
23 「設定が完了しました」という画面が表示されたら、「完了」の右の ➡ をクリックします。

「・・・マニュアル「パソコンの準備」に従い・・・」と表示されていますが、このままこのマニュアルに従って操作を続けてください。
パソコンが再起動します。
次の画面が表示されるまで、少し時間がかかることがありますが、そのままお待ちください。

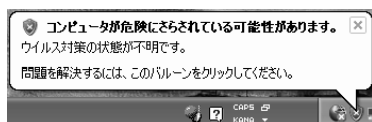
カスタムメイドモデルでスタンダードセットを選択した方は

この先は「「リカバリディスク」を実行する」手順 4（••▶ P.123）へ進んでください。
カスタムメイドモデルかどうかわからない場合は、「カスタムメイドモデルについて」（••▶ P.7）をご覧ください。

6

24 「「アプリケーションディスク 1」をセットして［実行］ボタンを押してください。」というメッセージが表示されたら、「ソフトウェアをまとめてインストールする」（••▶ P.105）に進みます。

POINT

画面右下の通知領域に「コンピュータが危険にさらされている可能性があります」と表示されたときは

ウイルス対策ソフトの設定がされてないと表示されます。リカバリが終了し、ご購入時の状態に戻った後、「インターネットに再接続するときの注意」（••▶ P.126）をご覧になり、ウイルス対策ソフトの設定をしてください。

ここで「キャンセル」をクリックすると、リカバリが終了してしまいます。必要なソフトウェアのみをご自分でインストールしたい方は次の POINT 「ソフトウェアをインストールしないでリカバリを終了する場合は、「必ず実行してください」などの操作をしてください」（••▶ P.104）をご覧ください。

ここでリカバリを終了した場合、「ソフトウェアをまとめてインストールする」（••▶ P.105）の操作を行うことはできなくなります。

POINT

ソフトウェアをインストールしないでリカバリを終了する場合は、「必ず実行してください」などの操作をしてください

手順 24 の画面で「キャンセル」をクリックすると、リカバリが終了してしまいます。

ソフトウェアをご購入時と同じ状態にする必要のない方は、「アプリケーションのインストールを中断します。」というメッセージで「はい」をクリックしてください。

この後、パソコンを動かすのに重要な設定を行う必要がありますので、続けて次の操作を行ってください。

1. 「スタート」ボタン→「必ず実行してください」の順にクリックします。
   「このパソコンに最適な設定を行います」ウィンドウが表示されます。
2. 「実行する」をクリックします。
3. 「保証期間表示」ウィンドウが表示されたら「閉じる」をクリックし、その後「いいえ」をクリックします。
   再び「このパソコンに最適な設定を行います」ウィンドウが表示されます。
4. 内容を確認し、「OK」をクリックします。
   パソコンが再起動します。
5. 「アプリケーションディスク 2」に入れ替えます。
6. 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
7. 「名前」に半角英数で次のように入力し、「OK」をクリックします。
   ```
   e:¥info.bat
   ```
   自動で必要な設定が行われます。
8. 「アプリケーションディスク 2」を取り出します。

この後は、添付のディスクなどから必要なソフトウェアをインストールしてください。

「アプリケーションディスク」からソフトウェアをインストールする場合は、「ソフトウェア名を選んでインストールする」（••▶ P.109）の手順を参考にしてください。

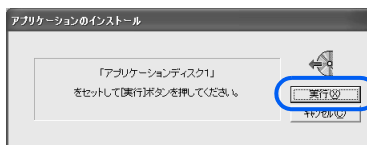
4 ソフトウェアをまとめてインストールする

ご購入時の状態に戻すために、続けてアプリケーションディスクから必要なソフトウェアをインストールします。インストール後は、「必ず実行してください」を実行し、パソコンに最適な設定を行います。
ソフトウェアのインストール中は、メッセージが表示されるまで、アプリケーションディスクを入れ替えないでください。トラブルの原因になる場合があります。

ソフトウェアをインストールし、パソコンに最適な設定を行う

ソフトウェアをまとめてインストールする

「FM かんたんインストール」で、ソフトウェアをインストールします。
ここでは、「標準」ボタンで複数のソフトウェアをまとめてインストールできます。
次の手順は「Windows の設定をする」（••▶ P.102）の手順の続きになっています。

1 「「アプリケーションディスク 1」をセットして［実行］ボタンを押してください。」というメッセージが表示されたら、「アプリケーションディスク 1」がセットされていることを確認し、「実行」をクリックします。

POINT

手順 1 で「キャンセル」をクリックしてしまった方は必ず「必ず実行してください」を実行してください

手順 1 で「キャンセル」をクリックして先に進むと、リカバリが終了し、手順 2 以降の操作を行うことができなくなります。「ソフトウェアをインストールしないでリカバリを終了する場合は、「必ず実行してください」などの操作をしてください」（••▶ P.104）をご覧になり、パソコンに必要な設定を行ってください。

6

2 「標準」をクリックします。

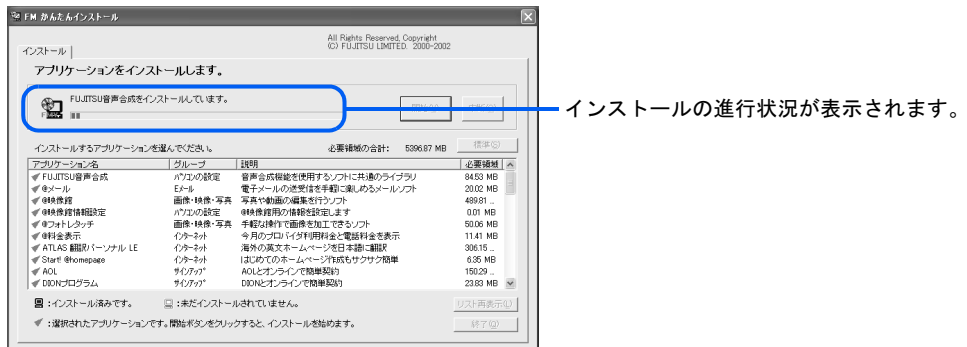
「標準」をクリックすると、ご購入時にインストールされていたソフトウェアが一括で選択されます。

（これ以降の画面は機種や状況により異なります）

3 「開始」をクリックします。

4 「インストールを開始します。」というメッセージで「OK」をクリックします。

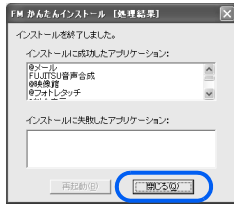
ソフトウェアのインストールが始まります。そのまましばらくお待ちください。

手順 5 の「FM かんたんインストール［処理結果］」ウィンドウが表示されるまで、画面上で操作したり、クリックしたりしないでください。

POINT

「乗換案内 時刻表対応版 Setup」と表示されたときは

「FM かんたんインストール」の「標準」ボタンでソフトウェアのインストールをしているとき、しばらくすると「乗換案内 時刻表対応版 Setup」画面が表示される場合があります。正常に動作していますので、何も操作はせず、そのままお待ちください。自動でインストールが終了し、元の画面に戻ります。

インストールが終了すると、「FM かんたんインストール ［処理結果］」ウィンドウが表示されます。

5 「閉じる」をクリックします。

6 「終了」をクリックします。

7 「「アプリケーションディスク 2」をセットして［実行］ボタンを押してください。」というメッセージが表示されたら、ディスクを入れ替えます。

POINT

「・・・Windowsが実行する動作を選んでください。」ウィンドウや「FUJITSU(E:)」ウィンドウが表示されたときは

「アプリケーションディスク 2」をセットしたとき、「・・・Windows が実行する動作を選んでください。」ウィンドウや「FUJITSU(E:)」ウィンドウが表示されることがあります。ウィンドウが表示された状態では、次の操作に進めないことがあります。
操作を続けるには、次の操作を行ってウィンドウを閉じてください。

- 「・・・Windows が実行する動作を選んでください。」ウィンドウ→「キャンセル」をクリック
- 「FUJITSU(E:)」ウィンドウ→ ☒（閉じる）をクリック

8 「実行」をクリックします。

9 手順 2 ～ 6 の手順に従って操作します。

「FM かんたんインストール」が終了します。

10 セットしてあるディスクを取り出します。

「必ず実行してください」を実行する

パソコンの初期設定を行うプログラムです。最後まで必ず実行してください。実行しないと、いくつかの機能がお使いになれません。

11 「スタート」ボタン→「必ず実行してください」の順にクリックします。

デスクトップにある をクリックしても実行できます。
「このパソコンに最適な設定を行います」ウィンドウが表示されます。

12 「実行する」をクリックします。

パソコンの初期設定が始まります。手順 13 の画面が表示されるまで、そのままお待ちください。

13 「保証期間表示」ウィンドウが表示されたら、「閉じる」をクリックし、その後「いいえ」をクリックします。

再び「このパソコンに最適な設定を行います」ウィンドウが表示されます。

14 内容を確認し、「OK」をクリックします。

パソコンが再起動します。

POINT

BIBLO MG75J、MG70J、MG75JN、LOOX シリーズをお使いの方

指紋認証を使用する場合は、『パソコンの準備』→「指紋認証を使う」をご覧になり、指紋認証を使うための準備などを行ってください。終了後、再びこのマニュアルの手順に戻ります。
指紋認証を使用しない場合は、「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「Softex」→「OmniPass のアンインストール」の順にクリックし、画面の指示に従ってソフトウェアを削除してください。

Virtual CD をご購入時と同じ設定にする（BIBLO MG シリーズ、LOOX シリーズのみ）

Virtual CD の常駐を解除します。

15 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「Virtual CD」→「Virtual CD マネージャー」の順にクリックします。

16 「Virtual CD マネージャー」ウィンドウで、「表示」メニュー→「環境設定」の順にクリックします。

17 「環境設定」ウィンドウで「各種設定」タブをクリックします。

18 「タスクトレイに Virtual CD アイコンを常駐する」の☑をクリックして□にします。

19 「OK」をクリックします。

20 「Virtual CD マネージャー」のウィンドウの☒をクリックして終了します。

21 画面右下の通知領域で（Virtual CD）を右クリックし、「終了」をクリックします。

「ソフトウェア名を選んでインストールする」（••▶ P.109）に進みます。

ソフトウェア名を選んでインストールする

次のソフトウェアは、「FM かんたんインストール」の「標準」ボタンではインストールされません。「FM かんたんインストール」をご自身で起動し、各ソフトウェアをインストールしてください。

インストールが必要なソフトウェアと使用するディスク

お使いの機種により、ご購入時にインストールされていたソフトウェアが異なります。
必要なソフトウェアをご確認ください。

ソフトウェア名	インストールが必要な機種	使用するディスク
柿木将棋Ⅲ Light	全機種（BIBLO LOOX を除く）	アプリケーションディスク 1
OASYS ビューア	全機種（BIBLO LOOXを除く[注1]）	アプリケーションディスク 1
Medi @ Show	全機種（BIBLO LOOX を除く）	アプリケーションディスク 1
MediaStage SE	TV チューナーカード内蔵の機種	アプリケーションディスク 2 [注 2]
DisneyBB セレクト	DESKPOWER CE70J9、CE70J7、CE70JN[注 3]	アプリケーションディスク 3

注 1 : BIBLO LOOX シリーズでは、ご購入時にインストールはされていませんが、ソフトウェアは添付されており、「1 つずつソフトウェアをインストールする」（••▶ P.109）の手順を参考にインストールが可能です。ご購入時と同じ状態にしたい場合は、インストールの必要はありません。

注 2 : DESKPOWER CE70JN、CE50JNをお使いの方でご購入時にTVチューナーカードを選択した場合は添付の「MediaStage SEのCD-ROM」をお使いください。

注 3 : スタンダードセットを選択した方には添付されていません。

1 つずつソフトウェアをインストールする

「・・・Windows が実行する動作を選んでください。」ウィンドウが表示されたときは

ディスクをセットしたとき、「・・・Windows が実行する動作を選んでください。」ウィンドウが表示されることがあります。「キャンセル」をクリックすると、そのまま操作を続けることができます。
メッセージについては、「Q 操作中に突然メッセージ画面が表示された」（••▶ P.148）もあわせてご覧ください。

ソフトウェアをインストールする前に

画面が表示されているなど、別のソフトウェアが起動している場合は、インストールを始める前にすべて終了させてください。

インストールのしかた

1 **インストールするソフトウェアが入っているディスクをセットします。**

2 **「スタート」ボタン→「@メニュー」の順にクリックします。**

パソコンのワンタッチボタンからも「@ メニュー」を起動することができます。詳しくは、「パソコンでやってみたいことを「@メニュー」で調べる」（••▶ P.62）をご覧ください。

3 **「@メニュー」で、上部の 1「名前でさがす」をクリックし、2「パソコンの設定」をクリックします。**

（アイコンの数や配置はお使いの機種により異なります）

4 **（FM かんたんインストール）をクリックします。**

「FM かんたんインストール」ウィンドウが表示されます。

5 **表示されたソフトウェア名から、インストールするソフトウェア名をクリックします。**

1 度に複数のソフトウェア名を選ぶことはできません。

6 **「開始」をクリックします。**

7 **「OK」をクリックします。**

以降は画面に表示されるメッセージに従ってインストールを進めてください。また必ず「インストールするときの注意」（••▶ P.111）をご覧ください。
ソフトウェアのインストールが終了し、「FM かんたんインストール［処理結果］」ウィンドウが表示された場合は、「閉じる」をクリックします。

8 **同じディスク内の必要なソフトウェアのインストールが終了するまで、手順4〜7（または5〜7）を繰り返します。**

再起動した場合は、手順 2 から始めてください。

9 **インストールが終了し、「FM かんたんインストール」ウィンドウが表示されていたら、「終了」をクリックします。**

「FM かんたんインストール」が終了します。

10 **必要があればディスクを入れ替え、すべてのソフトウェアをインストールするまで手順 4 〜 9 を繰り返します。**

11 **すべてのソフトウェアのインストールが終了し、「@メニュー」ウィンドウが表示されていたら、「@メニュー」の（閉じる）をクリックします。**

「@メニュー」が終了します。

12 **セットしてあるディスクを取り出します。**

インストールするときの注意

ソフトウェアをご購入時の状態に戻すときは、次のことに注意して、インストールしてください。ここに書かれていない設定は特に変更する必要はありません。そのまま「次へ」や「はい」、「OK」、「インストール」、「完了」などをクリックしてインストールを進めてください。ソフトウェアのインストール終了後に再起動を勧めるメッセージが表示された場合は、必ずパソコンを再起動してください。

6

■柿木将棋Ⅲ Light

- 手順 7 の後「アプリケーションのインストール方法を選んでください。」とメッセージが表示されます。「自動」をクリックしてインストールしてください。
- 「柿木将棋Ⅲ Light」ウィンドウが表示されたら、をクリックして閉じます。

■OASYS ビューア

- 「WinZip Self-Extractor」ウィンドウが表示されたら、「Setup」をクリックします。

■MediaStage SE

- 手順 5 で「MediaStage SE」をクリックすると、「MediaStage SE 情報設定」も一緒に選択されます。2 つが選択されたままの状態で手順 6 に進んでください。

■DisneyBB セレクト

- 「ユーザー情報」ウィンドウが表示されたら、「ユーザ名」と「シリアル番号」を必ず入力してください。「シリアル番号」は、半角英数で次のように入力してください。

  DBBS-04WF-SK31
- 「エンドユーザー使用許諾契約書　重要注意事項」ウィンドウが表示されたら、をクリックして閉じます。

ご購入時と同じ状態や設定にするために

ソフトウェアをインストールした後、ご購入時と同じ状態や設定にするために、以下の操作を行ってください。

■デスクトップのショートカットアイコンを削除する

デスクトップの設定をご購入時と同じ状態にしたいときは、ソフトウェアのインストール後に表示された次のショートカットアイコンを、（ごみ箱）にドラッグして削除してください。

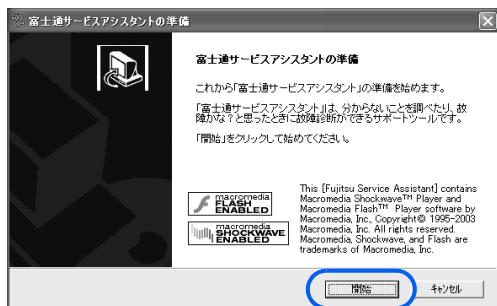
・（OASYS ビューア V8）

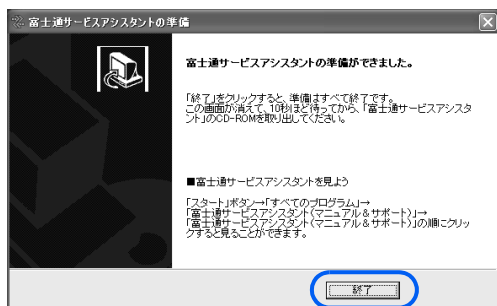
インストールしたソフトウェアによって、デスクトップに表示されるショートカットアイコンは異なります。

6 サービスアシスタントをインストールする

「富士通サービスアシスタント」を用意してください。

1 **「富士通サービスアシスタント」をセットします。**

2 **「富士通サービスアシスタントの準備」ウィンドウで「開始」をクリックします。**

サービスアシスタントのインストールが始まります。手順 3 のウィンドウが表示されるまで、しばらくお待ちください。

3 **「富士通サービスアシスタントの準備ができました」ウィンドウで「終了」をクリックします。**

4 **「富士通サービスアシスタント」を取り出します。**

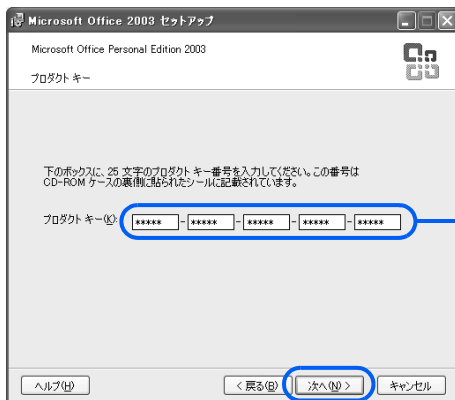
7 Office Personal 2003 をインストールする

Office Personal 2003、Home Style+、Office 2003 と Home Style+ の SP1 の順にインストールしてください。
ただし、次の場合は添付されていません。
・DESKPOWER T50J をお使いの方
・カスタムメイドモデルでスタンダードセットを選択した方

Office Personal 2003 をインストールする

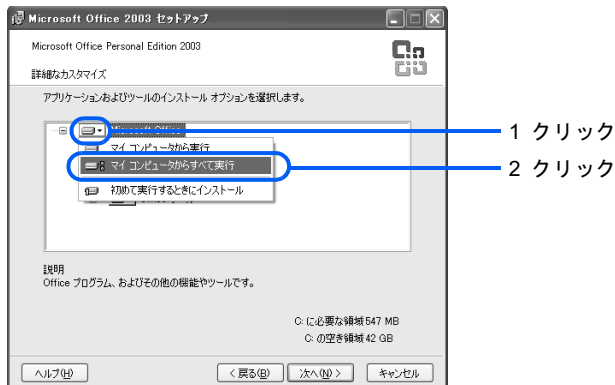
Word 2003、Excel 2003、Outlook 2003 を使えるようにします。
「Office Personal 2003 の CD-ROM」を用意してください。

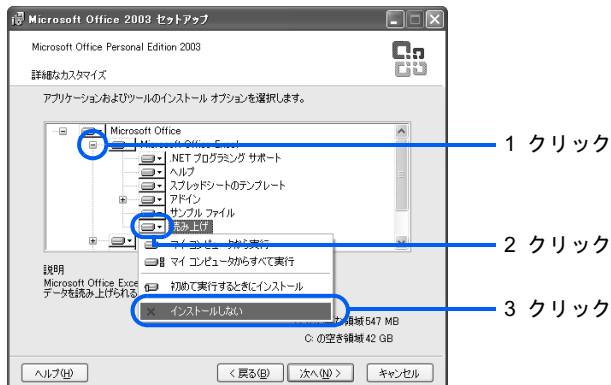
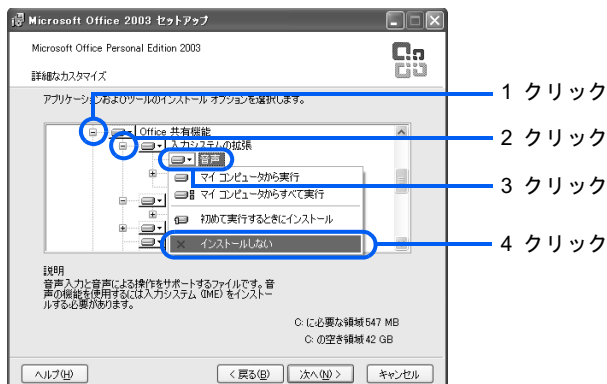
1 **「Office Personal 2003 の CD-ROM」をセットします。**

2 **「プロダクトキー」を入力し、「次へ」をクリックします。**

3 **必要に応じて「ユーザー名」「頭文字」「所属」を入力し、「次へ」をクリックします。**

4 **「カスタム インストール」をクリックしてにし、「次へ」をクリックします。**

5 **「アプリケーションごとにオプションを指定してインストール」をクリックしてにし、「次へ」をクリックします。**

6 **1「Microsoft Office」の左の[icon]をクリックし、2「マイコンピュータからすべて実行」をクリックします。**

（これ以降の画面は機種や状況により異なります）

7 **1 [icon]（Microsoft Office Excel）の左の⊞をクリックして⊟にします。2「読み上げ」の左の[icon]をクリックし、3「インストールしない」をクリックします。**

8 **1 [icon]（Office 共有機能）の左の⊞をクリックして⊟にし、2 [icon]（入力システムの拡張）の左の⊞をクリックして⊟にします。3「音声」の左の[icon]をクリックし、4「インストールしない」をクリックします。**

6

9 「次へ」をクリックします。

10 「ファイルの概要」ウィンドウで「完了」をクリックします。

インストールが始まります。
しばらくすると「Microsoft Office 2003 セットアップ」ウィンドウが表示されます。

11 「セットアップの完了」ウィンドウで「完了」をクリックします。

12 「Office Personal 2003 の CD-ROM」を取り出します。

「Home Style+ をインストールする」（→ P.116）に進みます。

重要

Office Personal 2003 ライセンス認証が必要になります

パソコンがご購入時の状態に戻った後、実際に Office Personal 2003 のソフトウェアをお使いになる前には、「ライセンス認証」が必要になります。
詳しくは、「Office Personal 2003 をお使いになるときの注意」（→ P.127）をご覧ください。

POINT

ワンタッチボタンの設定を変更する（BIBLO NX、NH、LOOX シリーズを除く）

ご購入時と同様に、ワンタッチボタンの「メール（「E-mail」）」ボタンを押したときに Outlook 2003 が起動するように設定し直します。

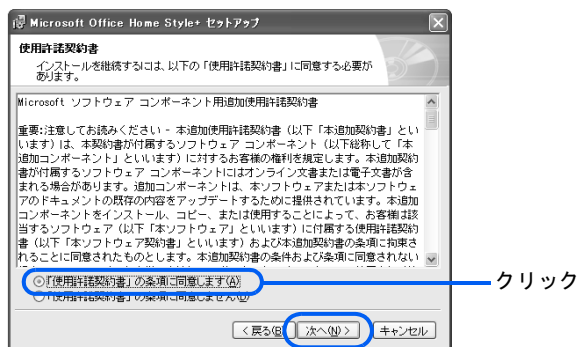
1. 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「メールソフト切り替えツール」→「メールソフト切り替えツール」の順にクリックします。
2. 「Outlook 2003」を ◉ にし、「OK」をクリックします。
3. 「設定を開始してもよろしいですか？」というメッセージで「OK」をクリックします。
4. 「設定が終了しました。」というメッセージで「OK」をクリックします。
5. パソコンを再起動します。

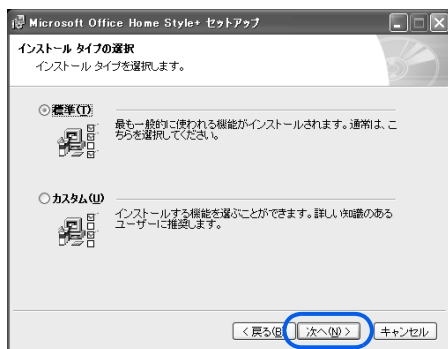
Home Style+ をインストールする

「Home Style+ の CD-ROM」を用意してください。

1 「Home Style+ の CD-ROM」をセットします。

2 「Microsoft Office Home Style+ セットアップへようこそ」ウィンドウで「次へ」をクリックします。

3 「使用許諾契約書」の内容をよくお読みください。内容に同意していただいた場合は「「使用許諾契約書」の条項に同意します」をクリックして◉にし、「次へ」をクリックします。

4 「セットアップ先のフォルダ」ウィンドウで「次へ」をクリックします。

5 「インストールタイプの選択」ウィンドウで標準に◉がついていることを確認し、「次へ」をクリックします。

6 「インストールの開始」ウィンドウで「次へ」をクリックします。

システムの更新が始まります。しばらくお待ちください。

7 「セットアップは正常に終了しました」というメッセージで「OK」をクリックします。

8 「Home Style+ の CD-ROM」を取り出します。

「Office 2003 と Home Style+ の SP1 をインストールする」（••▶ P.118）に進みます。

6

Office 2003 と Home Style+ の SP1 をインストールする

「アプリケーションディスク 1」を用意してください。
Office 2003 と Home Style+ の SP1 は（FM かんたんインストール）でインストールします。

1 **「アプリケーションディスク 1」をセットします。**

2 **「スタート」ボタン→「@メニュー」の順にクリックします。**

3 **「@メニュー」で、上部の「名前でさがす」をクリックし、「パソコンの設定」をクリックします。**

4 **（FM かんたんインストール）をクリックします。**
「FM かんたんインストール」ウィンドウが表示されます。

5 **表示されたソフトウェア名から、「Office Personal 2003 Service Pack 1」をクリックします。**

6 **「開始」をクリックします。**

7 **「OK」をクリックします。**

8 **「アプリケーションのインストール方法を選んでください。」とメッセージが表示されたら、「自動」をクリックします。**
インストールが始まります。

9 **「FM かんたんインストール［処理結果］」ウィンドウが表示されたら、「再起動」をクリックします。**
パソコンが再起動します。

10 **「アプリケーションディスク 1」を取り出します。**

8 プロアトラスW3 for FUJITSUをインストールする

「プロアトラスW3 for FUJITSU」を用意し、インストールしてください。
カスタムメイドモデルでスタンダードセットを選択した場合は添付されていません。

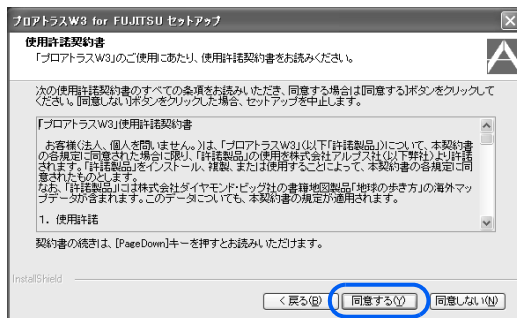
POINT

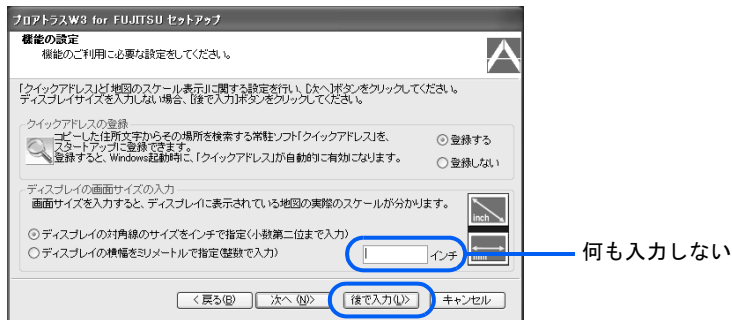
BIBLO LOOX シリーズをお使いの方は

BIBLO LOOXシリーズでは、「プロアトラスW3 for FUJITSU」がご購入時にインストールされていません。ご購入時と同じ状態にする場合はこの操作は不要ですが、次の手順を参考にインストールが可能です。

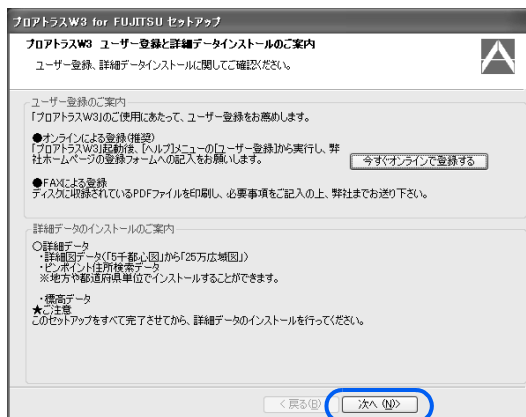
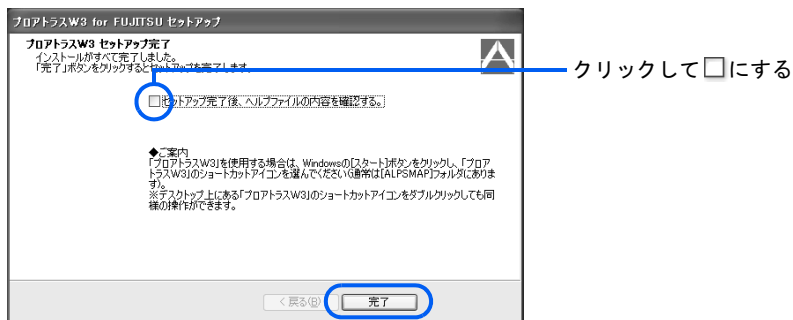
1 **「プロアトラスW3 for FUJITSU」をセットします。**

2 **「「プロアトラスW3」セットアップへようこそ」ウィンドウで「次へ」をクリックします。**

3 **「使用許諾契約書」の内容をよくお読みください。内容に同意していただいた場合は、「同意する」をクリックします。**

4 **「インストール方法の選択」ウィンドウで「標準インストール」をクリックします。**

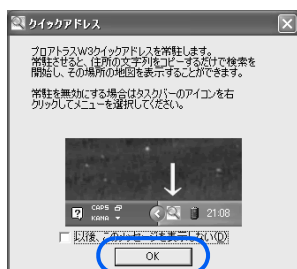
5 「機能の設定」ウィンドウで、そのまま何も入力しないで「後で入力」をクリックします。

6 「インストールの開始」ウィンドウで「インストール」をクリックします。

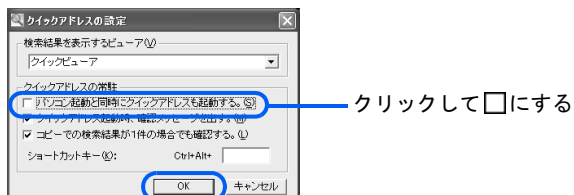
インストールが始まります。手順 7 の画面が表示されるまでしばらくお待ちください。

7 「プロアトラスW3 ユーザー登録と詳細データインストールのご案内」ウィンドウで「次へ」をクリックします。

8 「プロアトラスW3 セットアップ完了」ウィンドウで「セットアップ完了後、ヘルプファイルの内容を確認する。」の☑をクリックして☐にし、「完了」をクリックします。

9 「プロアトラス W3 for FUJITSU」を取り出します。

「クイックアドレス」の常駐を解除します。

10 **「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「ALPSMAP」→「プロアトラスW3 クイックアドレス」の順にクリックします。**

11 **「プロアトラスW3クイックアドレスを常駐します。」というメッセージが表示されたら、「OK」をクリックします。**

12 **画面右下の通知領域で（クイックアドレス）を右クリックし、「設定」をクリックします。**

13 **「クイックアドレスの設定」ウィンドウで「パソコン起動と同時にクイックアドレスも起動する。」の☑をクリックして□にし、「OK」をクリック します。**

14 **画面右下の通知領域で（クイックアドレス）を右クリックし、「クイックアドレスの終了」をクリックします。**

デスクトップの設定をご購入時と同じ状態にしたい場合は、（プロアトラス W3）を（ごみ箱）にドラッグして削除します。

これで、ご購入時の状態に戻す作業は終了です。「以前の環境に近づける」（••▶ P.125）を参考に、リカバリをする前の環境に近づけてください。

6

9 「リカバリディスク」を実行する

（カスタムメイドモデルでスタンダードセットを選択した方）

リカバリディスクを実行する前に、「リカバリの準備」（••▶ P.94）を必ずお読みください。

「リカバリディスク」でハードディスクの中身を復元する

「リカバリディスク」を実行し、ハードディスクの中身を削除してから復元します。
「リカバリディスク」を実行するには、「リカバリディスク」を使います。

ハードディスクを初期状態に戻す

重要

リカバリが中断されたら

リカバリが中断された場合は、次の点を確認した後、次の手順１からやり直してください。
- 周辺機器を取り付けたままにしていませんか
  パソコンの電源を切り、周辺機器はすべて取り外してください。
- 手順を確認してください
  手順を間違えた可能性があります。操作手順を間違えると中断される場合があります。

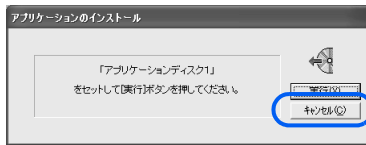
1 **「「リカバリディスク」でハードディスクの中身を復元する」（••▶ P.98）手順 1 〜 11 まで実行します。**

2 **復元が終わり、「復元作業が正常に終了しました。」と表示されたら、次の「Windows の設定をする」（••▶ P.122）へ進みます。**

Windows の設定をする

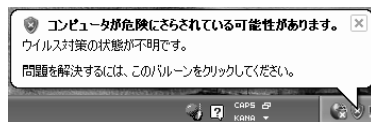
これで Windows がご購入時の状態に戻りました。この後、ご購入後初めて電源を入れた時と同じように、Windows の設定が必要です。

3 **「Windows の設定をする」（••▶ P.102）手順 14 〜 23 まで実行します。**

4 「「アプリケーションディスク 1」をセットして［実行］ボタンを押してください。」というメッセージが表示されたら、「キャンセル」をクリックします。

ここで「実行」をクリックすると、ソフトウェアをインストールすることができます。これらのソフトウェアは、ご購入時の状態ではインストールされていなかったものです。

POINT

画面右下の通知領域に「コンピュータが危険にさらされている可能性があります」と表示されたときは

ウイルス対策ソフトの設定がされてないと表示されます。リカバリが終了し、ご購入時の状態に戻った後、「インターネットに再接続するときの注意」（••▶ P.126）をご覧になり、ウイルス対策ソフトの設定をしてください。

5 「アプリケーションのインストールを中断します。よろしいですか？」というメッセージで「はい」をクリックします。

6 セットしてあるディスクを取り出します。

「必ず実行してください」を実行する

パソコンの初期設定を行うプログラムです。最後まで必ず実行してください。実行しないと、いくつかの機能がお使いになれません。

7 「スタート」ボタン→「必ず実行してください」の順にクリックします。

デスクトップにある をクリックしても実行できます。
「このパソコンに最適な設定を行います」ウィンドウが表示されます。

8 「実行する」をクリックします。

9 「保証期間表示」ウィンドウが表示されたら、「閉じる」をクリックし、その後「いいえ」をクリックします。

再び「このパソコンに最適な設定を行います」ウィンドウが表示されます。

10 内容を確認し、「OK」をクリックします。

パソコンが再起動します。

11 「アプリケーションディスク 2」をセットします。

POINT

「・・・Windows が実行する動作を選んでください。」ウィンドウが表示されたときは

ディスクをセットしたとき、「・・・Windows が実行する動作を選んでください。」ウィンドウが表示されることがあります。「キャンセル」をクリックすると、そのまま操作を続けることができます。
メッセージについては、「Q 操作中に突然メッセージ画面が表示された」（••▶ P.148）もあわせてご覧ください。

12 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。

13 「名前」に半角英数で次のように入力し、「OK」をクリックします。

```
e:¥info.bat
```

自動で必要な設定が行われます。

14 「アプリケーションディスク 2」を取り出します。

これで、ご購入時の状態に戻す作業は終了です。「以前の環境に近づける」（••▶ P.125）を参考に、リカバリをする前の環境に近づけてください。

POINT

ご購入時にインストールされていないソフトウェアについて

ここまでの手順で、ご購入時にインストールされているソフトウェアのみ復元されます。必要に応じて、添付の「アプリケーションディスク」などからソフトウェアをインストールしてください。
「ソフトウェアをインストールする」（••▶ P.125）もあわせてご覧ください。

10 以前の環境に近づける

リカバリディスクを実行し、添付のディスクから必要なソフトウェアをインストールしたら、以前に使っていた環境に近づけましょう。

POINT

ユーザー登録を再度行う必要はありません

リカバリの前にお使いのパソコンからユーザー登録を行っている方は、リカバリ後に再度ユーザー登録を行う必要はありません。
ユーザー登録番号を再確認したり、忘れてしまったパスワードを再発行したい場合は、『サポート＆サービスのご案内』→「FMVユーザー登録をする」→「ユーザー登録をするには」→「ユーザー登録情報を変更するには（機種情報追加や住所変更など）」をご覧ください。

周辺機器を接続する

メモリやプリンタなどの周辺機器の接続については、（サービスアシスタント）のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「8.周辺機器の接続」をご覧になり、お使いになる周辺機器を選択してください。
周辺機器に添付のマニュアルもあわせてご覧ください。

ソフトウェアをインストールする

添付の「アプリケーションディスク」のソフトウェアや市販のソフトウェアなど、ご購入後にインストールしたソフトウェアは、改めてインストールする必要があります。
「アプリケーションディスク」からのインストールの方法は、（サービスアシスタント）のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「9.添付ソフトウェア一覧（読み別）」をご覧になり、「FMかんたんインストール」を選択してください。
その他のソフトウェアのインストール方法は、それぞれのソフトウェアに添付のマニュアルをご覧ください。

POINT

ソフトウェアをインストールした後は

ソフトウェアをインストールした後は、すぐにソフトウェアを使わず、パソコンを再起動してからお使いになることをお勧めします。

バックアップしたファイルを復元する

バックアップしたファイルを元の場所に戻します。

コピーしてバックアップしたファイルを復元する

ファイルを元の場所にコピーします。このとき、違う場所にコピーすると、データが使用できなかったり、別途設定が必要になったりする場合がありますので、ご注意ください。
また、ご購入後にインストールしたソフトウェアのファイルを復元する場合は、先にそのソフトウェアをインストールし直してからファイルをコピーしてください。

「FM かんたんバックアップ」でバックアップしたファイルや設定を復元する

「FM かんたんバックアップ」でバックアップしたファイルやインターネット設定を元の場所に復元します。詳しくは、「「FM かんたんバックアップ」でファイルを復元する」(••▶ P.43)をご覧ください。

インターネットに再接続するときの注意

リカバリディスクを実行すると、それまで「Windows Update」や「Norton AntiVirus」のウイルス定義ファイルの更新などで最新の状態に更新・修正していたプログラムなども、ご購入時の状態に戻ってしまいます。
リカバリ後、インターネットを始めるときにセキュリティ対策を必ず行ってください。

セキュリティ問題の修正プログラムを実行する

コンピュータウイルスの感染を防ぐため、「サポートディスク」に修正プログラムが用意されている場合があります。インターネットに接続する前に、修正プログラムがあるか確認し、ある場合は修正プログラムを実行してください。
修正プログラムは、以下の手順で確認・実行できます。

1. 「サポートディスク」をセットし、マイコンピュータなどで中のファイルを表示します。
   リカバリ後の状態では、CD/DVD ドライブは、E ドライブです。
2. (OTHER) フォルダの中の (OS) フォルダを開きます。
   修正プログラムのフォルダが表示されます。
3. フォルダを開いて中のファイルを実行し、インストールしてください。
   修正プログラムのフォルダは複数ある場合があります。順番に、すべてのファイルを実行してください。

インターネットに接続し、ウイルス対策ソフトの設定を行う

リカバリをする前にインターネットに接続していた方は、オンラインサインアップを行う必要はありません。接続の設定を行うだけで再びインターネットをご利用になれます。
リカバリ後、初めてインターネットに接続するときは、セキュリティ対策を必ず行ってください。「Windows Update」を実行して Windows を最新の状態に整えてから、ウイルス対策ソフト「Norton AntiVirus」を設定します。セキュリティ対策を行うことで、リカバリをする前と同じように、不正アクセスやウイルスからパソコンを守ることができます。
インターネット接続の設定・セキュリティ対策・「Windows Update」については、『パソコンの準備』→「パソコンを準備する」→「インターネットを始めるための準備をする」と「ウイルス対策ソフトの設定」をご覧ください。

POINT

「FM かんたんバックアップ」でバックアップと復元を行った方は

インターネットへの接続がダイヤルアップ接続の方で、「FM かんたんバックアップ」でバックアップと復元を行った方は、接続の設定を行う必要はありません。『パソコンの準備』→「パソコンを準備する」→「ウイルス対策ソフトの設定」をご覧になり、「Windows Update」の実行とウイルス対策ソフト「Norton AntiVirus」の設定を行ってください。
「FM かんたんバックアップ」については、「「FM かんたんバックアップ」を使う」（▶ P.39）をご覧ください。

Office Personal 2003 をお使いになるときの注意

次の場合は「Office Personal 2003」が添付されていません。

・DESKPOWER T50J をお使いの方
・カスタムメイドモデルでスタンダードセットを選択した方

ライセンス認証を行う

Office Personal 2003 のソフトウェアをお使いになる前に、ライセンス認証を行ってください。
ライセンス認証は、インターネット経由で行うことをお勧めします。インターネットに接続する際、「インターネットに再接続するときの注意」（▶ P.126）もご覧ください。
認証手順については、Office Personal 2003 に添付の『スタート ガイド』→「ライセンス認証を行う」をご覧ください。

Office のアップデートを実行する

ライセンス認証が終わったら、「Office のアップデート」を実行してください。「Office のアップデート」は、Office 製品を最新の状態に整え、セキュリティと安定性を強化し、重要なアップデートを提供するためにマイクロソフト社が提供するサポート機能です。
「Windows Update」の画面から「Office ファミリ」を選択して「Office のアップデート」を実行できます。アップデートの方法については、表示される画面に従ってください。

6

その他

パソコンの設定を変える

画面の背景（壁紙）、スクリーンセーバー、画面の解像度や発色数など、お客様が以前使っていたパソコンの設定に戻します。設定については、（サービスアシスタント）のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「7.パソコン本体の取り扱い」→「画面（ディスプレイ）」をご覧ください。

7

第 7 章

トラブルかなと思ったら

1 パソコンにトラブルが起こったときは

パソコンの調子がよくない、あるいは、パソコンが動かないと思ったら、状況に応じて次のことをチェックしてみてください。簡単に解決できる場合があります。

POINT

「必ず実行してください」を実行しましたか

パソコンの初期設定を行うプログラムです。実行していないと、いくつかの機能が使えなかったり、パソコンが正常に動作しなかったりする場合があります。「スタート」ボタンをクリックして表示されるメニューの中に「必ず実行してください」がある場合は、「「必ず実行してください」を実行したことを確認する」(P.10)をご覧になり、初期設定を行ってください。

■「サービスアシスタント」が起動できる場合

パソコンの画面が表示できる、操作できる　など

●故障かな？と思ったとき

お使いのパソコンの状態を診断します。

「ハードウェアの診断」をクリックします。
診断後、パソコンに問題があった場合は、修復のための適切なアドバイスが表示されます。

●パソコンの操作について知りたいとき

サービスアシスタントの「画面で見るマニュアル」や、FMV ユーザーのためのホームページから、自分で探します。

「画面で見るマニュアル」をクリックします。

- 「画面で見るマニュアル」を見る
  「11. トラブルシューティング」で参考になりそうな項目をご覧ください。
  「画面で見るマニュアル」の全体で参考になりそうな項目をご覧ください。
- 「画面で見るマニュアル」内を検索する
  「検索」タブをクリックし、キーワードや文章を入力して、「画面で見るマニュアル」全体を検索します。

「インターネットのサポート情報」をクリックします。
または、「画面で見るマニュアル」の右上にある「インターネットのサポート情報」をクリックします。
FMV 活用サイト AzbyClub(アズビィクラブ)ホームページ(http://azby.fmworld.net/)が表示されます。
AzbyClub ホームページのサポートサイトには、最新のサポート情報や Q&A 情報が掲載されています。

●マニュアルを見たり、ハードウェアの診断をしても解決できないとき

ご自分で解決することが難しいときは、お問い合わせください。内容により、お問い合わせ先が異なります。

「富士通のサポートご紹介」または「ソフトウェアのお問い合わせ一覧」をクリックします。
『サポート＆サービスのご案内』もあわせてご覧ください。

注1：図中で★印の付いた項目は、ユーザー登録が必要となります。ユーザー登録のしかたについては、『サポート＆サービスのご案内』をご覧ください。
注2：一部のサービスでは、インターネットへの接続環境が必要となります。また、別途通信費がかかります。

■「サービスアシスタント」が起動できない場合

パソコンの電源が入らない、パソコンの画面が表示できない、マウス／フラットポイント、キーボードが操作できない　など

Step1：　このマニュアルの Q&A 集を見る

サービスアシスタントが見られない状態のときは、「パソコンがおかしいときの Q&A 集」（••▶ P.132）から該当するトラブルを探します。

パソコンの電源が入らない、パソコンの画面が表示できない、マウス／フラットポイント、キーボードが操作できないなどのトラブルについて調べることができます。

こんなトラブルの場合は、下の「その他」も参考にしてください。

- ソフトウェアがおかしい
  →「■ソフトウェアについて問い合わせる」
- 買ってすぐの状態で、起動しなくなった
  →「■リカバリを実行し、ご購入時の状態に戻す」
- 買ってすぐの状態で、青い画面やエラーが表示されてしまった
  →「■リカバリを実行し、ご購入時の状態に戻す」

Step2：　電話で問い合わせる（一部有料）★

どうしてもトラブルが解決しないときは、お問い合わせください。

「お問い合わせ先について」（••▶ P.164）

『サポート＆サービスのご案内』

その他

パソコンの状態や解決したい内容によっては、次のような方法もあります。

■インターネットに接続してサポート情報を手に入れる（無料）

FMV 活用サイト AzbyClub（アズビィクラブ）ホームページ（http://azby.fmworld.net/）をご覧になることができる場合

AzbyClub ホームページのサポートサイトでは、機種別の注意事項、最新のサポート情報、Q&A 情報（Q&A navi）を掲載しています。定期的にご覧になることをお勧めします。

また、解決方法を E メールで教えてくれる「メールサポート」(★) もご利用になれます。

なお、これらの情報は、他のパソコンからもご覧になれます。

■ソフトウェアについて問い合わせる

ソフトウェアについて問題が起きた場合

このパソコンに添付されているソフトウェアについてのお問い合わせは、『サポート＆サービスのご案内』をご覧ください。

■リカバリを実行し、ご購入時の状態に戻す

購入直後、起動しないなどのトラブルが発生した場合

修理が必要と判断した場合

パソコンをご購入時の状態に戻します。リカバリを実行すると、C ドライブのデータは消えてしまいますのでご注意ください。

「パソコンをご購入時の状態に戻す（リカバリ）」（••▶ P.89）

■その他の機能について

[DESKPOWER H90J9/F をお使いの方]

ホームサーバー機能の初期化については、『ホームサーバー機能　取扱説明書』をご覧ください。

[インスタントMyMedia対応の機種をお使いの方（BIBLO）]

インスタントMyMediaのリカバリについては、『インスタントMyMedia　取扱説明書』をご覧ください。

2 パソコンがおかしいときの Q&A 集

（サービスアシスタント）のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「11. トラブルシューティング」もあわせてご覧ください。

Q パソコンが起動しない、画面に何も映らない［DESKPOWER］

A 電源を入れても何も表示されないとき、画面が真っ暗になってしまったときは、次の点を順番に確認してください。

真っ暗な画面にメッセージや文字が表示されているときは、「Q パソコンの電源を入れても、Windows が起動しない（メッセージが表示される・音が鳴る 他）」（••▶ P.138）をご覧ください。

重要

DESKPOWER H90J9/F をお使いの方

パソコンの電源ケーブルを取り外す場合は、ホームサーバーカードの電源を切ってホームサーバー機能を必ず終了してください。ホームサーバー機能の終了については、『パソコンの準備』→「パソコンを準備する」→「電源の切り方と入れ方」の「ホームサーバー機能内蔵の機種の場合」で「電源ケーブルをコンセントから抜く場合」をご覧ください。

【電源（パソコン電源）ランプが消灯している場合】

考えられる原因	機種（対象機種）と対処
電源ケーブルが正しく接続されていない	**機種**：全機種 **対処**：いったん電源ケーブルを抜いて 3 分ほど待ち、再び接続し直してください。電源ケーブルの接続については、『パソコンの準備』→「接続する」をご覧ください。
休止状態になっている（ご自身で設定した場合）	**機種**：全機種 **対処**：電源ボタンを押して元の状態に戻してください。
周辺機器が正しく取り付けられていない	**機種**：全機種 **対処**：「Q 周辺機器を取り付けたら、動作がおかしくなった」（••▶ P.153）をご覧になり、周辺機器が正しく取り付けられているか確認してください。

【電源（パソコン電源）ランプが点灯している場合】

電源（パソコン電源）ランプの色を確認してください。

■ 電源（パソコン電源）ランプがオレンジ色に点灯している

考えられる原因	機種（対象機種）と対処
パソコンの省電力機能が働いている	**機種**：全機種 **対処**：キーボードのスタンバイボタン、またはパソコンの電源ボタンを押してください。省電力機能が働いた状態から復帰します。 このとき、電源ボタンを 4 秒以上押さないでください。パソコンの電源が切れ、ハードディスクに保存されていない作業中のデータは失われます。

■ 電源（パソコン電源）ランプが緑色に点灯している

考えられる原因	機種（対象機種）と対処
「電源オプションのプロパティ」で設定した「モニタの電源を切る」が実行されている	**機種**：全機種 **対処**：マウスを動かして数秒待つか、キーボードの【↑】【↓】【→】【←】や【Shift】のどれかを押してください。
ディスプレイのケーブルが正しく接続されていない（ディスプレイの電源ランプが消灯している場合）	**機種**：H シリーズ、CE シリーズ **対処**：ディスプレイのケーブルがパソコン本体に正しく接続されているか確認してください。 ・19 型液晶ディスプレイ、17 型ワイド液晶ディスプレイ（TV チューナー内蔵）、17 型液晶ディスプレイ（TV チューナー内蔵）をお使いの方 ディスプレイの AC アダプタの接続も確認してください。 上記を確認してもディスプレイの電源ランプが緑色に点灯しないときは、ディスプレイの電源ボタンを押して電源を入れた後、パソコンを再起動してください。 再起動については、「Q どうしても電源が切れない」（▶ P.145）をご覧ください。 ケーブルやACアダプタの接続については、『パソコンの準備』→「接続する」をご覧ください。
周辺機器が正しく取り付けられていない	**機種**：全機種 **対処**：「Q 周辺機器を取り付けたら、動作がおかしくなった」（▶ P.153）をご覧になり、周辺機器が正しく取り付けられているか確認してください。

7

考えられる原因	機種（対象機種）と対処
「おやすみディスプレイ」の機能が働いている （「おやすみディスプレイ」を設定した方のみ）	**機種**：T シリーズ、H シリーズ、CE シリーズ（15 型液晶ディスプレイを除く） **対処**：マウスを動かして数秒待つか、キーボードの【↑】【↓】【→】【←】や【Shift】のどれかを押してください。【Ctrl】と【Alt】を押しながら【O】を 1 回押すと、おやすみディスプレイの設定を解除できます。詳しくは「PowerUtility －テレビ録画予約機能」のヘルプをご覧ください。
リフレッシュレートや解像度が正しく設定されていない （ディスプレイの電源ランプがオレンジ色に点灯）	**機種**：H シリーズ、CE シリーズ **対処**：「リフレッシュレートを変更する」（••▶ P.138）をご覧になり、設定を変更してください。その後、「解像度や発色数の設定が変わっていませんか？」（••▶ P.140）の手順をご覧になり、ご購入時の解像度と発色数に設定してください。

電源（パソコン電源）ランプが点灯している場合は、ディスプレイに関する次の原因も考えられます。上記とあわせて確認してください。

考えられる原因	機種（対象機種またはディスプレイ）と対処
パソコンモードからテレビモードに切り換わっている	**機種**：17型ワイド液晶ディスプレイ（TVチューナー内蔵） **対処**：ディスプレイ前面のモード切換ボタンを押して、パソコンモードに切り換えてください。パソコンモードへ切り換わりますと、画面右上に緑色で「PC」と表示されます。
	機種：17型液晶ディスプレイ（TVチューナー内蔵） **対処**：ディスプレイ前面の入力切換ボタンを押して、PC入力を選択してください。PC入力が選択されますと、画面右上に緑色で「PC」と表示されます。
	機種：Tシリーズ **対処**：パソコン／テレビボタンを押して、パソコンモードに切り換えてください。 パソコンモードへ切り換わりますと、画面右上に緑色で「PC」と表示されます。
	機種：LX70J、LX70JNまたはLX50JNでインスタントテレビ機能ありを選択 **対処**：テレビ電源ボタンを押して、パソコンモードに切り換えてください。

ここまで確認してもパソコンが起動しない場合は、電源ケーブルを接続しなおすと問題が解決する場合があります。
電源ケーブルを取り外したら、3 分以上そのままの状態にしてください。
その後もう一度ケーブルを接続し、電源を入れてください。

Q パソコンが起動しない、画面に何も映らない［BIBLO］

A 電源を入れても何も表示されないとき、画面が真っ暗になってしまったときは、次の点を順番に確認してください。

真っ暗な画面にメッセージや文字が表示されているときは、「Q パソコンの電源を入れても、Windows が起動しない（メッセージが表示される・音が鳴る 他）」（••▶ P.138）をご覧ください。

【バッテリだけでお使いの場合】

AC アダプタを接続してください。これで画面が表示できれば、バッテリが原因とも考えられます。

「Q バッテリが充電されない［BIBLO］」（••▶ P.156）もあわせてご覧ください。

考えられる原因	対処
バッテリが切れている	『パソコンの準備』→「接続する」をご覧になり、AC アダプタを接続して充電してください。バッテリを充電後、パソコンを使わなかった場合でも、約 1ヶ月ほどで自然放電してしまいます。 ご使用の際は、バッテリの残量に注意してください。 バッテリ残量の表示については、(サービスアシスタント）のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「7．パソコン本体の取り扱い」→「バッテリ」→「バッテリで使う」をご覧ください。
バッテリが外れている	バッテリがしっかり取り付けられているか確認してください。 バッテリの取り付け方をあらかじめ確認したい場合は、(サービスアシスタント）のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「7.パソコン本体の取り扱い」→「バッテリ」→「内蔵バッテリパックを交換する」をご覧ください。

【状態表示LED/LCDの ⏻ が消灯している場合】

【電源ボタンの周囲が点灯していない場合（NBシリーズ、LOOXシリーズをお使いの方)】

パソコンの電源が入っていません。

考えられる原因	対処
AC アダプタが外れている	『パソコンの準備』→「接続する」をご覧になり、AC アダプタを正しく接続してください。
電源が入っていない	電源ボタンをしっかりと押して電源を入れてください。
休止状態になっている （ご自身で設定した場合）	電源ボタンを押して元の状態に戻してください。
周辺機器が正しく取り付けられていない	「Q 周辺機器を取り付けたら、動作がおかしくなった」（••▶ P.153）をご覧になり、周辺機器が正しく取り付けられているか確認してください。

各ボタンやスイッチの場所については、『パソコンの準備』→「各部名称」をご覧ください。

【状態表示 LED/LCD の ⏻ が点灯または点滅している場合】
【電源ボタンの周囲が点灯または点滅している場合（NB シリーズ、LOOX シリーズをお使いの方）】

■ ⏻ が点灯している（電源ボタンの周囲が点灯している）

考えられる原因	対処
省電力機能が働いている	フラットポイントに触れてください。
ディスプレイの明るさが正しく設定されていない	【Fn】を押しながら【F6】、または【Fn】を押しながら【F7】を押して調整してください。
外部ディスプレイを使うように設定されている	【Fn】を押しながら【F10】を何度か押してください。 【Fn】を押しながら【F10】を押すたびに、外部ディスプレイ表示と液晶ディスプレイ表示が切り替わります。
テレビにのみ表示するよう設定されている	テレビを接続し、もう一度ディスプレイの表示を切り替えてください。切り替え方法については、次の POINT「ディスプレイの表示を切り替える」をご覧ください。

■ ⏻ が点滅している（電源ボタンの周囲が点滅している）

考えられる原因	対処
スタンバイ状態になっている（省電力機能が働いている）	電源ボタンを押してください。 このとき、電源ボタンを 4 秒以上押さないでください。パソコンの電源が切れ、ハードディスクに保存されていない作業中のデータは失われます。

また、パソコンの電源を入れ直すと画面が表示される場合もあります。「Q どうしても電源が切れない」（••▶ P.145）をご覧になり、電源を入れ直してください。

ディスプレイの表示を切り替える

パソコンにテレビを接続した後、次の手順を参考にし、操作を行ってください。
詳しくは、（サービスアシスタント）のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「7．パソコン本体の取り扱い」→「画面（ディスプレイ）」→「表示するディスプレイを切り替える」をご覧ください。

1. デスクトップの何もないところを右クリックし、表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。
2. 「設定」タブをクリックし、「詳細設定」をクリックします。
3. ［「画面」タブがある場合］
   1. 「画面」タブをクリックします。
   2. 表示するディスプレイを選びます。
   3. 「OK」をクリックします。
   4. 「ATI プロパティページ」ウィンドウが表示されたら、「はい」をクリックしてください。

   ［「Intel(R)Extreme Graphics 2 for Mobile」タブがある場合］
   1. 「Intel(R)Extreme Graphics 2 for Mobile」タブ→「グラフィックのプロパティ」→「デバイス」タブの順にクリックします。
   2. 表示するディスプレイを選びます。
   3. 「適用」をクリックし、ディスプレイを切り替えます。
   4. 「OK」をクリックし、すべてのウィンドウを閉じます。

   ［「GeForce4 420 Go 32M」タブがある場合］
   1. 「GeForce4 420 Go 32M」タブ→「nView」の順にクリックします。
   2. 表示するディスプレイを選びます。
   3. 「OK」をクリックし、ディスプレイを切り替えます。
   4. 「OK」をクリックします。

Q パソコンの電源を入れると、再起動を繰り返す

A Windows のセットアップの途中で電源を切ってしまうと、次に電源を入れたとき、途中で画面が暗くなり電源が切れる→自動で電源が入る、という動作を繰り返し、Windows が起動しなくなる場合があります。
次の手順に従って電源を切り、パソコンをご購入時の状態に戻してください。

1. FUJITSU のロゴ画面が表示されているときに、パソコンの電源を強制的に切ります。
   電源（パソコン電源）ボタンを 4 秒以上押し続けてください。
2. 「パソコンをご購入時の状態に戻す（リカバリ）」（••▶ P.89）をご覧になり、パソコンをご購入時の状態に戻します。

Q 音が出ない

A （サービスアシスタント）のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「11. トラブルシューティング」→「サウンド／ CD ／ DVD」→「音が出ない」をご覧になり、対処してください。

パソコン本体にある音量ボリュームやキーボードにある音量調節ボタンなどで音量を調節したり、キーボードにある Mute（消音）ボタンなどでミュートを解除したりすると音が出る場合があります（ボタン名や操作のしかたは機種により異なります）。

7

Q パソコンの電源を入れても、Windows が起動しない（メッセージが表示される・音が鳴る 他）

A パソコンの電源を入れると、メッセージが表示されたり、「ピッ」というようなビープ音が鳴ったりして Windows が起動しない場合があります。

電源を入れたとき、途中で画面が暗くなり電源が切れる→自動で電源が入る、という動作を繰り返す場合は、「Q パソコンの電源を入れると、再起動を繰り返す」（••▶ P.137）をご覧ください。

■「規定外の信号です」などと表示された

DESKPOWER の液晶ディスプレイや接続している外部ディスプレイに「規定外の信号です」「規定外の信号が入力されました」と表示されている場合は、解像度やリフレッシュレートが高く（または低く）設定されている可能性があります。「④ リフレッシュレートを変更する［DESKPOWER］」（••▶ P.138）や「⑤ 解像度や発色数を変更する」（••▶ P.139）をご覧になり、設定を変更してください。

■「システムのインストールが完全ではありません」などと表示された

Windows のセットアップの途中で電源を切ってしまうと、次に電源を入れたとき、途中で「システムのインストールが完全ではありません」などというメッセージが表示され、Windows が起動しなくなる場合があります。次の手順に従って電源を切り、パソコンをご購入時の状態に戻してください。

1 **「システムのインストールが完全ではありません」などというメッセージが表示されているときに、パソコンの電源を強制的に切ります。**

電源（パソコン電源）ボタンを 4 秒以上押し続けてください。

2 **「パソコンをご購入時の状態に戻す（リカバリ）」（••▶ P.89）をご覧になり、パソコンをご購入時の状態に戻します。**

■ その他のメッセージが表示された

フロッピーディスクをセットしたままになっている場合は、取り出して【Enter】を押してください。それでも Windows が起動しない場合は、「Q どうしても電源が切れない」（••▶ P.145）をご覧になり、いったんパソコンの電源を切った後、次の①〜⑥を順番に試してください。

① パソコンとディスプレイの接続を確認する［DESKPOWER H シリーズ、CE シリーズ］

『パソコンの準備』→「接続する」をご覧になり、パソコンとディスプレイを正しく接続してください。

② パソコンと周辺機器の接続を確認する

パソコンに周辺機器を接続している場合は、いったんすべての周辺機器を取り外してください。その後、パソコンの電源を入れ直してください。

③ BIOS をご購入時の状態に戻す

「Q BIOS をご購入時の状態に戻す」（••▶ P.160）をご覧になり、BIOS の設定を戻してください。

④ リフレッシュレートを変更する［DESKPOWER］

1. 「Q どうしても電源が切れない」（••▶ P.145）をご覧になり、パソコンの電源を切ります。
2. パソコンの電源を入れます。

3. FUJITSU のロゴ画面の下にメッセージが表示されたら、【F8】を押します。
軽くキーを押しただけでは認識されない場合があります。画面が切り替わるまで何度も押してください。
4. 【↑】【↓】で「VGA モードを有効にする」を選択し、【Enter】を押します。
5.「オペレーティング システムの選択」画面でお使いの OS が選択されていることを確認し、【Enter】を押します。画面が表示されるまでお待ちください。
6. 画面の何もないところを右クリックし、表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。
7.「設定」タブをクリックし、「詳細設定」をクリックします。
8.「モニタ」タブをクリックし、「画面のリフレッシュレート」の右の▼をクリックしてリフレッシュレートの値を選択します。
9.「OK」をクリックします。
10.「モニタの設定」ウィンドウが表示された場合は、「はい」をクリックします。
「画面のプロパティ」ウィンドウに戻ります。
11.「OK」をクリックします。
12.「スタート」ボタン→「終了オプション」の順にクリックします。
13.「再起動」をクリックします。
パソコンが再起動します。

⑤ 解像度や発色数を変更する

「④ リフレッシュレートを変更する［DESKPOWER］」（••▶ P.138）の手順 1 〜 5 を行ってパソコンを起動した後、画面が表示されたら、「解像度や発色数の設定が変わっていませんか？」（••▶ P.140）の手順をご覧になり、ご購入時の解像度と発色数に設定してください。

⑥ パソコンをご購入時の状態に戻す

上記のことを試してもエラーメッセージが表示されたり、Windowsが正常に起動しなかったりする場合は、Windows のシステムが壊れている可能性があります。リカバリディスクを使って、パソコンをご購入時の状態に戻してください。詳しくは、「パソコンをご購入時の状態に戻す（リカバリ）」（••▶ P.89）をご覧ください。

■ メッセージが表示されず、ビープ音が鳴っている

メモリが正しく取り付けられていないか、このパソコンでサポートしていないメモリを取り付けている可能性があります。
メモリを増設している場合は、いったん電源を切り、増設したメモリが正しく取り付けてあるか確認してください。

正しく取り付けても鳴る場合や、メモリを増設していないのに鳴る場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元にもご連絡ください。弊社純正品以外のメモリを増設している場合は、製造元・販売元にもご確認ください。
「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」については、『サポート＆サービスのご案内』をご覧ください。

Q 画面が乱れる（画像が揺れる、色がずれる、画像がちらつく、画像がぼやけるなど）

A 次の点を順番に確認してください。

■ 近くにテレビなどの磁気を発生するもの、携帯電話やトランシーバーなどの電波を発生するものがありませんか？

これらの磁気や電波を発生するものは、ディスプレイやパソコン本体に影響が出ない場所に置いてください。
高圧電線の近くにお住まいの場合、ディスプレイやパソコン本体の置き場所を変えることによって、画面の乱れが直る場合もあります。

■ ディスプレイのケーブルは正しく接続されていますか？［DESKPOWER H シリーズ、CE シリーズ］

『パソコンの準備』→「接続する」をご覧になり、ディスプレイのケーブルをパソコン本体に正しく接続してください。

■ ディスプレイの調整は正しいですか？［DESKPOWER］

お使いのディスプレイに付いているボタンで調整してください。LXシリーズをお使いの方は、パソコン本体側面の明るさ調整つまみで調整してください。

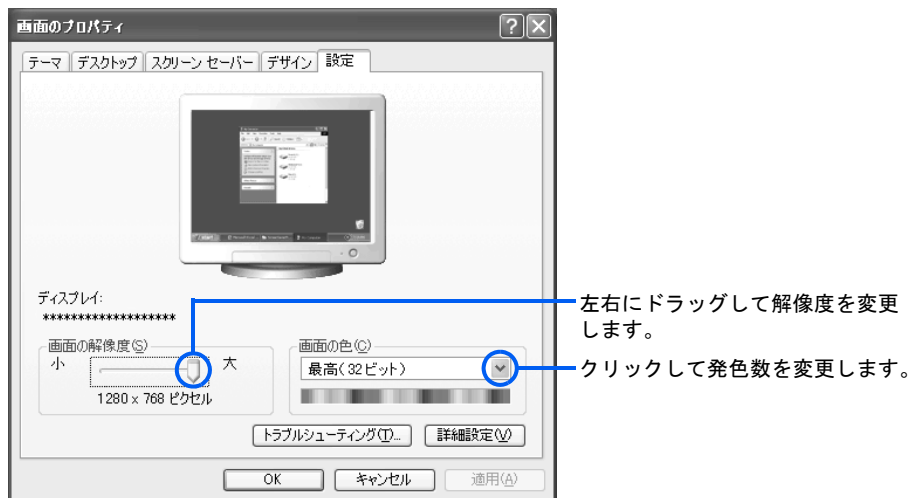
■ 解像度や発色数の設定が変わっていませんか？

解像度が低くなっていたり、発色数が少なく設定されていたりすると、画面が乱れたように感じることがあります。
次の手順に従って解像度や発色数を設定し直してください。

画面がぼやけたように見える方は［BIBLO］

BIBLO をお使いの方は、解像度を低く設定した状態で全画面表示になっているとき、画面がぼやけたように見えることがあります。
手順に従って解像度を設定し直す、または全画面表示を通常表示に切り替えてください。
全画面表示と通常表示の切り替えについては、（サービスアシスタント）のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「7．パソコン本体の取り扱い」→「画面（ディスプレイ）」→「全画面表示と通常表示を切り替える」をご覧ください。

1 デスクトップの何もないところを右クリックし、表示されるメニューから、「プロパティ」をクリックします。

2「設定」タブをクリックし、解像度や発色数を変更します。

（画面は機種や状況により異なります）

ご購入時に設定されている解像度と発色数については、「［ご購入時の解像度と発色数］」（••▶ P.142）をご覧ください。
表示可能な解像度と発色数については、（サービスアシスタント）のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「7.パソコン本体の取り扱い」→「画面（ディスプレイ）」→「画面の解像度と発色数について」をご覧ください。

3 設定が終了したら「OK」をクリックします。
画面にメッセージが表示された場合は、指示に従って操作してください。

POINT

「互換性の警告」ウィンドウが表示された場合は

次のように操作してください。

1.「新しい表示設定でコンピュータを再起動する」をクリックして◉にし、「OK」をクリックします。
2.「システム設定の変更」ウィンドウで「はい」をクリックします。

パソコンが再起動します。これで設定は終了です。手順 4、5 は必要ありません。

4「スタート」ボタン→「終了オプション」の順にクリックします。

5「再起動」をクリックします。
パソコンが再起動します。

7

［ご購入時の解像度と発色数］

機種名（品名）	解像度	発色数
DESKPOWER T シリーズ	1280 × 768	最高（32 ビット）
DESKPOWER LX シリーズ、H90J9/F、H70J9/S、H70J9、H50JV、H50J7、CE70J9、CE70J7、CE50J9、CE50J7/M、CE50J7/S、CE50J7、CE55J7/C	1280 × 1024	最高（32 ビット）
DESKPOWER CE50J5	1024 × 768	最高（32 ビット）
DESKPOWER H90JN、H70JN、CE70JN、CE50JN		
19 型液晶ディスプレイの方	1280 × 1024	最高（32 ビット）
17 型ワイド液晶ディスプレイの方	1280 × 768	最高（32 ビット）
17 型液晶ディスプレイの方	1280 × 1024	最高（32 ビット）
15 型液晶ディスプレイの方	1024 × 768	最高（32 ビット）
ディスプレイなしの方	［注］	［注］
BIBLO NX シリーズ	1440 × 900	最高（32 ビット）
BIBLO NH シリーズ	1400 × 1050	最高（32 ビット）
BIBLO NB シリーズ、MG シリーズ	1024 × 768	最高（32 ビット）
BIBLO LOOX シリーズ	1280 × 768	最高（32 ビット）

注：お使いのディスプレイにより表示できる解像度と発色数が異なります。お使いのディスプレイのマニュアルをご覧ください。

■ ゲームソフトなどをインストールしませんでしたか？

ゲームソフトなどをインストールした場合、このパソコンに合わないディスプレイドライバに置き換えられた可能性があります。
「Q ドライバを更新する」（••▶ P.157）をご覧になり、ディスプレイドライバを設定し直してください。

以上のすべての項目を確認しても画面の表示がおかしい場合は、（サービスアシスタント）のトップ画面で「ハードウェアの診断」をクリックし、お使いのパソコンの状態をチェックしてください。
ハードウェアなどに問題がなかった場合は、お使いのパソコンをご購入時の状態に戻してください。詳しくは、「パソコンをご購入時の状態に戻す（リカバリ）」（••▶ P.89）をご覧ください。

Q 操作中に画面が動かなくなった

A 操作していたソフトウェアを強制終了してください。

ソフトウェアが強制終了できない場合は、強制的に再起動したり、強制的に電源を入れ直します。

重要

直前の作業内容は保存されません

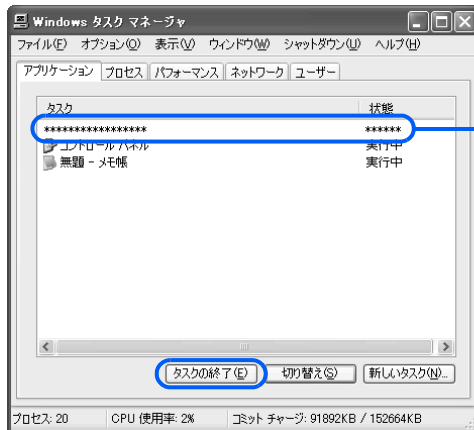
この手順でソフトウェアを強制終了した場合や、電源を切った場合は、直前の作業内容は保存されません。

■ ソフトウェアを強制終了する

1 【Ctrl】と【Alt】を押しながら【Delete】を 1 回押します。

「Windows タスクマネージャ」ウィンドウが表示されます。

2 「アプリケーション」タブをクリックします。

3 動かなくなったソフトウェアをクリックし、「タスクの終了」をクリックします。

（画面は機種や状況により異なります）

4 終了を確認するメッセージが表示された場合は、「すぐに終了」をクリックします。

選んだソフトウェアが強制終了されます。ソフトウェアによっては、強制終了に 20 ～ 30 秒かかることがあります。

5 「この問題を Microsoft に報告してください」というメッセージが表示された場合は、「エラー報告を送信する」または「送信しない」をクリックします。

メッセージについて詳しくは、「「・・・この問題を Microsoft に報告してください。・・・」と表示された」（••▶ P.149）をご覧ください。

6 「Windows タスクマネージャ」ウィンドウの ✕ をクリックします。

ソフトウェアが強制終了できない場合は、次の「Windows を強制的に再起動する」（••▶ P.144）をご覧になり、Windows を強制的に再起動してください。

■ Windows を強制的に再起動する

1 [Ctrl] と [Alt] を押しながら [Delete] を 1 回押します。

「Windows タスクマネージャ」ウィンドウが表示されます。

2 「シャットダウン」メニュー→「再起動」の順にクリックします。

「シャットダウン」メニューから「再起動」が選べないときは、次の POINT「「シャットダウン」メニューから選べないときは」をご覧ください。

3 終了を確認するメッセージが表示された場合は、「すぐに終了」をクリックします。

前記の手順で再起動ができない場合は、「Q どうしても電源が切れない」（••▶ P.145）をご覧になり、電源を入れ直してください。

「シャットダウン」メニューから選べないときは

画面が見えない、マウス／フラットポイントが使えないなどの理由でメニューから「再起動」が選べないときは、次の手順に従ってキーボードで操作してください。

1. 「Windows を強制的に再起動する」の手順 1 の後、[Alt] を押しながら [U] を押します。
2. [R] を押します。
   パソコンが再起動します。
3. 前記の手順で再起動ができない場合は、「Q どうしても電源が切れない」（••▶ P.145）をご覧になり、電源を入れ直してください。

ディスクをチェックする

ソフトウェアや Windows を強制終了した場合は、以下の手順でドライブをチェックすることをお勧めします。

1. 実行中のプログラムをすべて終了します。
2. デスクトップの（マイコンピュータ）をクリックします。
3. プログラムをインストールしてあるドライブ（ご購入時の状態は（C:））を右クリックし、表示されたメニューから「プロパティ」をクリックします。
4. 「ツール」タブをクリックし、「エラーチェック」の「チェックする」をクリックします。
5. 「ディスクのチェック ローカルディスク」ウィンドウで「ファイルシステムエラーを自動的に修復する」の□をクリックして☑にし、「開始」をクリックします。

   【C ドライブをチェックする場合】
   「次回のコンピュータの再起動後に、このディスクの検査を実行しますか ?」と表示されます。
   「はい」をクリックし、「スタート」ボタン→「終了オプション」の順にクリックします。
   その後「再起動」をクリックします。
   Windows が再起動し、エラーのチェックが行われます。

   【C ドライブ以外をチェックする場合】
   ドライブのチェックが開始されます。終了すると「ディスクの検査が完了しました。」と表示されるので、次のように操作します。
   1. 「OK」をクリックします。
   2. 「ローカルディスクのプロパティ」ウィンドウで「OK」をクリックします。
   3. 「マイコンピュータ」ウィンドウの をクリックします。

Q どうしても電源が切れない

A 「Q 操作中に画面が動かなくなった」（••▶ P.143）の操作を行っても問題が解決しない場合は、パソコンの電源を強制的に切り、その後もう一度電源を入れてください。

重要

強制的に電源を切る前に

次の点に注意してください。

・ハードディスクが動作しているときに電源を切ってしまうと、ファイルが失われたり、ハードディスクが壊れる可能性があります。
強制的に電源を切るときは、DESKPOWER はパソコン本体前面の 、BIBLO は状態表示 LED/LCD の や が、ハードディスクが動作しているかどうかの目安となります。点灯や点滅をしている場合は、ハードディスクのデータを読み書きしている可能性があるため、しばらく待つことをお勧めします。
上記以外にも、ハードディスクが動いていると思われる場合（音がするなど）は、動作が止まるまでしばらく待つことをお勧めします。

・ご購入後、初めて電源を入れた直後に電源を切ると、パソコンをお使いになれなくなる場合があります。Windows のセットアップが終わるまでは、電源を切らないでください。
画面が映らないなど、画面が確認できない場合は、15 分ほど待ってから電源を切るようにしてください。

1. 【Ctrl】と【Alt】を押しながら【Delete】を 1 回押します。

2. パソコンの電源を切ります。
電源（パソコン電源）ボタンを 4 秒以上押し続けてください。

3. この後電源を入れ直す場合は、10 秒以上待ってください。

「Checking file system on C:」と表示された場合

ソフトウェアを強制終了した後、または強制終了できずに電源を切った後は、次に Windows を起動したときに「Checking file system on C:」と表示される場合があります。
このとき、自動的に Windows やハードディスクの状態がチェックされ、必要に応じて修復が行われます。
エラーがない場合はそのままお使いください。エラーが表示された場合は、メッセージに従って修復してください。

Q マウスポインタが動かない、キーボードが操作できない

A 次の点を確認してください。

■ ソフトウェアの操作中でしたか?

ソフトウェアを強制終了し、パソコンを再起動してください。
「Q 操作中に画面が動かなくなった」(••▶ P.143)

■ キーボードの文字は入力できますか?

「画面で見るマニュアル」の「トラブルシューティング」に、キーボード入力についての説明があります。

- 押したキーの刻印と違う文字や数字、記号が入力されてしまう
- テンキーの数字が入力できない

などの問題を解決したいときは、(サービスアシスタント)のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「11.トラブルシューティング」→「キーボード/文字入力」をご覧ください。

[DESKPOWER の場合]

■ ワイヤレスキーボードやワイヤレスマウスが使えなくなっていませんか?

「Q ワイヤレスキーボードやワイヤレスマウスが使えなくなった[DESKPOWER]」(••▶ P.154)もあわせてご覧になり、確認してください。

■ 光学式のマウスが使えなくなっていませんか?

光学式のマウスは、次のようなものの表面では正しく動作しない場合があります。マウスを使う場所を変えてみてください。

- 鏡やガラスなど、反射しやすいもの
- 光沢があるもの
- 濃淡のはっきりした紋模様や柄があるもの(木目調など)
- 網点の印刷物など、同じパターンが連続しているもの

■ ワイヤレスマウスのすべりが悪くなっていませんか?

マウスの裏にあるボールが汚れていたり、ローラー部分にゴミがたまったりすると、すべりが悪くなりマウスポインタがなめらかに動かせなくなる場合があります。
ボール式のマウスのお手入れのしかたについては、(サービスアシスタント)のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「7.パソコン本体の取り扱い」→「お手入れ」→「FMVのお手入れ」をご覧ください。

■ 光学式のマウスは正しく接続されていますか? キーボードは正しく接続されていますか?

マウスやキーボードの接続がゆるんでいると、操作ができなくなります。
キーボードが使える状態なら、次の手順に従ってキーボードで Windows を終了し、パソコンの電源を切ってください。その後、接続し直してください。

1. **[Windows] を押すか、または [Ctrl] を押しながら [Esc] を押します。**
   「スタート」メニューが表示されます。
2. **[U] を押します。**
   「コンピュータの電源を切る」ウィンドウが表示されます。
3. **[U] を押します。**
   電源が切れます。

マウスもキーボードも使えない場合は、「Q どうしても電源が切れない」（••▶ P.145）をご覧になり、パソコンの電源を切った後にキーボードとマウスを接続し直してください。
マウス、キーボードの接続方法については、『パソコンの準備』→「接続する」をご覧ください。

■ **スクロールボタン（マウスの真ん中のボタン）を押していませんか？**
クリックしてみてください。マウスポインタが表示される（動かせる）場合があります。
知らずにスクロールボタンを押してしまった場合、マウスポインタが変わってしまい、好きな方向に動かせないように見える場合があります。
添付されているマウスのスクロールボタンの使い方については、（サービスアシスタント）のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「7.パソコン本体の取り扱い」→「マウス／フラットポイント」→「マウスを使う」をご覧ください。

[BIBLO の場合]

■ **フラットポイントが汚れていませんか？**
フラットポイントは表面の結露、湿気などにより誤動作することがあります。また、濡れた手や汗をかいた手でお使いになった場合、あるいはフラットポイントの表面が汚れている場合は、マウスポインタが正常に動作しないことがあります。
電源を切ってから、薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布で汚れを拭き取ってください。

■ **フラットポイントの設定を変更しましたか？**
USB マウスを接続した状態でフラットポイントを無効にし、その後でマウスを取り外すと、フラットポイントで操作ができなくなることがあります。
次の方法でフラットポイントを有効にすることができます。

- 【Fn】を押しながら【F4】を押す
  フラットポイントが有効の場合は「Internal pointing device:Enable」、無効の場合は「Internal pointing device:Disable」と画面に表示されます。
  ただし、「マウスのプロパティ」ウィンドウでフラットポイントの有効と無効を切り替えていた場合は、この方法で切り替えることはできません。
- 「マウスのプロパティ」ウィンドウで設定を変更する
  キー操作で切り替えられない場合は、もう一度 USB マウスを接続し、「マウスのプロパティ」ウィンドウでフラットポイントを有効にしてください。

マウスの接続方法やフラットポイントの設定変更については、（サービスアシスタント）のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「7.パソコン本体の取り扱い」→「マウス／フラットポイント」→「マウスを接続する」をご覧ください。
また、マウスを接続してお使いの場合は、「[DESKPOWER の場合]」（••▶ P.146）の項目も必要に応じてご確認ください。

POINT

BIOS セットアップのパスワードを設定した場合
スタンバイから復帰（レジューム）したとき、フラットポイントやマウスが使えない場合があります。BIOS セットアップで設定したパスワードを入力して【Enter】を押してください。

Q 操作中に突然メッセージ画面が表示された

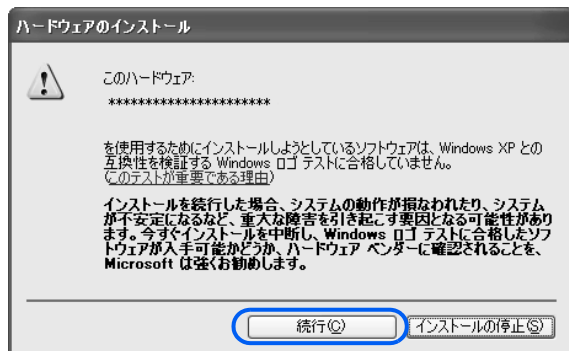
A Windows の操作中に、突然メッセージ画面が表示されることがあります。操作を続けるには、表示された内容に応じて、次のように対処してください。

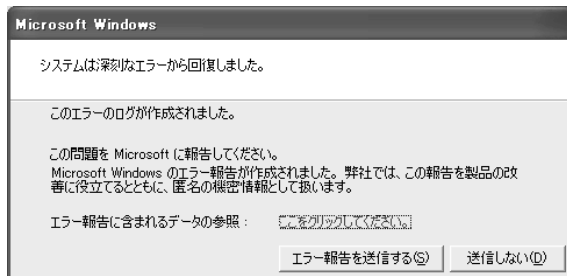
表示内容はお使いの状況によって変わります。サービスアシスタントを起動するときに表示されたメッセージについては、「「サービスアシスタント」がうまく動かないときは」（••▶ P.74）もあわせてご覧ください。

■「・・・Windows が実行する動作を選んでください。」と表示された

お使いの状況に応じた動作を選択し、「OK」をクリックします。どの動作かわからない場合は、「キャンセル」をクリックしてください。
「何もしない」をクリックした後「OK」をクリックしても、「キャンセル」と同じ操作になります。このとき、「常に選択した動作を行う。」と表示されている場合は、□をクリックして☑にすると、次からこの画面は表示されなくなります。

■「このハードウェア「（ハードウェア名など）」を使用するためにインストールしようとしているソフトウェアは・・・」と表示された

そのまま操作を続けるには、「続行」をクリックします。

■「・・・この問題を Microsoft に報告してください。・・・」と表示された

「エラー報告を送信する」をクリックすると、Microsoft 社のサーバーに接続され、エラーの詳細レポートが送信されます（送信には、インターネット接続環境が必要です）。
このレポートはインターネットを通じて匿名の機密情報として送信され、Microsoft 社の製品改善に使用されます。
エラー報告をしない場合は、「送信しない」をクリックします。

■「デスクトップクリーンアップウィザードの開始」と表示された

「キャンセル」をクリックします。
「次へ」をクリックして実行すると、デスクトップがクリーンアップされ、使っていないショートカットがデスクトップから見えなくなります。これは「使用していないショートカット」フォルダにまとめて移動されたためです。

「デスクトップクリーンアップウィザード」を表示したくないときは

今後「デスクトップクリーンアップウィザードの開始」という画面を表示しないようにするには、次の手順に従って操作してください。

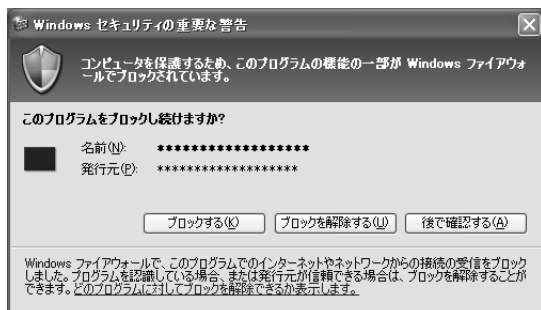
1. デスクトップの何もないところで右クリックし、表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。
2. 「画面のプロパティ」ウィンドウで「デスクトップ」タブをクリックし、「デスクトップのカスタマイズ」をクリックします。
3. 「デスクトップ項目」ウィンドウで「60 日ごとにデスクトップクリーンアップウィザードを実行する」の☑をクリックして□にし、「OK」をクリックします。
4. 「画面のプロパティ」ウィンドウで「OK」をクリックします。

■「所在地情報」のウィンドウが表示された

お使いのパソコンに所在地情報の設定がされていない場合にこのウィンドウが表示されます。お使いの通信回線にあわせて、設定を行ってください。
設定項目とその内容については、（サービスアシスタント）のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「6.インターネット／Eメール」→「インターネットに接続するための設定」→「所在地情報を設定する」をご覧ください。

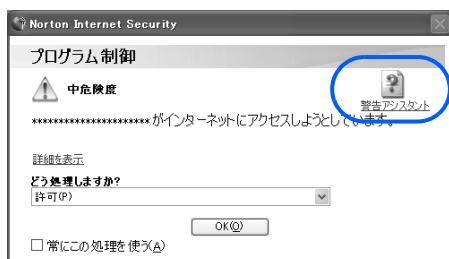
7

■「Windows セキュリティの重要な警告」のウィンドウが表示された

ソフトウェアを使用中、「Windows セキュリティの重要な警告」というウィンドウが表示される場合があります。これは、ソフトウェアがネットワークに接続しようとしていることを「Windows ファイアウォール」が感知し、接続しても問題ないかどうかを確認するためのウィンドウです。

（画面は機種や状況により異なります）

「名前」にはそのソフトウェアの名称やサービス名、「発行元」にはソフトウェアメーカーの名前が表示されます。ネットワークに接続しても問題ないとお客様ご自身が判断した場合は、「ブロックを解除する」をクリックしてください。表示されたソフトウェアがネットワークに接続しないようにするには、「ブロックする」をクリックしてください。

■「プログラム制御」のウィンドウが表示された

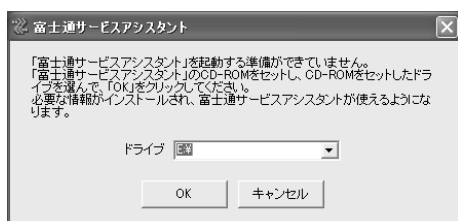
「Norton Internet Security」というソフトウェアをお使いの場合は、インターネットへのアクセスが監視されているためにこのウィンドウが表示されます。操作を進めるためには、ウィンドウが表示されたソフトウェアごとに適切な処理を選ぶ必要があります。
処理のしかたについては、「警告アシスタント」をクリックし「インターネットアクセス制御警告」についての説明をご覧になるか、必要に応じて「Norton Internet Security」のヘルプをご覧になり、ご自身で判断してください。
「Norton Internet Security」については、（サービスアシスタント）のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「10. 添付ソフトウェア一覧（カテゴリ別）」→「インターネット」→「インターネットのセキュリティ対策をする」→「Norton Internet Security」をご覧ください。

「updatenv.exe」、「MyMediaServer.exe」について

「updatenv.exe」は、「アップデートナビ」が使用しているプログラムです。
「MyMediaServer.exe」は、「MyMedia」が使用しているプログラムです。
セキュリティ上の問題はありませんので、をクリックして「常にすべてのポートでこのプログラムからの接続を許可する」を選択し、「OK」をクリックして先に進んでください。

Q サービスアシスタントがうまく動かない

A 状況によって対処方法が異なります。

■「「富士通サービスアシスタント」を起動する準備ができていません」というメッセージが表示された

このパソコンに添付されている「富士通サービスアシスタント」の CD-ROM をセットし、「OK」をクリックしてください。

■ サービスアシスタントのトップ画面の項目を選んだとき、「ランタイムエラー」や「必要なファイルが壊れています」などのエラーメッセージが表示された

「Internet Explorer」の「ファイル」メニューをクリックしてください。

「オフライン作業」の前にチェックが付いていると、エラーメッセージが表示されることがあります。

チェックが付いていた場合は、「オフライン作業」をクリックしてチェックを外します。

■ どうしてもサービスアシスタントが起動しない

サービスアシスタントをいったん削除し、再インストールすることで解決する場合があります。

「コントロールパネル」にある「プログラムの追加と削除」機能でサービスアシスタントを削除し、再インストールしてください。

このとき、「コンピュータの管理者」のユーザーアカウントで作業を行ってください。ユーザーアカウントが「制限ユーザー」の場合、ソフトウェアを削除できない場合があります。

サービスアシスタントの削除から再インストールまでの流れは、次の手順をご覧ください。

1. 起動しているソフトウェアをすべて終了します。
2. 「スタート」ボタン→「コントロールパネル」の順にクリックします。
3. 「プログラムの追加と削除」をクリックします。
4. 一覧から「富士通サービスアシスタント（マニュアル＆サポート）」をクリックします。
5. 「変更と削除」（または「削除」）をクリックし、画面の指示に従ってソフトウェアを削除します。
6. ソフトウェアの削除が終了したら、「プログラムの追加と削除」ウィンドウで ☒ をクリックします。
7. 「コントロールパネル」ウィンドウで ☒ をクリックします。
8. 「スタート」ボタン→「終了オプション」の順にクリックします。
9. 「再起動」をクリックします。
   パソコンが再起動します。
10. 「富士通サービスアシスタント」をセットします。

7

11「富士通サービスアシスタントの準備」ウィンドウで「開始」をクリックします。

サービスアシスタントのインストールが始まります。手順 12 のウィンドウが表示されるまで、しばらくお待ちください。

12「富士通サービスアシスタントのインストールが終了しました。」ウィンドウで「いますぐ再起動する」をクリックします。

パソコンが再起動します。

■ 画面に白いウィンドウが表示された

「初めてPDF形式のマニュアルを表示するとき」(▶ P.85)をご覧になり、対処してください。

Q　周辺機器を取り付けたら、動作がおかしくなった

A　次の点を確認してください。

■ 正しく接続されていますか？

いったんパソコンと周辺機器の電源を切った後、周辺機器が正しく取り付けられているか確認してください。

■ 正しく設定されていますか？

周辺機器の設定（ドライバのインストールなど）が正しくされているか確認してください。
詳しくは、周辺機器に添付のマニュアルをご覧ください。

■ 周辺機器がお使いのパソコンに対応していますか？

周辺機器に添付のマニュアル、および（サービスアシスタント）のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「８．周辺機器の接続」をご覧ください。

ACPI について

このパソコンは、ACPI（省電力に関する電源制御規格の 1 つ）によって動作していますので、周辺機器も ACPI に対応したものをお使いください。スタンバイ状態での省電力機能のレベルのことを S1、S3 などと表します。
ACPI に対応していない周辺機器をお使いの場合は、増設した機器やパソコンが正常に動作しなくなることがあります。周辺機器が ACPI に対応しているかどうかは周辺機器の製造元にお問い合わせください。
BIBLO（LOOX を除く）は、低レベルのスタンバイ（ACPI S1）には対応していません。お使いの周辺機器が S1 にしか対応していない場合は、パソコンをスタンバイ／休止状態にしないでください。
スタンバイ／休止状態については、（サービスアシスタント）のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「7.パソコン本体の取り扱い」→「省電力機能（スタンバイ／休止状態）」→「省電力機能を使う」をご覧ください。

正常に起動したときの設定に戻す

周辺機器を取り付けた後で、Windows が起動できなくなった場合、前回正常起動時の構成を使用して、Windows を起動することができます。次の手順に従って操作してください。

1. パソコンの電源を切り、追加した周辺機器を取り外します。
2. パソコンの電源を入れます。
3. FUJITSU のロゴ画面下に、メッセージが表示されたら [F8] を押します。
4. [↑] [↓] で、「前回正常起動時の構成（正しく動作した最新の設定）」を選択し、[Enter] を押します。
5. 「オペレーティング システムの選択」画面でお使いの OS が選択されていることを確認し、[Enter] を押します。

これで、前回正常起動時の構成を利用して Windows が起動します。

7

Q ワイヤレスキーボードやワイヤレスマウスが使えなくなった［DESKPOWER］

A パソコンに添付されているワイヤレスキーボードやワイヤレスマウスをお使いの方は、次の点を確認してください。

「Q マウスポインタが動かない、キーボードが操作できない」（••▶ P.146）の対処方法も参考にしてください。

■ 液晶ディスプレイとパソコン本体が正常に接続されていますか？ また、起動時にインジケータの NumLock は点灯しましたか？（17 型ワイド液晶デイスプレイをお使いの方［DESKPOWER］）

電源を切り、パソコン本体の付属ディスプレイ専用コネクタからディスプレイのケーブルを取り外します。
その後、もう一度ディスプレイのケーブルを取り付け直してください。

■ ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスをお使いの場所は適当ですか？

パソコン設置場所やお使いの状況によっては、通信を妨げる原因となる場合があります。
『パソコンの準備』→「周辺機器の設置／設定／増設」→「ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスの設置と設定」をご覧になり、正しい配置とワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスを使用するときの注意事項を確認してください。

■ ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスに正しく電池がセットされていますか？

適切な乾電池を正しくセットする必要があります。
『パソコンの準備』→「周辺機器の設置／設定／増設」→「ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスの設置と設定」をご覧になり、セットした電池の種類・向きや寿命について確認してください。

■ 通信周波数 ／ ID は正しく設定されていますか？

お使いの状況により、通信周波数／ ID を設定し直す必要があります。
『パソコンの準備』→「周辺機器の設置／設定／増設」→「ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスの設置と設定」→「通信周波数／ ID 設定値について」をご覧になり、必要に応じてこれらの値を変更してください。

パソコンに USB 機器を接続している方は、次の点もご確認ください。

■ USB 機器のドライバはお使いの OS に対応していますか？

接続している USB 機器のドライバが正しくないと、ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスの動作に影響を与える場合があります。今お使いの OS にドライバが対応しているかどうかを確認し、対応していない場合は USB 機器のメーカーからお使いの OS に対応したドライバを入手してください。
入手したドライバをインストールするときは、現在、お使いのドライバを削除してください。

■ 液晶ディスプレイの USB コネクタに USB 機器を接続していませんか？（17 型ワイド液晶デイスプレイをお使いの方［DESKPOWER］）

USB 機器によっては、液晶ディスプレイの USB コネクタに接続すると、ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスの動作に影響を与えることがあります。その場合は、パソコン本体に接続してください。

Q ワイヤレスキーボードのキーやボタンを押していないのに、キーを押し続けた状態になったり、音量設定が不安定になったりする［DESKPOWER］

A ワイヤレスキーボードの通信状態が悪化したためです。次の点を順番に確認してください。

■ **操作中にワイヤレスキーボードを移動しましたか？**

ワイヤレスキーボードを元の位置に戻してもう一度同じキーまたはボタンを押してください。

■ **周辺の環境が変わりましたか？**

周辺の環境を確認して通信可能な状態にし、もう一度同じキーまたはボタンを押してください。周辺の環境の確認点については、DESKPOWER をお使いの方は『パソコンの準備』→「周辺機器の設置／設定／増設」→「ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスの設置と設定」をご覧ください。

Q 状態表示 LED/LCD がおかしい［BIBLO］

A 状態によって対処法が異なります。

■ **が赤く点灯／点滅している（NX シリーズ、NH シリーズ）**

バッテリの残量が少ない、バッテリが正しく充電できていない、などの原因が考えられます。ACアダプタを接続し、（サービスアシスタント）のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「7.パソコン本体の取り扱い」→「バッテリ」→「バッテリで使う」をご覧ください。

■ **や の点滅が止まらない（NB シリーズ、LOOX シリーズ）**

バッテリの残量が少ない、バッテリが正しく充電できていない、などの原因が考えられます。ACアダプタを接続し、（サービスアシスタント）のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「7.パソコン本体の取り扱い」→「バッテリ」→「バッテリで使う」をご覧ください。

■ **や の点滅が止まらない（MG シリーズ）**

バッテリの残量が少ない、バッテリが正しく充電できていない、などの原因が考えられます。ACアダプタを接続し、（サービスアシスタント）のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「7.パソコン本体の取り扱い」→「バッテリ」→「バッテリで使う」をご覧ください。

■ **CD/DVDをセットしていないのに が点滅している（状態表示LED/LCDに があるある機種のみ）**

故障ではありません。これは、Windows がパソコンに CD/DVD が入っているかどうか定期的に調べているためです。

7

Q　ハードディスクからカシャカシャという音がする［BIBLO］

A　次のような場合に、ハードディスクからカシャカシャという音がすることがあります。

- Windows を終了した直後
- スタンバイや休止状態にした直後
- パソコンの操作を一時中断した場合（ハードディスクへのアクセスが数秒間なかった場合）
- 操作を中断した状態から、再度パソコンを操作した場合
- パソコンを操作しない場合でも、常駐しているソフトウェアなどが動作した場合（ハードディスクへのアクセスがあった場合）

これはハードディスクの特性です。故障ではありませんので、そのままお使いください。

Q　バッテリが充電されない［BIBLO］

A　次のような原因が考えられます。順番に確認してください。

原因	対処
バッテリが外れている	内蔵バッテリパックの取り付け方法は、(サービスアシスタント) のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「7.パソコン本体の取り扱い」→「バッテリ」→「内蔵バッテリパックを交換する」をご覧ください。
AC アダプタが外れている	コンセントおよびパソコン本体に正しく接続し直してください。 『パソコンの準備』→「接続する」をご覧になり、ACアダプタを接続してください。
パソコン本体が熱くなり、保護機能が働いている（状態表示 LED/LCD の「バッテリ充電表示ランプ」[注] が点滅）	保護機能が働いて、充電が休止されることがあります。しばらくすると、自動的に充電が再開されます。
パソコン本体が冷たくなり、保護機能が働いている（状態表示LED/LCD の「バッテリ充電表示ランプ」[注] が点滅）	パソコンを暖かいところに置いて、AC アダプタを接続し直してください。暖かいところに移す際は、結露が発生しないようご注意ください。 バッテリの温度が 5 ℃以下になると、保護機能が働いて充電が休止されることがあります。しばらくすると、自動的に充電が再開されます。

注：機種により「バッテリ充電ランプ」／「バッテリ充電表示」／「内蔵バッテリパック充電ランプ（増設用内蔵バッテリユニット充電ランプ）」となります。

バッテリが 90%以上残っているとき

バッテリが約 90%以上残っているときは、充電を開始しない場合があります。

バッテリについては、(サービスアシスタント) のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「7.パソコン本体の取り扱い」→「バッテリ」→「バッテリで使う」をご覧ください。

3 設定を変えたいときの Q&A 集

Q ドライバを更新する

A サウンドの再生や画面表示などが正常に行われないとき、ドライバを更新すると問題が解決できる場合があります。

重要

ドライバを更新する前に

ドライバを更新する前に、起動中のソフトウェアをすべて終了させてください。
スクリーンセーバーを設定している場合は、（サービスアシスタント）のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「7.パソコン本体の取り扱い」→「画面（ディスプレイ）」→「スクリーンセーバーを設定する」をご覧になり、スクリーンセーバーを「なし」に設定してください。

■ ドライバのある場所

添付のディスク
「アプリケーションディスク 1」
または「アプリケーションディスク 2」（（Update）フォルダがある場合）

2004 年 8 月時点でのドライバが用意されています。
ご購入時のドライバとそのフォルダ名については、ディスクの中の（Indexcd）というファイルをクリックしてご確認ください。
また、ご購入時よりも新しいドライバが（Update）というフォルダの中に用意されている場合があります。（Update）フォルダもご確認になり、ドライバがある場合はこちらをお使いください。

FMV 活用サイト AzbyClub（アズビィクラブ）ホームページ（http://azby.fmworld.net/）

各ドライバは、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
ご購入時に添付されているものよりも新しいバージョンのドライバがインターネット上で公開されている場合があります。最新版のドライバについては、FMV 活用サイト AzbyClub（アズビィクラブ）ホームページ（http://azby.fmworld.net/）の「ダウンロード」をご覧ください。
「ダウンロード」については、（サービスアシスタント）のトップ画面→「インターネットのサポート情報」からもご覧いただけます。

その他

プリンタなど、このパソコンに添付されていない周辺機器のドライバについては、お使いの周辺機器のマニュアルをご覧ください。

7

■ 添付のディスクからドライバを更新する場合

(Indexcd) をクリックして開くと、次のような表が表示されます。この表から、お使いの機種に対応するドライバを調べて更新してください。

フォルダ / ファイル名	ディスク内容一覧	適応機種		
		CXXABC	CXXDE	CEXXFG
¥Atmail	@ メール	●	●	●
¥Atmenu	@ メニュー	●	●	●
¥Ezbackup	FM かんたんバックアップ	●	●	●
〜〜〜	〜〜〜	〜〜〜	〜〜〜	〜〜〜

この表は一例です。実際の表とは内容が異なります。

[表の見かた]

1 「ディスク内容一覧」欄から必要なドライバを探します。「適応機種」欄で、お使いの機種に対応しているか(●がついているか)どうかを確認してください。

2 「フォルダ / ファイル名」欄で、ドライバが入っているフォルダ名を確認します。
ドライバを更新するときはこのフォルダを開き、readme.txt や install.txt を参照してください。インストールに必要な注意事項や手順が書かれています。

インストール手順ファイル(readme.txt または install.txt)を参照してドライバを更新するとき、次の点に気をつけてください。

・ドライバは「更新」の手順に従ってください。
・フロッピーディスクを使用するように記述されていても、添付のディスクをお使いください。

「アップデートナビ」で最新のドライバを確認する

お使いのパソコンに搭載されているドライバなどの最新情報は、「アップデートナビ」で確認することもできます。更新情報の確認後、そのままインストールすることができるので便利です。
アップデートナビについては、「アップデートナビ」(••▶ P.68)をご覧ください。

Q　最小限の機能で起動する（セーフモード）

A　パソコンに何らかのトラブルが発生したときに、Windows をセーフモードで起動すると、最小限の機能で起動できます。次の手順に従って操作してください。

1　パソコンの電源を入れます。
電源が入っている場合は再起動します。

2　FUJITSU のロゴ画面の下にメッセージが表示されたら【F8】を押します。

POINT

【F8】を押すのが遅すぎた場合
セーフモードではなく、通常の状態で Windows が起動します。
次の操作を行い、手順 2（【F8】を押す）からやり直してください。
1.「スタート」ボタン→「終了オプション」の順にクリックします。
2.「再起動」をクリックします。
パソコンが再起動します。

3　【↑】【↓】で「セーフモード」を選択し、【Enter】を押します。

「前回正常起動時の構成」とは
前回正常に Windows が起動したときの設定が保存されています。
原因がよくわからない場合は、こちらを選択することをお勧めします。

4　「オペレーティング システムの選択」画面でお使いの OS が選択されていることを確認し、【Enter】を押します。
この後、「開始するにはユーザー名をクリックしてください。」というメッセージが表示された場合は、「Owner」をクリックします。

5　メッセージを確認し、「はい」をクリックします。
セーフモードで起動します。

POINT

【F8】を押しても Windows が起動してしまう場合は
次の操作でセーフモードにすることもできます。
1.「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
2.「名前」に半角英数で次のように入力し、「OK」をクリックします。
msconfig
3.「システム構成ユーティリティ」ウィンドウが表示されたら、「BOOT.INI」タブをクリックします。
4.「ブートオプション」で「/SAFEBOOT」の□をクリックして☑にし、「OK」をクリックします。
5.「システム構成」ウィンドウが表示されたら、「再起動」をクリックします。
パソコンが再起動します。この後、「開始するにはユーザー名をクリックしてください。」というメッセージが表示された場合は、「Owner」をクリックします。
6. メッセージを確認し、「はい」をクリックします。
セーフモードで起動します。
セーフモードから通常の状態に戻すときは、次の操作を行います。
7. この POINT 内の手順 1、2 を実行します。

7

8.「システム構成ユーティリティ」ウィンドウが表示されたら、「全般」タブをクリックします。
9.「スタートアップの選択」で「通常スタートアップ」の○をクリックして◉にし、「OK」をクリックします。
10.「システム構成」ウィンドウが表示されたら、「再起動」をクリックします。
パソコンが再起動します。

セーフモードで起動しても問題が見つけられず、Windows が正常に起動しない場合は、お使いのパソコンをご購入時の状態に戻してください。詳しくは、「パソコンをご購入時の状態に戻す（リカバリ）」（••▶ P.89）をご覧ください。

Q BIOS をご購入時の状態に戻す

Windowsが起動しないときなど、BIOSセットアップを起動し、BIOSの設定を戻すと問題が解決できることがあります。

［DESKPOWER の場合］

1 パソコンの電源を入れ、FUJITSUのロゴ画面の下にメッセージが表示されたら [F2] を押します。

[F2] を軽く押しただけでは BIOS セットアップが起動しない場合があります。画面が切り替わるまで何度も押してください。
タイミングが合わずに BIOS セットアップが起動しなかったら、電源ボタンを 4 秒以上押して電源を切り、もう一度手順 1 から操作をやり直してください。

2 「終了」メニュー→「標準設定値を読み込む」の順に選んで [Enter] を押します。

3 [Y] を押して [Enter] を押します。

Windows XP Professional 以外の場合は、手順 5 へ進んでください。

4 「起動」メニュー→「ネットワークからの起動」を「使用する」に設定します。

5 「終了」メニュー→「変更を保存して終了する（再起動）」の順に選び、[Enter] を押します。

6 [Y] を押して [Enter] を押します。

パソコンが再起動します。

［BIBLO の場合］

1 パソコンの電源を入れ、FUJITSUのロゴ画面の下にメッセージが表示されたら [F2] を押します。

[F2] を軽く押しただけでは BIOS セットアップが起動しない場合があります。画面が切り替わるまで何度も押してください。
タイミングが合わずに BIOS セットアップが起動しなかったら、電源ボタンを 4 秒以上押して電源を切り、もう一度手順 1 から操作をやり直してください。

2 「終了」メニュー→「標準設定値を読み込む」の順に選んで [Enter] を押します。

3 「はい」を選んで [Enter] を押します。

4 「変更を保存して終了する」を選んで [Enter] を押します。

5 「はい」を選んで [Enter] を押します。

パソコンが再起動します。

Q Cドライブと D ドライブの割合を変更する［DESKPOWER Hシリーズを除く］

A 「リカバリディスク」を使ってC ドライブとD ドライブの割合を変更することができます。

次の手順を参考にしてください。
DESKPOWER H シリーズをお使いの方は、C ドライブと D ドライブの割合を変更することができません。

重要

全データが削除されます
この操作をすると、ハードディスク内のすべてのデータ（C ドライブ、D ドライブ共に）が削除されます。「バックアップをする」（••▶ P.94）をご覧になり、必要なデータはあらかじめ CD/DVD など別の媒体にバックアップをとっておいてください。

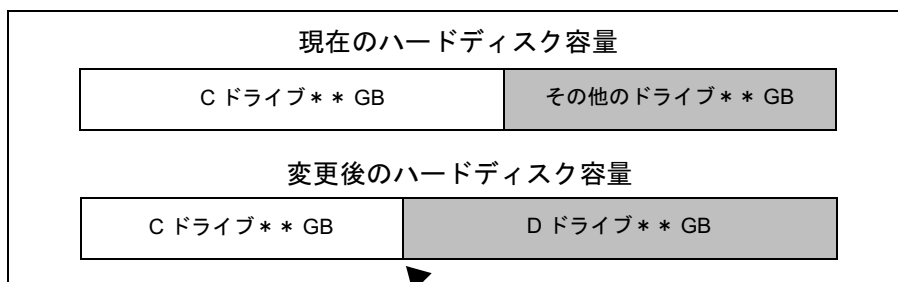
NTFS に設定されます
FAT32 に設定してある場合も、C ドライブ、D ドライブ共に自動で NTFS に変更されます。

ドライブの容量制限
C ドライブの最小サイズは 15.0GB、D ドライブの最小サイズは 10.2GB です。これより小さくすることはできません。

POINT

インスタントMyMedia対応の機種をお使いの方は［BIBLO］
CドライブとDドライブの容量を変更した場合は、通常のリカバリ手順と異なります。「インスタントMyMediaリカバリディスク」もあわせて使いますのであらかじめ用意してください。

1 「「リカバリディスク」でハードディスクの中身を復元する」（••▶ P.98）の手順1～8を行います。
2 表示された項目から「領域を設定したあと、ご購入時の状態に戻す」を選んで【Enter】を押します。
3 「領域を任意に設定して戻す」を選び、【Enter】を押します。
4 画面に表示されるインジケータで容量を確認しながら、【→】／【←】でC ドライブの容量を指定します。

7

インスタントMyMedia対応の機種をお使いの方は［BIBLO］

画面に表示される「現在のハードディスク容量」の「その他のドライブ」には、Dドライブとインスタント MyMediaの領域を合計した容量が表示されます。「変更後のハードディスク容量」には、CドライブとDドライブの容量のみが表示されます。

容量をご購入時と同じ状態にしたいときは

手順 3 に戻り、「領域をご購入時の状態にして戻す」を選択し、【Enter】を押してください。この後は、「「リカバリディスク」でハードディスクの中身を復元する」の手順 10（••▶ P.101）へ進んでください。なお、ハードディスク内のすべてのデータ（C ドライブ、D ドライブ共に）は削除されます。

5 容量を決めたら、【Enter】を押します。

6 変更後のハードディスク容量を確認し、【Y】を押します。

画面の下に「復元しています...　」と表示され、ファイルコピーが始まります。しばらくお待ちください。

7 「「リカバリディスク」でハードディスクの中身を復元する」の手順11（••▶ P.101）へ進みます。

Q 「スタート」ボタンからプログラムを表示するとき画面からはみ出さないようにする

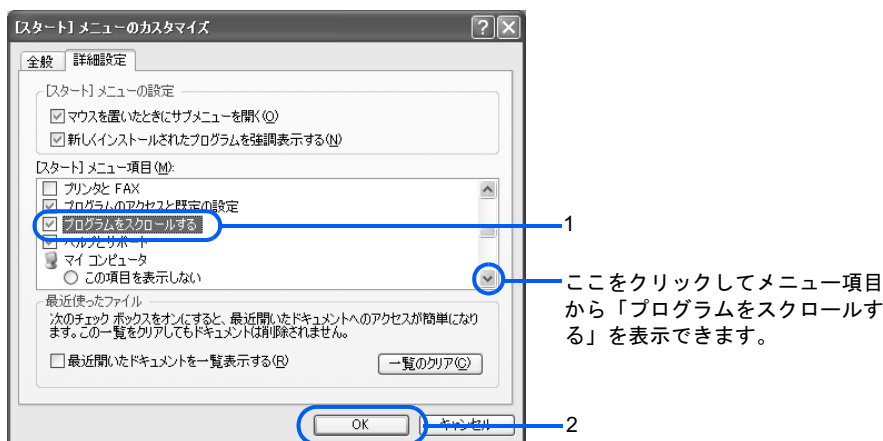
A 「すべてのプログラム」の表示方法を上下にスクロールするように変更することができます。次の手順に従って操作してください。

1 タスクバーを右クリックし、表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。

2 「タスクバーと［スタート］メニューのプロパティ」ウィンドウで「［スタート］メニュー」タブをクリックします。

3 1［スタート］メニューの左が◉になっていることを確認し、2「カスタマイズ」をクリックします。

4 「［スタート］メニューのカスタマイズ」ウィンドウで「詳細設定」タブをクリックします。

5 1「［スタート］メニュー項目」で「プログラムをスクロールする」の☐をクリックして☑にし、2「OK」をクリックします。

6 「タスクバーと［スタート］メニューのプロパティ」ウィンドウで「OK」をクリックします。

7

4 お問い合わせ先について

ソフトウェアに関するお問い合わせ

このパソコンに添付されているソフトウェアの内容については、『サポート＆サービスのご案内』をご覧になり、お問い合わせください。後から購入した市販のソフトウェアについては、各ソフトウェアの開発元にお問い合わせください。
電話番号、FAX 番号などはお間違えのないよう、お確かめのうえおかけくださるようお願いいたします。
なお、お使いの機種やモデルにより、添付されているソフトウェアは異なります。

富士通製品に関するお問い合わせ

次のような場合、『サポート＆サービスのご案内』をご覧になり、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」へご相談ください。

- パソコンを誤って壊してしまったときなどの、故障、修理に関するお問い合わせ。
- サービスアシスタントや添付のマニュアルを調べても、どうしてもパソコンの使い方がわからないとき。
- 「トラブルかなと思ったら」(▶ P.129)、「パソコンをご購入時の状態に戻す（リカバリ）」(▶ P.89) を実行しても、どうしてもパソコンの調子がおかしいとき。

重要

お使いのパソコンの修理を依頼するときは

- データをバックアップしてください。
  パソコンの修理を依頼した場合、パソコンの内容が修理前と異なり、作成したデータが何も入っていない状態や、ご購入時の状態になってしまう場合があります。大切なデータは必ず CD/DVD やフロッピーディスクなど別の媒体にバックアップをしておいてください。
- リカバリディスクをご用意ください
  パソコンの修理を依頼するとき、添付の「リカバリディスク」が必要になります。修理を依頼するときは、必ず同梱してください。

■ 保証期間について

保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合は、無料で修理いたします。
Windows が起動する場合、（サービスアシスタント）のトップ画面→「パソコンの情報」から、このパソコンの保証開始日を確認できます。表示される保証開始日を保証書に必ずご記入ください。保証書に保証開始日の記入がないと、保証期間内であっても有償修理となります。

■「QT-PC/U」で診断する

Windows が起動しなくなったときは、「富士通サービスアシスタント」に入っている「QT-PC/U」という診断プログラムでパソコンを診断してください。

診断時間は通常 5 〜 10 分程度ですが、お使いのパソコンの環境によっては長時間かかる場合があります。

診断後にエラーコードが表示された場合は、メモなどに控えておき、富士通パーソナルエコーセンターにお問い合わせください。富士通パーソナルエコーセンターについては、『サポート＆サービスのご案内』をご覧ください。

1 **パソコンの電源が入っていたら、電源を切ります。**

2 **キーボードの F12 の位置を確認します。**
パソコンの電源を入れた後、すぐこのキーを押せるようにしてください。

3 **パソコンの電源を入れ、FUJITSU のロゴ画面の下にメッセージが表示されている間に、F12 を押します。**
F12 を軽く押しただけでは認識されない場合があります。しばらくの間押してください。

4 **起動メニューが表示されたら、「富士通サービスアシスタント」をセットします。**

5 **↓ を押して「CD ／ DVD」または「CD-ROM ドライブ」を選択し、Enter を押します。**
自動的に診断が始まります。診断は 6 項目について行われ、各項目の診断結果は画面の上部に表示されます。
- エラーが発生した場合は「STATUS」部に「ERROR」と表示され、画面の「Message Display」部に 8 桁のエラーコードが表示されます。
- お問い合わせの際は、表示されたエラーコードをお知らせください。
- エラーが発生しなかった場合、「STATUS」部に「NO ERROR」と表示されます。

6 **診断が終了し、画面の「Message Display」部の一番下に次のように表示されたら、「富士通サービスアシスタント」を取り出します。**

```
Eject CD-ROM.
Press Ctrl+ALT+DEL for power off
```

7 **Ctrl と Alt を押しながら Delete を 1 回押します。**

8 **次のように表示されたら、Enter を押します。**

```
[Ctrl+ALT+DEL Push] -> Power off execute ok (ENTER)?
```

約 5 秒後に電源が切断されます。
機種によっては次のように表示され、自動的に電源が切断されない場合があります。

```
Please power off manually
```

電源（パソコン電源）ボタンを 4 秒以上押して電源を切ってください。

エラーが発生しなかったときは

「パソコンをご購入時の状態に戻す（リカバリ）」（••▶ P.89）をご覧になり、パソコンをご購入時の状態に戻してください。

第 8 章

廃棄・リサイクルについて

1 ご不要になったときの廃棄・リサイクルについて

本製品の廃棄について

本製品（付属品を含む）を廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。

液晶ディスプレイが添付または内蔵されている機種をお使いのお客様へ

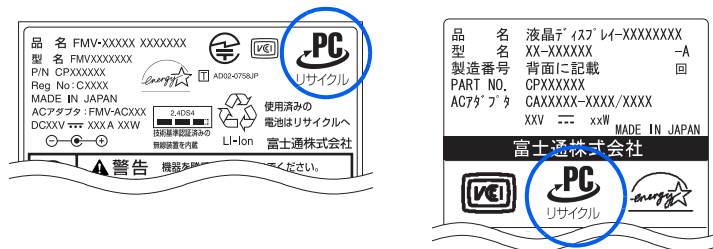
本製品の液晶ディスプレイ内の蛍光管には水銀が含まれております。

PC リサイクルマークについて

本製品の、パソコン本体の装置銘板およびディスプレイの装置銘板には、PC リサイクルマークが記載されています。
PC リサイクルマークが付いた使用済みパソコン本体およびディスプレイは、「富士通パソコンリサイクル受付センター」にて、無償で回収・再資源化いたします。

POINT

装置銘板と PC リサイクルマークについて

装置銘板とは、パソコン本体やディスプレイの背面や下面に付いている、品名や型名などが記載されているシールです。PC リサイクルマークは、通常装置銘板に記載されていますが、機種により装置銘板とは別に、PC リサイクルマークのみ記載されたシールが付いている場合もあります。

（装置銘板は機種により異なります）

個人のお客様へ

本製品を廃棄する場合は、必ず弊社専用受付窓口「富士通パソコンリサイクル受付センター」までお申込みください。
受付窓口の電話番号、お申込み方法などについては『サポート & サービスのご案内』または AzbyClub ホームページ（http://azby.fmworld.net/recycle/）をご覧ください。

法人、企業のお客様へ

法人、企業のお客様は、弊社「富士通リサイクルシステム」の「回収・処分の相談窓口」へご連絡ください。
詳しくは、ホームページ http://eco.fujitsu.com/jp/5g/products/recycleindex.html の「富士通リサイクルシステム」をご覧ください。
なお、「富士通パソコンリサイクル受付センター」は、個人のお客様専用受付窓口のため、ご利用いただけませんのでご注意ください。

パソコンの廃棄・譲渡時のハードディスク上のデータ消去に関するご注意

最近、パソコンは、オフィスや家庭などで、いろいろな用途に使われるようになってきています。これらのパソコンに入っているハードディスクという記憶装置には、お客様の重要なデータが記録されています。したがって、パソコンを譲渡あるいは廃棄するときには、これらの重要なデータ内容を消去するということが必要となります。
ところが、このハードディスク内に書き込まれたデータを消去するというのは、それほど簡単ではありません。「データを消去する」という場合、一般に

・データを「ごみ箱」に捨てる
・「削除」操作を行う
・「ごみ箱を空にする」を使って消す
・ソフトウェアで初期化（フォーマット）する
・リカバリを実行して、ご購入時の状態に戻す

などの作業をすると思いますが、これらのことをしても、ハードディスク内に記録されたデータのファイル管理情報が変更されるだけで、実際にはデータが見えなくなっているだけという状態です。
つまり、一見消去されたように見えますが、Windows などの OS からデータを呼び出す処理ができなくなっただけで、本来のデータは残っているのです。したがって、データ回復のための特殊なソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読みとることが可能な場合があります。このため、悪意のある人により、ハードディスク内の重要なデータが読みとられ、予期しない用途に利用されるおそれがあります。
パソコンの廃棄・譲渡等を行う際に、ハードディスク上の重要なデータが流出するというトラブルを回避するためには、ハードディスクに記録された全データを、お客様の責任において消去することが非常に重要となります。消去するためには、専用ソフトウェアやサービス（有料）を利用することをお勧めします。また、廃棄する場合は、ハードディスク上のデータを金槌や強磁気により物理的・磁気的に破壊することをお勧めします。
なお、ハードディスク上のソフトウェア（OS、ソフトウェアなど）を削除することなくパソコンを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があるため、十分な確認を行う必要があります。
このパソコンには、パソコンの廃棄・譲渡時のデータ流出というトラブルを回避する安全策の一つとして、専用ソフトウェア「ハードディスクデータ消去」が添付されています。「ハードディスクデータ消去」は、Windows などの OS によるファイル削除や初期化と違い、ハードディスクの全領域について、元あったデータに固定パターンを上書きするため、データが復元されにくくなります。

ただし、「ハードディスクデータ消去」で消去した場合でも、特殊な設備や特殊なソフトウェアの使用によりデータを復元される可能性はゼロではありませんので、あらかじめご了承ください。

「ハードディスクデータ消去」の使い方

「ハードディスクデータ消去」を実行する前に、次の点にご注意ください。

- 必要なデータはバックアップしてください。
- データ消去終了まで、数時間かかります。
- 途中で電源を切らないでください。ハードディスクが壊れる可能性があります。
- BIBLO の場合、必ず AC アダプタを使用してください。
- 周辺機器は取り外してください。
- 「リカバリディスク」を用意してください。
- ご購入時に取り付けられている内蔵ハードディスクのみ消去できます。

準備ができたら、次の手順にしたがって、「ハードディスクデータ消去」を実行します。

1 パソコンの電源が入っていたら、電源を切ります。

2 キーボードの【F12】の位置を確認します。

パソコンの電源を入れた後、すぐこのキーやボタンを押せるようにしてください。

3 パソコンの電源を入れ、FUJITSU のロゴ画面の下にメッセージが表示されている間に、【F12】を押します。

【F12】やボタンを軽く押しただけでは認識されない場合があります。しばらくの間押してください。
しばらくすると、起動メニューが表示されます。

4 「リカバリディスク」をセットします。

ディスクが認識されるまで 10 秒ほど待ってから、次の手順に進んでください。

5 【↓】を押して次の項目を選択し、【Enter】を押します。

・DESKPOWER シリーズをお使いの方・・・・・・CD/DVD
・BIBLO シリーズをお使いの方・・・・・・CD-ROM ドライブ
しばらくすると、「リカバリメニュー」が表示されます。

6 【↑】または【↓】を押して「ハードディスクデータ消去」を選び、【Enter】を押します。

ハードディスクデータ消去に関する注意事項が表示されます。

7 内容をよくお読みになり、同意していただいた場合は、【←】または【→】を押して「同意する」を選び、【Enter】を押します。

書き込みエラー発生時の処理を選択する画面が表示されます。

この後、DESKPOWER H シリーズをお使いの方は、手順 8 に進んでください。
DESKPOWER H シリーズ以外をお使いの方は、手順 9 に進んでください。

8 DESKPOWER H シリーズをお使いの方は、【←】または【→】を押して次の項目のいずれかを選択し、【Enter】を押します。

・第一ドライブ
・第二ドライブ
・両ドライブ

9 内容をよくお読みになり、【←】または【→】を押して「エラー発生時「中断」します」または「エラーをスキップして「継続」します」を選択し、【Enter】を押します。

ハードディスクの情報と、消去手順中の注意が表示されます。

10 **内容をよくお読みになり、消去を実行してもよい場合は、[←]または[→]を押して「消去を開始します」を選び、[Enter]を押します。**

データ消去が始まります。

11 **「データ消去が完了しました。」と表示されたら「リカバリディスク」を取り出し、次の方法で電源を切ります。**

・DESKPOWER シリーズの場合は、電源（パソコン電源）ボタンで電源を切ります。

・BIBLO シリーズの場合は、電源ボタンを 4 秒以上押し続けて電源を切ります。

■DESKPOWER H シリーズをお使いの方が D ドライブだけをデータ消去した場合

ご購入時の「TVfunSTUDIO」の録画ファイルの保存場所は、D ドライブに設定されています。パソコンの譲渡などで D ドライブをご購入時と同じ状態で再度お使いになる場合、次の手順で設定が必要です。

1 **「アプリケーションディスク 2」を CD/DVD ドライブにセットします。**

2 **「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。**

3 **「名前」に半角英数で次のように入力し、「OK」をクリックします。**

```
e:¥hoshu¥ifdchg.txt
```

「e:」には、お使いの CD/DVD ドライブ名を入力してください。

4 **表示される内容に従って、D ドライブの再設定を行ってください。**

法人、企業のお客様へ

弊社では、法人・企業のお客様向けに、専門スタッフがお客様のもとへお伺いし、短時間でデータを消去する、「データ完全消去サービス」をご用意しております。

消去方法は、専用ソフトウェアによる「ソフト消去」と、消磁装置による「ハード消去」があります。

ソフト消去	専用ソフトウェアを使って、ハードディスクに残存するデータを完全に消去します。DoD や NSA など海外の各種消去規格にも対応可能です。
ハード消去	消磁装置による磁気破壊（媒体表面水平磁力 13000 ガウス）

消去証明として富士通が消去証明書を発行し、消去済フォログラフシールを対象ディスクに貼付して、納品物とします。

詳しくは、ストレージ統合サービス（http://storage-system.fujitsu.com/jp/service/）をご覧ください。

お問い合わせ／お申し込み先　メールアドレス：storage-system@fujitsu.com

使用済み乾電池の廃棄について

ワイヤレスキーボード、ワイヤレスマウス、リモコンなどには乾電池を使用しており、火中に投じると破裂のおそれがあります。使用済み乾電池を廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。

個人のお客様へ

使用済み乾電池を廃棄する場合は、一般廃棄物の扱いとなりますので、地方自治体の廃棄処理に関連する条例または規則に従ってください。

法人、企業のお客様へ

使用済み乾電池を廃棄する場合は、産業廃棄物の扱いとなりますので、産業廃棄物処分業の許可を取得している会社に処分を委託してください。

使用済みバッテリの取り扱いについて

（DESKPOWER を除く）

・リチウムイオン電池およびニッケル水素電池のバッテリパック、バッテリユニットは、貴重な資源です。リサイクルにご協力ください。
・使用済みバッテリは、ショート（短絡）防止のためビニールテープなどで絶縁処理をしてください。
・バッテリを火中に投じると破裂のおそれがありますので、絶対にしないでください。

バッテリの仕様については、『パソコンの準備』→「仕様一覧」、またはバッテリの取扱説明書をご覧ください。
バッテリの取り外し方については、（サービスアシスタント）のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「7.パソコン本体の取り扱い」→「バッテリ」→「内蔵バッテリパックを交換する」をご覧ください。

個人のお客様へ

使用済みバッテリは、地方自治体の廃棄処理に関連する条例または規則に従って廃棄するか、または「充電式電池リサイクル協力店くらぶ」に加入の販売店などに設置してあるリサイクルBOXに入れてください。
詳細は、有限責任中間法人JBRCのホームページ（http://www.JBRC.com/）をご覧ください。

弊社は有限責任中間法人JBRCに参画し、リサイクルを実施しています。

法人・企業のお客様へ

使用済みバッテリを廃棄する場合は、富士通株式会社環境本部（電話：044-754-3283）にお問い合わせください。

このマークは、リチウムイオン電池のリサイクルマークです。

このマークは、ニッケル水素電池のリサイクルマークです。

索引

この本で見つからない情報は、「画面で見るマニュアル」で！

「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→
「富士通サービスアシスタント（マニュアル＆サポート）」→「画面で見るマニュアル」

さ行

た行

な行

は行

ま行

や行

ら行

わ行

FMVをお買い上げの方だけの

うれしい特典!!

特典 1

ブロードバンドがとってもおトク!

アット・ニフティの

光ファイバー ADSL

にお申し込みいただくと

@nifty月額料金

プラス 初期費用も0円

0円

対象者 同梱の「@nifty入会マニュアル」P.4に記載のオンラインサインアップまたは、裏面に記載の「@niftyブロードバンド導入ご相談窓口」で、2005年3月31日までに光ファイバー/ADSLに新規にお申し込みをされ、2006年3月31日までに開通された方が対象です。

アット・ニフティ使用権1,000円分プレゼント!

※特典の対象となるコースに、さらに1,000円の使用権をプレゼントいたします。
※アット・ニフティ使用権は、アット・ニフティの有料サービス（一部を除く）や、基本料金、超過接続料金にご利用いただけます。また、有料サービス利用の有無に関わらず、毎月のアット・ニフティ請求額より自動的に相殺されます。

特典 2

ダイヤルアップだってしっかりおトク!!

無制限コース

@nifty月額料金

対象者 同梱の「@nifty入会マニュアル」P.4に記載のオンラインサインアップ、「@niftyブロードバンド導入ご相談窓口」または、巻末の「入会申込書」で、2005年3月31日までにアット・ニフティに新規にお申し込みされた方が対象です。

ブロードバンドやサービス内容、特典について詳しくは、パソコンに同梱の「@nifty入会マニュアル」または「@nifty特典のご案内」チラシをご覧ください。

お電話の際に、「富士通YY」を見たとお伝えいただくと特典が適用されます。

@niftyブロードバンド導入ご相談窓口 受付時間: 毎日9:00~21:00

0120-816-042 (携帯電話・PHS・海外の場合) 03-5753-2374